

第29回 にこまちプラン（西区地域福祉保健計画）推進・評価委員会

日時：令和8年1月16日（金）14:00-

場所：西区役所 3AB会議室

次 第

- 1 開会の挨拶
- 2 第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集について
- 3 第5期にこまちプラン区全体計画（原案）について
- 4 意見交換・第5期にこまちプラン区全体計画の確定
- 5 講評
- 6 地区別計画の策定状況報告と今後のスケジュールについて
- 7 閉会の挨拶
- 8 にこまちのうた

事務連絡

- (1) 令和7年度にこまちフォーラム
日時：令和8年2月21日（土）13時半～ 場所：西公会堂
- (2) 第30回「にこまちプラン推進・評価委員会」
日時：令和8年度（日時は決まりしだいお知らせします）

にこまちのうた（にこやか しあわせ ぐらしのうた）

歌詞

水仙の花が咲いたら 春はもうすぐやってくる 新しいこと何かしたいな
そんな気持ちになってくる はじめよう 今日からわたしにできること
声をかけたら 今日からあなたとお友達

夏祭り 花火の下で 大きく広がる踊りの輪 知らない人でも
一緒に踊っていると楽しいね はじめよう 今日からわたしにできること
あいさつをして みんながつくる地域の輪

モクセイの花が香って 秋の気配が漂うと みんなのことが気になる
そんな気持ちになってくる はじめよう 今日からわたしにできること
あなたとわたしの心でつくる支えあい

よく晴れた空に 大きく高くかかった虹の橋 虹より高い西区を目指して
しょうできること はじめよう 今日からわたしにできること
にこやかしあわせ ぐらせるまちをつくっていこう

西区地域福祉保健計画推進・評価委員会名簿

(敬称略)

| 分類 | 団体の役職名(又は略称) | 氏名 | 新任 |
|-----|---------------------------|--------|----|
| 地域 | 西区連合町内会・自治会連絡協議会会長 | 平野 周二 | |
| | 西区商店街組合連合会会長 | 大塚 眞司 | |
| | 西区スポーツ推進委員連絡協議会会長 | 中村 由幸 | |
| | 西区青少年指導員協議会会長 | 澁谷 正道 | |
| | 西区シニアクラブ連合会会長 | 大倉 富男 | |
| 福祉 | 西区社会福祉協議会会長 | 西岡 茂 | |
| | 西区民生委員・児童委員協議会会長 | 神戸 英男 | ○ |
| | 西区主任児童委員代表 | 伊藤 美紀 | |
| | 西保護司会会長 | 並木 弘 | |
| | 西区更生保護女性会会長 | 武田 容子 | |
| | 西区社会福祉協議会地区社協分科会会長 | 米岡 美智枝 | |
| | 西区社会福祉協議会障害福祉関係分科会会長 | 深野 博子 | |
| | 西区社会福祉協議会ボランティア・市民活動分科会会長 | 東 恵子 | |
| | 西区社会福祉協議会高齢者福祉関係分科会会長 | 竹下 淳子 | |
| | 西区地域ケア施設代表 | 中野 茂樹 | ○ |
| | 西区地域自立支援協議会代表 | 小菅 敏朗 | |
| | 西区地域子育て支援拠点 スマイル・ポート施設長 | 鳴神 美穂子 | |
| 保健 | 西区医師会会長 | 増田 英明 | |
| | 西区歯科医師会会長 | 吉田 大輔 | |
| | 西区薬剤師会代表理事 | 北井 康一 | |
| | 西区獣医師会会長 | 塩瀬 将之 | |
| | 西区保健活動推進員会会長 | 渡辺 正枝 | |
| | 西区食生活等改善推進員会会長 | 石渡 和子 | |
| | 西区食品衛生協会会長 | 井上 恒次 | |
| | 西区生活衛生協議会会長 | 岡本 不二夫 | |
| 子ども | 横浜市幼稚園協会西区支部長 | 奈良 昌人 | |
| | 西区小学校長会会長 | 寺岡 徹 | |
| | 西区中学校長会理事 | 遠山 満 | |
| | 西区PTA連絡協議会会長 | 浦崎 麻実 | |
| | 西区内認可保育園長会会長 | 渡辺 紀子 | |
| | 西区子ども会育成連絡協議会会長 | 福永 浩世 | |
| 行政 | 戸部警察署長 | 重岡 康二 | |
| | 西消防署長 | 石黒 靖雄 | |
| | 西区長 | 菊地 健次 | |

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）
区民意見募集の実施結果について

1 意見募集の概要

(1) 期間

令和7年10月1日（水）から令和7年11月10日（月）

(2) 対象者

西区在住、在勤、在学の方 ※年齢不問

(3) 実施結果

ア 意見総数

148件

イ 提出方法の内訳

| | |
|-----------|-----|
| 電子申請システム | 38件 |
| メール | 0件 |
| FAX | 0件 |
| 意見募集箱への投函 | 9件 |
| こどもの意見 | 83件 |
| その他 | 18件 |

ウ 内容別意見数（※）

| | |
|----------------|-----|
| 目標1 | 50件 |
| 目標2 | 19件 |
| 目標3 | 19件 |
| 目標4 | 60件 |
| 目標5 | 33件 |
| 計画全体に関すること、その他 | 46件 |

エ 提出された意見への対応の考え方（※）

| | |
|--------------------|------|
| 意見を踏まえ、計画原案に反映したもの | 4件 |
| 計画に賛同いただいたもの | 15件 |
| 計画の推進に活かしていくもの | 176件 |
| 質問、その他要望 | 32件 |

※ウ及びエについては、一つの意見を分割して複数の分類に振り分けている場合があるため、提出された意見の総数と、分類した意見の数の合計は一致しません。

2 寄せられた意見の概要 (Copilot による要約)

(1) 目標1 安全が確保され、安心なまち

- **防災意識の向上を求める声が多く**、防災訓練の定期開催や災害体験イベント、防災グッズの配布など、備えを促す取組が期待されています。避難所や公園へのトイレ・水道整備、非常食の確保など、災害時の生活環境改善も課題です。
- **防犯面では、子どもや女性の安全確保、交番や警察との連携強化、外国人へのルール周知を求める意見**がありました。
- 交通安全や道路環境では、横断歩道への信号設置、スロープやガードレール整備、交通安全イベントの開催などが挙げられています。
- 公園や公共施設の整備、ゴミ拾いや分別促進、喫煙マナー改善など、環境美化への要望も多く、地域イベントやボランティアを通じたコミュニティづくりへの期待も見られました。

(2) 目標2 活気にあふれ、健康なまち

- **健康意識の向上を求める声が多く**、日常的な運動習慣や食生活の改善、定期的な健康診断の受診を促す取組が期待されています。
- ラジオ体操や健民祭などの地域イベントを広く周知し、回数や開催場所を増やすことで、世代を超えた交流と健康づくりを進める提案がありました。
- 感染症予防やアルコール消毒の設置、飲酒マナー改善など、生活習慣に関する意見も見られます。さらに、**ランニングマップや公共施設での運動スペース整備、ゴルフや軽スポーツなど、楽しみながら健康を維持できる仕組みづくりへの期待**が寄せられました。

(3) 目標3 一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまち

- **こどもの頃からの教育プログラムを通じて、多様性理解や共生の意識を育む取組を求める声が多く**ありました。
- 障害当事者が学校で発信する機会や、地域活動ホーム・後見的支援制度との連携、チームオレンジの取組など、既存の活動を広げる提案も寄せられています。
- **困りごとを早めに相談できる包括的支援体制の強化**や、認知症・ダブルケアへの備え、終活支援など、将来を見据えた相談の仕組みづくりを求める意見もありました。
- また、認知症カフェや交流イベント、外国人との交流の場づくり、趣味やスポーツを通じた多世代・多様な人のつながりを促進するアイデアが挙げられています。
- いじめ防止や偏見解消に向け、行政・教育・地域が協働する場の創出を望む声も見られました。

(4) 目標4 地域全体がつながりを持つまち

- 自治会・町内会の担い手不足や認知度向上が課題とされ、にこまちプランを広く周知し、現役世代を巻き込む工夫を求める声が多くありました。
- 空き家や空き店舗の活用、企業との連携による居場所づくり、地域活動の場の拡充も提案されています。
- 障害者や外国人との交流機会を増やし、イベントや福祉施設の参加促進を通じて多様な人々がつながる仕組みづくりが期待されています。
- さらに、商店街や事業者を含む「見守りネットワーク」の構築、マンション住民の地域参加促進など、ゆるやかなつながりを広げるアイデアも寄せられました。
- 地域イベントの充実を望む声は非常に多く、納涼祭や健民祭、ハロウィン、クリスマスなど季節行事の回数や種類を増やし、スタンプラリーや協力型ゲームなど、楽しみながら交流できる仕掛けを求める意見が目立ちます。
- イベントを通じて世代や学校を超えた交流を促進し、地域全体で信頼関係を築くことへの期待が示されています。

(5) 目標5 こどもが健やかに成長できるまち

- こどもの居場所づくりに関する要望が多く、区役所キッズスペースの廃止を惜しむ声や、屋内で安心して過ごせる場所の確保を求める意見が目立ちました。
- 図書館や児童館のような学びと遊びを両立できる施設の増設、フリーサロンや親子広場の拡充も提案されています。
- 公園や地域イベントを通じた体験機会の充実、ボール遊びができる広場や安全な遊具の整備など、こどもが自由に遊べる環境づくりへの期待も寄せられました。
- 保育園や給食の無償化、子育て支援の強化、親同士の交流や相談の場の設置など、家庭を支える仕組みへの要望も多く見られます。
- さらに、不登校や虐待など困難を抱える子どもへの居場所や相談体制の整備、若者の地域参画を促す仕組みづくりも求められています。

(6) 計画全体・その他要望等

- 計画全体については「写真や図が多く見やすい」「西区の特徴がわかりやすい」と評価する声がある一方、文字量の多さや認知度不足を指摘する意見もありました。
- にこまちプランやキャラクターの活用、デジタルサイネージや公共施設での情報発信など、若い世代や転入者への周知を強化する提案が寄せられています。
- 地域の支え合いに関しては、担い手不足や多様な背景を持つ人への理解不足を課題とする声が多く、企業や学校の参画、福祉教育やボランティア推進を通じた仕組みづくりが期待されています。
- また、交通利便性や移動支援、屋内で集える場所の不足、空き家活用など、生活環境の改善に関する意見も見られました。

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標1 安全が確保され、安心なまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|--|
| 1 | 防犯や防災に関して、自治会長ではなく、各自治会の担当者会議をやる等、なるべく多くの人に関わってもらうことが大事だと思う。 | ③ | 目標1の具体的な取組①②③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 2 | 休前日の夜間に集まり車の騒音を発する人々の排除。 | ③ | 目標1の具体的な取組③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 3 | 防犯意識の向上。 | ③ | 目標1の具体的な取組③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 4 | 防災について気になります。18ページにある区民意識の中で、解決すべき問題点のトップが「災害時の備えに不安」とあります。いつ時点の意識調査なのかわりませんが、能登半島地震が起きてからしばらく経って、私たちの防災意識はふたたび下がってないでしょうか。喉元過ぎれば熱さを忘れる。自分自身もトイレバックを買わなきゃと思いながら、結局買わずにそのままになっています。こういうのを読むと「やっぱやらなきゃ」と思い起こし、週末にトイレバックを買いに行こうと思います。区役所の方ももっと防災を呼び掛けて、みんなの意識を継続できるようにしたほうがよいと思います。 | ③ | 目標1の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 5 | みなとみらい地区の海側と比べ、山寄りまたは神奈川区、保土ヶ谷区寄りの公園にはトイレが少なすぎる。防災の観点から考えると、余りにも不足の事態に陥った時の避難先の備えがないと思われる。実際に緊急避難場所とあってもそこに行けない方や、自宅から出て近隣の公園に避難する方もおられると感じ、せめてこれからの公園にはトイレと水道が完備してあることを望むし、早急に予算を設け対処すべきかと思われる。 | ③ | 目標1の具体的な取組②⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 6 | 【道路】小さいゴミが落ちていたり、特にゴミの日道路にゴミやペットボトルが散乱しています。収集場所を広くしたり、網を設置してほしい。また、線路の高架下は落書きが多いので綺麗にしてほしい。 | ③ | 目標1に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。 |
| 7 | 【公園・施設】屋外の公園は日よけの整備をお願いしたい。また、公営の屋内プールを増やしてほしい。（屋外プールはたくさんあるが、暑いので。） | ③ | 目標1の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 8 | 目標1の環境美化推進関連として、どの住宅にどんな外国人の方が住んでいるのかわからないことと、ワンルームに住んでいる人がゴミの出し方のマナーが悪くゴミ箱内、周辺が曜日に関係なく汚い。ネズミも発生している。ゴミを回収した同じ日に又、ゴミを出すというありさま。何か良い方法はないのでしょうか。 | ③ | 目標1に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 9 | 禁煙の場所でも、たばこの喫煙者が歩きたばこをしていて危ないし受動喫煙が心配。(4人)手をつないで歩いて子ども目の目にたばこの灰が入ったことがある | ③ | 目標1に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標1 安全が確保され、安心なまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|---|
| 10 | 親が車いすだが、近くの公園が車いすでは入れないので公園へ散歩に行けない | ③ | 目標1の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 11 | 信号がない横断歩道で待っていても車が止まらない | ③ | 目標1の具体的な取組③⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 12 | 歩道にガードがないところが多く危険。 | ③ | 目標1の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 13 | 交差点マークが消えかけているので車が入り口に気にかけてくれない(願成寺坂等) | ③ | 目標1の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 14 | 自転車が赤信号でも車道から進んでくるので交通ルールの啓発を行ってほしい | ③ | 目標1の具体的な取組③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 15 | 単身世帯、そして非居住者がとりわけ多いということは、災害時への特別で多様な対応を求められると思います。 | ③ | 目標1の具体的な取組①②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 16 | 家の周りに歩道橋があり、ベビーカーでは移動しにくいので歩道橋にスロープを付けてほしい | ③ | 目標1の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 17 | 双子の親ですが、公園の入り口の道路が狭かったりポールが間隔狭く立っているのでベビーカーが入らず引き返した公園が何個もあった(沢渡公園等) | ③ | 目標1の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 18 | 公園のブランコに小さい子が乗れるものを作ってほしい。子どもが2人いるとなかなか乗れずいつも我慢させている | ③ | 目標1の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 19 | 私は目標1の「安全が確保され安全なまち」の取り組みで防災グッズを配ることがいいと考えました。なぜなら防災グッズを作るなどと呼びかけてもめんどくさくて作らない人などがいて安全が確保され安心なまちとは言えないので防災グッズを配るのがいいと思いました。 | ③ | 目標1の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 20 | 板や階段のある所には手すりなどをつけるといいと思います。そうすれば、転倒などの事故も少なくできて、高齢者や障害のある人たちでも安心して安全な暮らしをすることができると思います。 | ③ | 目標1の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 21 | ゴミ拾いをする時間帯を人がたくさん通る時間帯にして町の人たちに意識させる。(朝、夕方の通勤時間や登下校中など) ゴミ拾いをしてくれている人たちを大変にさせないようにと、街を汚すようなことに気を付けてくれると思います。 | ③ | 目標1の具体的な取組④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 22 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみを分別するごとに楽天ポイント、PayPay, d払いで5%還元してくれるキャンペーン(分別するのはペットボトルとキャップとラベルだけでも良い) ・公園にできるだけ安全な遊具を増やす ・公園のベンチも増やす | ③ | 目標1に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標1 安全が確保され、安心なまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|---|
| 23 | 防災訓練を一月に一回とかにやったりするのがいいと思いました。理由は防災訓練とかをやっておけば、もし災害とかが起きた時防災訓練をやってなかったら焦って避難が遅れたりするかもしれないけど、防災訓練をやっておけばすぐに避難ができると思ったからです。 | ③ | 目標1の具体的な取組①②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 24 | ・訓練をいろんな場合を想定してもっとする（安心のため） ・夜はむやみに出かけないように、声かけをして、気をつけてもらう（安全のため） ・信号の旗のボランティアなどをもっとするようにする（安全のため） | ③ | 目標1の具体的な取組①②③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 25 | ・災害が起きた時用に備えを事前に準備をする（地震訓練とか街で体験をさせる） ・防災訓練や住民が集まる機会など、地域が集まる所でみんなが抱えている問題を住民達で話し合うイベントを定期的で開催する ・子供の事故、犯罪の害から守り、安心・安全出来る街にする ・危ないところには行かない、真夜中にはあんまり出歩かないという声掛けをする（状況を共通する） ・子供達が安心して外出、行動できる整備をする ・この公園はボール使っちゃいけないよという公園があったら道路にも出ない、ここはボールを使っていい広場があってここは鬼ごっことかする広場とかを作ってほしい | ③ | 目標1の具体的な取組①②③⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 26 | 公園では小さい子から小学生の子供が楽しく遊べる場所でも最近の公園は小さい子が多い、ボールで遊んだりしたら怒られたりする。しかも道路に出てしまったりしたら危ない。もっとみんなが楽しめるように硬いボールなど使っていい公園が必要だと思う周りに小さい子がいないか気にせず楽しめる場所が今はない、だからボールを使って遊べる公園があったらいいと思った。小学生がボールをおもいっきり使える場所があったら小さい子を気にせずおもいっきり遊べていいなと思いました。 | ③ | 目標1の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 27 | 岡野中学校や岡野公園で開催している消防の訓練では消火器などの体験だけでなく子供や高齢者、障害の人に被害が起きた時にどのように助ければいいのか、どのような行動を取ったらいいのかなどもっと詳しく教えてもらったらいつ災害が起き被害が来てもいいように準備【心構え】ができると思います。 | ③ | 目標1の具体的な取組①②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 28 | 遊ぶと思ってボールなどが使えない公園が多いため、ボールを使える公園を増やしたほうがいいと思いました。そうすることで公園で遊ぶ人が増え、地域の活性化につながると思いました。 | ③ | 目標1の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標1 安全が確保され、安心なまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|---|
| 29 | 防犯対策を強化した方がよいと思う。そのためには、適度に交番や警察署を増やした方がよいと思う。 | ③ | 目標1の具体的な取組③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 30 | 大きな地震などを体験したことの無い人達に災害体験や地震の経験者との交流などを増やす。 理由 地震や災害の経験が少ないと、いざというときにどういった行動をすればいいのか、どんなことが起きるのかなどが分からず、逃げ遅れてしまう可能性があるから、また、地域の人との関わり合いもできると考えたから。 | ③ | 目標1の具体的な取組①②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 31 | ・通学路の整備や横断歩道で信号機をつけてほしい通学路に横断歩道があっても信号機がついてなかったりして危ないかもしれないから ・階段にスロープをつけてほしいスロープをつけないと高齢者や車椅子の人などが不便だと思うから | ③ | 目標1の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 32 | 警察などに言いにくいこともあるだろうから、警察と人との交流を深めた方がよいとおもった。 | ③ | 目標1の具体的な取組③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 33 | ・ポスターなどでゴミ拾いに参加してもらう ↳・なるべく参加してもらえるようにゴミ拾いをしたらお菓子やお弁当などを配る ↳・そして知らない人と仲を深めることができたのならもう一つお菓子や景品（お祭りの優先権など）を配る | ③ | 目標1の具体的な取組④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 34 | 防災や地域の祭りは多いが、交通安全のイベントが少ないような感じがするので、防災訓練などの防災についてのイベントだけではなく交通安全についてのイベントをすると思う。 例えば、交通安全についてのこと（知識）の説明を受けたり、実際に信号機や道などを使って実践してみるのもいいと思った（学校ではやった交通安全教室みたいなもの）。そうすれば、まちの人も楽しみながら交通について学べると思う。交通安全のイベントのようなものを増やして参加してもらうことで、西区に住んでいるいろいろな人、特に子どもなどの交通への意識が高まって、より西区のまちが安全になっていくと思う。 子どもなどの歩行者向けのイベントのほかにも、子ども向けではないがドライバー向けのイベントを開催すればより安全になると思った。 | ③ | 目標1の具体的な取組③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 35 | ボランティアをしたりして周りの人と関わったり、町の行事やゴミ拾いなどにも参加して年齢関係なく関われるようにした方がよいと思いました。小学生などが間違えてタバコの吸殻を持ってしまっていたところを目撃したのももちろんタバコをすう人も道端におっこどしてほしくないけれど、私たちがゴミ拾いなどをして町の安全も守りたいし、それと一緒に周りの人と関わりも持てたらよいと思いました。 | ③ | 目標1の具体的な取組④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標1 安全が確保され、安心なまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|---|
| 36 | 近くの避難場所や避難経路、災害が起きた時を想定した避難訓練など、あまり確認していなかったり、知らなかったりする人が多いと思うので、紙宣伝や動画などで発信したらいいと思いました。 | ③ | 目標1の具体的な取組①②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 37 | 防犯意識のところで最近外国人が駅前や帰り道などで禁煙って書いてあるのにタバコを吸っていたりして危険だしいきなり暴言とかを吐いているので防犯意識向上をもう少し強くして警告などを大きく書いてポスターで貼ったりポケットティッシュで禁煙のことを伝えたりするのがいいと思います。 | ③ | 目標1の具体的な取組③④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 38 | まちの柵や電柱などの安全を確認するなどをするといいと思った。 | ③ | 目標1の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 39 | 交通安全などの活動と呼びかけたりする事がいいと思います。そのための活動はポスターやパンフレットやそう言う交通安全の活動をしたらいいと思います。 | ③ | 目標1の具体的な取組③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 40 | タワーリングとかマンションに住んでいる人などは災害時などには避難するのが大変だから避難所を近くにしたりとか逃げやすい場所に建てるといいと思う | ③ | 目標1の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 41 | ボランティア活動を地域の人たちとゴミ拾いとかをしたらいいんじゃないかなと思いました。理由は、地域の人たちとボランティア活動などをしたら地域の人とも沢山関わられるしゴミ拾いとかしたら街も綺麗になって一石二鳥だからです。 | ③ | 目標1の具体的な取組④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 42 | 誰でも参加できる駅周辺などのゴミ掃除などそういう人と人が繋がりを持てたり何か新しい発見をしたりする物があったりするといいのではないかなと思いました。 | ③ | 目標1の具体的な取組④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 43 | 災害時の備え促進で、私は自治会などでそのようなことを取り組んだことがあったけれど、それ以外での防災対策の機会があまりないので西区全体に防災を呼びかけるようなことをした方がいいかなと思いました。 | ③ | 目標1の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 44 | 目標1について、いつでも助けてくれる人が周りにいる。その環境など作るため誰でも簡単に出来る様なイベント行事など（時間がない人でも10分で終わる・障害があっても自由に参加ができるできれば一緒に参加した人と関係が繋がり安心安全な街になると思います。 | ③ | 目標1の具体的な取組①②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 45 | 非常食などが足りなくならないように地域の人たちなどで確認をしたりなどが出来る活動みたいなものを増やすと、地震などが起きた時も安心できると思いました。 | ③ | 目標1の具体的な取組①②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標1 安全が確保され、安心なまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|--|
| 46 | 誰もが安全で健康なまちづくりのために、地域で交通安全教室などを開いて親子などで交通安全のことなどをたくさん知って、いろんな安全のことについて意識して過ごせるような街づくりになると思いました。 | ③ | 目標1の具体的な取組③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 47 | <ul style="list-style-type: none"> ・何かあった時にできる簡単なものとかを教える。（例えば地震があって水が少ししかないというときはビニール袋に水を入れてしっかり縛ってリュックサックに入れるといいとか） ・自分から話しかける ・自分からゴミ拾い | ③ | 目標1の具体的な取組①②④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 48 | 地域でやっている防災訓練を取り組んだり、交通ルールを守ったりする。たまに信号無視したりしている人がいるからしないようにする。あとは赤信号の時は、絶対にわたれないような感じにした方がいいと思います。理由は上にも書いたように、信号無視している人がいて危ないから、赤信号の時はぜったいにとおれないようなやつにした方がいいと思います。 | ③ | 目標1の具体的な取組①③⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 49 | 安全を確保するために、ボランティアの人を募集して交通整理をするのが良いと思いました。 | ③ | 目標1の具体的な取組③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 50 | 自治体でたまに地震の訓練があるけどなかなか不審者や火災などの人災や、火災や津波台風などの災害の訓練をしていないから地震だけじゃなくて不審者や火災津波台風などの災害や人災の対策をどの自治体でも強化する。たとえばもしその地域に自治体ないんだった時ように自治体の数を増やせばいいのかなと思いますさらに防災グッズなどを配ったらより防災意識が高くなるんじゃないかなと思います | ③ | 目標1の具体的な取組①③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標2 活気にあふれ、健康なまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|---|
| 1 | ひとりひとりが健康意識を持って、日頃から運動し、食事に気を配り、検診に行き、体を鍛えれば（目標2）、社会保障費は抑制され、少子高齢化の課題は小さくなっていく。体が健康だと、心も健康になる。犯罪も減り（目標1）、人に、こどもに優しくなり（目標3、5）、自然と外へと足が向く（目標4）。心も体も健康でいることが、あなたにとっても国にとってもメリットなんだということを、みんながわかってくれたら良いですね。 | ② | 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。 |
| 2 | 感染予防・・・教室 | ③ | 目標2の具体的な取組④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 3 | 手洗いをしっかりしてたくさん運動して、食事をちゃんとするようにしたほうがいいと思った。理由は手洗いと運動と食事をちゃんとしたほうが健康にいいと思ったからです。 | ③ | 目標2に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 4 | ・健康に気をつけるようにしたり、ポスター・ネット・ラインなどで毎朝行われているラジオ体操に参加するよう伝える（健康のため） ・健康診断に参加してもらうために、チラシやリーフレットまたは公式のネット・ラインなどに書く（健康の為） | ③ | 目標2の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 5 | ・高齢者向けスポーツ（遊び） ・感染症予防や、病気にかからないように予防する | ③ | 目標2の具体的な取組②④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 6 | みんなが健康で元気になるために、健康イベントの種類や回数を増やしたりした方がいいと思う。 | ③ | 目標2の具体的な取組①②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 7 | ラジオ体操をやっていること自体を知らなかったので、ポスターなどでその活動をもっと広めるといいと思った | ③ | 目標2の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 8 | 私は飲酒スペースを設けたほうがいいと思います。最近酔っ払って変なことをして捕まってしまったというニュースを耳にします。また、西区の夜は酔っ払いが多く、路上でたくさんの人と飲んでいて人がよくいます。この間私は楽しそうに仲間と飲んでいて飲み過ぎて路上に吐いている人を見ました。本当に気持ち悪かったです。なので飲酒スペースを設け、また飲み過ぎの注意を呼びかけたほうがいいと思います。 | ③ | 目標2に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 9 | にこまちプランの目標2の活気にあふれた健康な町のためにラジオ体操や近所の人とのかかわりを大事にした方がいいと思いました。健康に過ごすために〇〇がいいと声掛けをしてもいいと思います。声掛けは健康なことだけではなく、こんなふうなまちにするために〇〇しませんかなどのこえかけもできるといいとおもいます。 | ③ | 目標2に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 10 | インフルエンザなど病気が流行っている時にアルコールを設置するなどをしたり予防する | ③ | 目標2の具体的な取組④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標2 活気にあふれ、健康なまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|---|
| 11 | 健康であるためにゴルフ場みたいなやつをやって何回以内に入ればお菓子プレゼントや活気だから全世代が好きそうなもので何かをプレゼントする。イベントが知られていないから西区の人たちで定期的にイベントやお祭りを開いたときにいろんな歴史を知るのを積極的になるからそれを活かす感じにすればいい（社会参加） | ③ | 目標2の具体的な取組①②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 12 | ・みんなにもっとラジオ体操をやっていることを知らせる。 ・ポスターとか掲示板にはる ・みんなで助け合って健康で活気のある西区にする→みんなで助け合える場所をつくる | ③ | 目標2の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 13 | ・ポスターなどで、西区の取り組みを書く。 ・西区のみんなが活気にあふれ、孤立した人などに生きがいの場所を作る西区。 | ③ | 目標2の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 14 | 今もやっているラジオ体操のことで、ラジオ体操をまだ毎朝していることを知らなかった人もいたので、それを知らせるためにチラシやパンフレットなどを学校などで配ってもらったり西区の家のポストにそのチラシを配ったら、一緒に活動する人も少しはだんだんと増えていくと思うのでそうしたらこの街の健康な人も増えていくと思うし、そこでも西区の人たちの交流もそこで生まれて、仲良くなったりもすると思うのでいいと思います。また他の活動もしていったらこのような感じで広めていけばもっともっとみんなで繋がれると思います。それとかと公園に限らずにもっと他の公園でもラジオ体操などをして、範囲をもっと広げればいろんな人が簡単に近くの公園に行けばいいだけになって楽になるので範囲を広げるといいと思います。 | ③ | 目標2の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 15 | 「健民祭について」活気にあふれ健康な街健民祭は私は今年も参加したのですが年に2回くらい実施した方が良いと思います。理由は今年、健民祭はまだあたたかい時期だったから冬だと体が縮こまって運動不足になるから、私は健民祭は年に2回、実施したほうが良いと思います。季節は冬と春がいいなと思います。冬は先ほど説明した通りで春は少しづつあたたかくなってきているけれどまだ寒いかもしれないから体をあたためるのにちょうどいいと思います。 | ③ | 目標2の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 16 | ラジオ体操などを朝から公園などで実施することでラジオ体操は体にいいので地域とも関わりを持って健康になるのでいいと思います。 | ③ | 目標2の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標2 活気にあふれ、健康なまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|---|
| 17 | 西区の人たちが健康でいられるように運動習慣みたいなものを月一行う、など今からでもできそうな運動などができる活動を少しずつ増やせばいいと思います。 | ③ | 目標2の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 18 | 今日はランニングマップ提案したんですけど、まあ理由ってのはそー自分だけで決めたら他の人がランニングしてても会えないかもだしそーただ走って健康になるだけどランニングマップくったら他の人もそこで走ってるかもしれないからそこでつながりができて一石二鳥にもなるし川沿いとか綺麗な場所をマップにして特定の場所からスタートじゃなくて一周したり遠くまでマラソンしたりできるマップがあったら健康になって繋がりもできると思ったからです。 | ③ | 目標2の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 19 | 地域全体がいけるような公共施設を建ててそこで安全教室とか健康になるための運動などそういうたくさんのイベントをすれば人もくるからいいと思う ↑ 地区センターなどに運動のところがあからそう言う感じで他のところにも地区センターっぽいものを建てるといいと思う | ③ | 目標2の具体的な取組①②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標3 一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|--|
| 1 | <p>目標3 一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまち →この気持ちを共有していくには、子どもの頃からの教育プログラムが大事であると考えます。具体的な取組①ウを、もう少し具体的に記載してほしい。また、今まで行ってきたことの振り返りも行うべきである。</p> <p>具体的な取組としては、 ○西区地域自立支援協議会や地域活動ホーム、後見的支援制度との協働・連動 ○実際に当事者が小・中学校に出向き、関わることで知ってもらう。 ○チームオレンジの取組 と同じように、障害当事者の声が発信できる場の創出を。</p> <p>現在行われている具体的な取組としては、 ○西区地域自立支援協議会・西PECが主導で行っている、西区技能披露フェスティバル（通称：ぎのふえす） ○チームにしまるという「誰もが自分らしく暮らせる西区」を作ろうと2016年に結成された団体が行っている、当事者発信の企画 →これを小・中学校で行うというのも、教育プログラムとしても有効かもしれない。 また、意思決定支援は、障害分野も同様であり、このことも文書の中に加えて欲しい。</p> | ③ | 目標3の具体的な取組①②③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 2 | <p>目標3に「困りごとを抱えていても、誰にも相談することができずに孤立し、問題が深刻化してしまう方もいます。問題が深刻化する前に、地域の中で身近な人に悩みや困りごとを話すことができ、必要に応じて早目に相談機関につながる地域づくりを目指しています。」 「困ったときに早めに相談できる地域づくり 包括的相談支援の取組」とありますが、特に高齢者の場合は、すぐ困ってから相談することが多くあると思います。例えば、認知症になってからの相談では、何が困っているのか、わからなくなることがあります。これからは「困ったら、相談しましょう」ではなく、困る前にも将来を想定して、相談ができるような包括的相談支援の仕組みが必要です。積極的に終活している方もいますが、高齢になると、面倒になり、セルフネグレクトも進みます。また、ダブルケアなども想定して、早めに相談していくことを啓発できるようにして、地域の方々が支援しやすく、もし何かあっても支援しやすくなれるように情報共有できる仕組みづくりも必要だと思えます。困った時でなくても、将来、今後を考えて、気軽に相談できることを地域の中で身近な人に悩みや困りごとを話すことができるだけでなく、また、困ってないのに相談するのは、自分自身も家族も、地域の方々もまだ大丈夫と思う方も多くいると思いますが、区役所も包括も各関係機関が想定していく5年間にしてほしいと思えます。</p> | ③ | 目標3の具体的な取組④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 3 | P.43目標3-③ 権利擁護は、今後ますます重要になると思われます。身近な専門職や法律等の専門家につながりやすい工夫、アウトリーチが大切と思えます。 | ③ | 目標3の具体的な取組③に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 4 | P.44チームオレンジ ACPはアドバンス・ケア・プランニングなのは。（マネジメントではなく） | ① | ACPの注釈について、「アドバンス・ケア・プランニング」に修正しました。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標3 一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|--|
| 5 | <p>地域福祉保健計画の策定にあたり、地形的条件が高齢者の外出行動に与える影響について、十分な配慮をお願いしたく意見を提出いたします。近年の研究（大阪大学・長崎大学など）により、傾斜の急な地域に居住する高齢者は、身体的・心理的負担から外出頻度が減少する傾向があることが明らかになっています。これは、社会参加の機会の減少や身体機能の低下にもつながり、地域福祉の観点からも看過できない課題であると思います。つきましては、以下の施策の検討を要望いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 傾斜地における移動支援サービス（電動カート、送迎バス等）の導入 - 公共交通機関の乗降場所のバリアフリー化とアクセス改善 - 地域サロンや買い物支援など、生活圏内で完結する交流・支援拠点の整備 <p>高齢者が安心して外出できる環境整備は、地域の活力維持にも直結します。地形的な制約に配慮した福祉施策の充実を、今後の計画にぜひ反映いただきたく存じます。</p> | ③ | 目標3の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 6 | <p>一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまちについて、神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例をもっと小学生や中学生に知ってもらいたいです。その上で実際に出会う機会、知る機会を行政や事業所と一緒に生み出していきたいと考えます。授業などでにこまちプランもそうですが取り上げてもらえる機会をぜひ作ってほしいです。無知と偏見をどう減らしていけるか、行政・事業所・教育の現場のスタッフでざっくばらんに話す機会がもてたらうれしいです。</p> | ③ | 目標3の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 7 | <p>認知症カフェみたいなのもおじいさま、おばあさまにとってはすごく安心できるし同じ思いをしている人も多いと思うからそのような機会を増やすとより安心してきてこの街は過ごしやすいつて思えるんじゃないかなって思いました。</p> | ③ | 目標3の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 8 | <p>高齢者向け・・・スポーツ会やカフェ</p> | ③ | 目標2・3に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 9 | <p>病人だから仲間外れじゃなくってみんなが一つ一つの仲間の事をみんなに知ってほしい、カフェを作る</p> | ③ | 目標3に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 10 | <p>どんな人とも出会えるように、障害者などでも気軽に参加できるようなイベントを行ったり、種類や回数を増やした方がいいと思う。</p> | ③ | 目標3の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 11 | <p>外国の人と交流できる場所が欲しいです。</p> | ③ | 目標3の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 12 | <p>同じ病気を持っている人や障害を持っている人などみんなが集まって話せるような場所を作る（施設）</p> | ③ | 目標3の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標3 一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|--|
| 13 | <p>にこまちプラン第三の目標に向けてやっていること（主な取り組み）の感想 とても素晴らしい取り組みだと思うし、自分は大体納涼まつりなどは他の大事な予定とかぶってしまうので残念ですが、やっているところを想像して、いつか参加するときになったらその想像を活かしてやっていきたいと思いました。</p> <p>意見としては、他人の趣味に共感できる場所を探す会を西地区センターなどでやればよいと思いました。理由は、自分が考えるに一部の人は他人の趣味に共感しないつまり、その趣味でやっていることの名前だけで仲良くしない人もいますと考えました。</p> <p>この会は例えば、AさんとBさんがいるとしたら、Aさんは人のために料理することが好きで、Bさんは演技を練習することが好きだとし、一見違うように見えても人を喜ばせるという共通の目的がある。このように自分の趣味と他人の趣味を真剣に比べてみて、何か共感できる場所がないかというのを探す会があるとより良い街づくりになると思いました。</p> | ③ | 目標3に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 14 | <p>・いじめ防止の会 ↳いじめがどうしてダメなのか、いじめは何かあってもいけないことだということを説明する会 ・障害を持つ人と子供や若い世代の交流会 ↳障害を持った人と関わることで障害を持った時にどうすればいいのかを知る。</p> | ③ | 目標3の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 15 | <p>僕は同じような悩みの人が集まれるような会を設けたほうがよいと思います。 なぜなら世の中には悩みを一人で抱えとどんで内向きになってしまう人が多いからです。 そんな人を少しでも減らすために多くの人が共感できる場を作った方がよいと思います。</p> | ③ | 目標3の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 16 | <p>「障害者同士が集まる場所」を作るのはよいと思うけれど、「一人一人の個性を認め合い、みんなが共存する」ようなまちにするためには、障害者同士だけでなく、障害者と障害がない人も関わっていく必要があるといいと思いました。 →障害者と障害がない人が関わるようにするためには、楽しいイベントが混じっている交流会などを開いたりしたらいいと思います。</p> | ③ | 目標3の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 17 | <p>個人的には3番の『一人ひとりの個性を認め合い、共存するまち』の目標が好きだ。</p> | ② | 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標3 一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|--|
| 18 | <p>個性を認め合うのは障害者だからとか〇〇だからとかそういう理由で差別されている人たちも誰でもできるような取り組みを考えたりすると良いと思う スポーツやパラリンピックなどでやっている誰でもできるものをイベントを区役所などでやったら目標4とかがまた達成されると思う 例えば取り組みは誰でもできる簡単なみんなでつながることができる遊びとかをすれば5個の目標のうち2個は当てはまるから取り組みを考えていけば良いと思います。 当てはまるのは、目標3の個性を認め合うのと目標4の地域全体が繋がりを持つまちと目標2の活気ある町がつながると思いますだからこのような取り組み実際に取り組むのか、もう実際に行っているのなら、もっと広めていくのが大事だと思いました。</p> | ③ | 目標3の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 19 | <p>一人ひとりの個性を認め合う、みんなが共存する街にするためにはまず相手の良いところそれぞれ認めてあげてそこから相手と話し、相手との交流を深めれば良いとおもいました。自分と違うから嫌だという考えも無くなるしいじめもなくなるとおもいました。むしろ相手との共存がしやすくなるとおもいました。</p> | ③ | 目標3の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標4 地域全体がつながりを持つまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|---|
| 1 | <p>地域の支え合いの仕組みづくりに携わる中で、住民同士のつながりの希薄さや、支援の担い手不足、多様な背景を持つ方々への理解不足など、現場で多くの課題を感じています。若年層や子育て世代が参加しやすい柔軟な仕組みづくりや、外国籍住民、障がいのある方、高齢者などが地域に溶け込めるような交流の場の創出が盛り込まれることを期待します。多様性を受け入れるための学びの機会や、ゆるやかなつながりを育む場づくりが必要であると感じます。安価で大人数で集まれる場所が少なく、高齢になると移動支援も必要になり、社会参加が減少します。安心して利用できる場所の整備を期待します。また、地域福祉の担い手を広げるためには、企業や学校など地域の多様な主体の参画が不可欠だと思います。地元企業による地域貢献活動や、学校での福祉教育・ボランティア活動の推進など、地域との接点を増やす取り組みが計画に盛り込まれることで、持続可能な支え合いの仕組みが構築されると期待します。</p> | ③ | <p>目標3、目標4に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。</p> |
| 2 | <p>目標4 地域全体がつながりを持つまち この目標の中に「障害」が入っていない。自治会町内会や地区社会福祉協議会の中でも「障害」について、一緒に考える仕掛けが必要。 イベントへの参加については、福祉施設もお祭り・販売会等、行っていることがあるので、ここに加えてほしい。 →それが「障害のある方と接する機会」を増やすのではないのでしょうか。 具体的な取組⑥に、障害者後見の支援制度（見守り）について触れるべきではないか？ →目標3③にあるより、ここにあった方がしっくりくるのではないか？ 全体的に 西区地域自立支援協議会について、計画の中で触れる場所があるとよい（西区地域自立支援協議会として、西区地域福祉保健計画推進・評価委員会に参画している）。区内の障害福祉関係事業所に、にこまちプランを意識して事業運営をしてもらうことが、地域の障害理解につながるのでは、今後も西区地域自立支援協議会の中で、にこまちプランについて、伝えていく機会は持ち続けていく必要があると思います。</p> | ① | <p>西区地域自立支援協議会について、目標3のコラムに追記しました。</p> |
| 3 | <p>自治会町内会の役員もにこまちプラン等知らない。もっと広報だけではなく、巻き込んだやり方をしていかないといけない。</p> | ③ | <p>目標4の具体的な取組⑦に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。</p> |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標4 地域全体がつながりを持つまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|---|
| 4 | P.50目標4-③④ 居場所づくり、そこに関わる人材を育成するために、既存の公共施設の活用はもちろんですが、公共施設では活動に制約があります。空き家や空き店舗を活用できると、活動はさらに拡がり、人々も定着します。区内には、空き家が数多く存在します。ご自身のお家を地域活動に開くことは、一筋縄ではいきませんが、将来や数年先を見据えて、お家の活用法の一つとして、ご提案できるような機会があると、活動者にとって好循環が生まれると思います。空き店舗、企業も一緒に考えるとさらに選択肢が増えるのではないのでしょうか。 | ③ | 目標4の具体的な取組③④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 5 | 戸塚区では高齢・障害支援課と地域ケアプラザを中心とした、地域の事業者、商店、施設、地縁組織等を含むゆるやかなネットワーク「みまもりねっと」が相談・連絡・通報の入口になっています。人口10万人規模の西区でも同様のネットワークは可能ではないでしょうか。商店街や事業者、地縁組織、施設等が、ゆるやかな見守りのセンサーでつながることは、区全体にとっての安心感と住みやすさにつながると思います。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑥に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 6 | 自治会のないマンションにも、地区連合会への参加の仕組みを構築し、情報の共有、社会的一体感の醸成などを区役所が率先して働きかける。地域のコミュニティづくり。防災活動に貢献できる。 | ③ | 目標4の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 7 | この計画を、みんながそれぞれの立場でできることをしようというのなら、にこまちプランをもっと知ってもらわないと始まらないと思いました。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑦に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 8 | にこまちプランを知ってもらうことが必要。自治会役員も知らない。現役世代に向けてのアピールがない。もっと自分事として捉えてもらう工夫が必要。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑦に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 9 | 目標4 具体的な取組⑦エに記載があるが「にこまちプラン」認知度向上が掲載されています。具体的取組であり課題でもあると思う。これまで、私もこうした計画があることは知りませんでした。実際に認知度を向上するためには、様々な場面でプロモーションが必要であると思います。例えば、バス車内や西平沼交差点のデジタルサイネージの活用や銀行・病院など待合席でのチラシ配布などで、普段、触れる事のない人々へのアプローチが必要であると思う。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑦に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標4 地域全体がつながりを持つまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|--|
| 10 | 町内会自治会と一口で言っても若い人から高齢者までいて多くの人がいろいろな催し物に参加して友好を深められるところと町内会自体の運営が人が見つからなくて疲弊しているところもあると思うので、1つ上の組織である連合町内会自治会が幅広く目を配り、そういう困っている町内会自治会に手を貸すべきだと思う。全体的に押し上げしないと、町の中に脱落してしまう町内会も出てくると思う。 | ③ | 目標4の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 11 | 目標4の自治会町内会関連として、次の世代の担い手はどのようにして見つけているのでしょうか。町内会役員の高齢化が進んでいます。 | ④ | 目標4の具体的な取組③に記載のとおり、世代別の興味や関心に応じた講座や事業を開催し、参加者の中から地域活動の担い手を発掘・育成していきます。 |
| 12 | 目標4 地域全体がつながりを持つまちについて、連合町内会のつながりは、この4期間に強まったと思います。5期以降は、各連合が個別に地域づくりをするのではなく、西区全体で協調し結びつきを深め関係性を強化していけると良いかと思います。今から5期以降とするのは難しいでしょうから6期以降に力をいれていけると良いかなと思います。たとえば「おでかけ3」のバスを西区全体で運行し買い物をしやすくする。西区で多く開催されている子ども食堂を連携させ、子どもたちの支援を強化させることもできるかなと。 | ③ | 目標4に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 13 | 自分のマンションが町内会に入らないので小学校になったときなど心配 | ③ | 目標4の具体的な取組①②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 14 | にこまちプラン拝見しました。障害者や高齢者、児童にも読んでもらえるよう、わかりやすくしたものの用意があるとよいと思います。 | ③ | 視覚障害者向けには「テキスト版」、児童向けには「こども版」のにこまちプラン作成を予定しています。目標4の具体的な取組⑦に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 15 | P.22区民アンケート コロナ禍の影響が大きく数字に表れていると思いました。障害のある方、違う世代の人、多様な人々が混ざり合う、参加しやすい機会を意識的に作り出す必要性を感じました。そのためには、多様な発信と企画内容の工夫、デザイン力等が必要と思います。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤⑦に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 16 | 西区だけでなく近年、国内に外国人が住みながら仕事に従事している人が年々増えている。外国人の階層も大企業で働く富裕層のビジネスマンから安い労働力として、労働人口が減少している重労働業務への従事者など様々だが、国内で暮らす外国人に対する情報発信として、英語・中国・韓国等、外国版データが必要ではないか？と思います。また、素案の概要版があると良いです。 | ③ | 計画原案では「概要版」を作成しています。目標4の具体的な取組⑦に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標4 地域全体がつながりを持つまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|---|
| 17 | 「素案をホームページで閲覧してね」と言われても高齢者には難しい人もいらっしゃるのではないのでしょうか？ | ④ | 区民意見募集の実施にあたっては、Webでの素案掲載のほか、区役所、にしとも広場、地域ケアプラザ、地区センター、福祉保健活動拠点に紙の素案冊子をご用意しました。 |
| 18 | 定期的にお祭りを開催。屋台などを積極的に出す。安めの値段→誰でも楽しめるようにする ・季節の行事ごとにイベント開催。クリスマス、ハロウィン、七夕、お花見など ・地域の運動会 学校ではやることのないような競技も入れて特別感を出す。協力が必要な競技も入れて、地域全体で交流できるようにする | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 19 | 定期的にお祭りをする 行けない日付があっても、いつかは行けるようになると思うからです。それに定期的にやったら活気にあふれるんじゃないかなと思ったからです。 子供だけで行けるようにする 親が仕事で来れないことがあるからです。1人で行ったり、友達で行ったりできるようにしたほうがいいと思います。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 20 | 目標4 地域全体がつながりを持つまちにするには行事やフェスなどを増やして、信頼できる人を作る。（人間関係のトラブルを避けられるから） | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 21 | 今回私が提案したいのは目標④と⑤を組み合わせた「積極的に町内のイベントに参加する」です。提案する理由は私が住んでいるマンションでは子供からご高齢までの幅広い世代が住んでいて、最近引っ越してきた小学生くらいの子供が挨拶をしても無視をして挨拶を返さないということがマンション内の理事会で議論になってしまい、自分は改めて人との繋がりが大事だと感じたからです。そこでどうすれば世代の違う人と繋がれるかを考え、積極的に町内のイベントに参加すればこのようなトラブルも起きないのではと思いました。例えば誰でも参加できる納涼祭やクリスマス会など、また「健和会」や「こどもかい」に入っている場合は健民祭やハロウィンパーティー、ラジオ体操にも参加することができます。町内のイベントに参加することによって他学年の人と話す機会が増えて新しい友達ができたり、世代の違う人とも話すことができます。だから私はこの「積極的に町内のイベントに参加する」を提案します。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標4 地域全体がつながりを持つまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|--|
| 22 | 地域のイベントごとをもっと増やすこと。理由は、納涼祭やフリーサロンはいろんな層の子供が行くし、たまにすごい混んでいるときがあるから何回かに分けたらかならず空いているときはあると思うから地域のイベントをもっと増やした方がいいんじゃないかなって思った。あと何回かに分けた方が地域の人と繋がれる。納涼祭やフリーサロン以外にも行事を増やして欲しい。たとえば年に一回あるクリスマス会？みたいなのもあったりするからハロウィンとかに行事を増やしたりなんかスタンプラリーみたいなのをやったら楽しめるんじゃないかなって思いました。理由は、スタンプラリーで全部見つけることができたならなんかお菓子とかおもちゃプレゼントみたいな感じにしたらくる人も多くなるんじゃないかなって思いました。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 23 | お祭りなどの地域のイベントが行われる時には、積極的に参加することで、近所の知り合いを増やし、つながりを持つまちにすることができると思います。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 24 | お祭りとか運動会とかハロウィンパーティーみたいなイベントで協力するゲームとかをだすのをやるのがいいと思いました。理由は、協力するやつだったらつながれるとおもったからです。防災訓練とかもいいと思いました。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 25 | ・イベントやお祭りに、若者がもっと参加するために、チラシやポスターで具体的に楽しさを伝える（イベントに参加してもらうため） ・みんなが他の人に会ったら挨拶をするようにして、なるべくたくさんの人と関係を持つ（友達や関係を持つ人が少なくなっているから） | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 26 | ・イベントで「西区はこんな事をやっています」というにこまちプランに関したことを開催する ・住民達が顔合わせとか話すきっかけを作って住民達が繋がりを持つ | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 27 | 施設の人だけでなく、町の人ボランティアとして参加する | ③ | 目標4の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 28 | 遊ぶときは大体同じ学校の人としか遊んでいない気がする。そのため、ほかの学校と関われるイベントを行うことで西区全体がつながる町に近づくと思いました。たとえば、〇〇小学校と〇〇小学校交流会などをおこなえばいいと思いました | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 29 | 誰でも入りやすいような、お祭りみたいな行事？を行うとか、なんか近くの人と交流ができるようなパーティーみたいなことを行うことです | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標4 地域全体がつながりを持つまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|--|
| 30 | お祭りなどの、地域全体で行われていて、たくさんの人と触れ合うことができるようなイベントの場所や回数を増やした方がいいと思う。子供がより和か健やかに成長できるようにするために、小学校を増やしたり、運動系のイベントの回数や種類や場所を増やした方がいいと思う。このように行うことで、誰もが「にこやか しあわせにくらすまち」を実現することができると自分は考えている。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 31 | 地域のイベントをみんなが知っているものや有名なものを入れた遊びなどを増やしてもいいと思う。理由今の若い人たちは昔の遊びなどをあまり知ろうとしないから、昔にもあって今もある遊びなどを地域の行事に増やしても良いなと考えたから。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 32 | ・みんなで参加したいと思える遊び（ボールなど使う遊び、小さい子も遊べること、フリーサロンみたいなのをもっと増やしてほしい） ・地域のイベントを増やすハロウィンなどクリスマスの子イブなどに集まって行事にまつわることをする。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 33 | 健民祭や街全体のお祭りをもっと増やしてほしい（今は少ないと思う）たくさんお祭りをした方が明るく楽しいまちになるから | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 34 | ハロウィンとかお正月とかの行事がある時は誰でも遊べるイベントを作った方がいいと思いました。そしたら誰でも遊べるので地域で繋がれると思うからです。でもあったとしてもわからなかったら意味がないのでポスターをいろんなところに配った方がいいと思います。イベントで市民と警察との関りも深めた方がいいと思いました。そしたら警察の人の考え方を知ったり仲良くなってあの人なら任せられるとおもえるようになっていづもよりは安心して暮らせるようになれると思ったから。それに警察も地域全体に入っているので目標4もいっしょに達成することができる | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 35 | ハロウィンやクリスマスなどのイベントの時に地域の人たち集まれるようなイベントを開催する（みんなが参加できるようなイベント） | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 36 | 地域の人たちの関わり減っているから祭りとか地域の人たちが関わる遊びとかを増やせば地域の人との関りがつながると思う。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標4 地域全体がつながりを持つまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|--|
| 37 | 生きがいができるように交流会を定期的にする。参加しやすいように誰でも歓迎など、実際どんな感じが資料などを貼る。 小さいイベントなどを知らない人がいるからもっと知らせる。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 38 | 地域全体がつながっていたら何かあっても近所の人に頼れてとてもいい街づくりができると思う。 他にも知っている人とかがいれば自分からボランティアやお祭り（地域でやること）に参加できるのではないのかなと思う。 あと、何か困っていることはあるけど家族や先生以外に相談したいと思った時に近所や地域の人に相談できそう。 | ② | 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。 |
| 39 | もっと色々な楽しいイベントを開いた方がいいと思う（例えば、クリスマスとか） | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 40 | 地域の交流を大事にしたいと思っているので、まずできる場合は各町内会へ活動の補助金を出します。 そしてここからは区役所の呼びかけ町内会の対応力になるのですが、月一程度で子ども大人を含め各家庭ごとに町内会の方ほとんどを集めるイベントを開催してもらいます。 そしてこれだけでは参加しない人が多いと思うのでまず参加した家庭の町内会費をイベントに参加した回数×月の月数 減額にします（例）百円、二百円）そうすることによって町内会に入っていない人でも入ろうと思え西区で町内会に入るメリットなどのポスターを掲示していくことで入ってくれる確率が増幅し、入っている人でも交流イベントに来ようと思えると思います。 そしてその交流イベントで交流をすればにこまちプランの目指す交流を深める、つながりを深めることができ、目標達成はもちろん、災害時の避難活動などにも役立てることができるのではと思います。 | ③ | 目標4に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 41 | 地域のおまつりとかをもっとふやしたら、子供が喜べるし楽しめるし、つながりを感じることができるし、人と関わるができるんじゃないかとおもいました。そして4番の地域全体がつながりをもつまちにもできるんじゃないかとおもいました。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 42 | 地域でのお祭りを冬などでも開催したりして、もっと増やしてほしいことと、子供が営業するお祭りをやってみたいのです。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 43 | もっと街の人と関わられるお祭りとかを増やしてほしいです。 みんなで集まるイベントを開催して欲しいです。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 44 | 平沼商店街など、商店街よりスーパーや駅などのお店に人集まっている傾向があるので、馴染みのあるその地域だけの商店街などで地域全体で関わることができるようなイベントを企画する。 | ③ | 目標4の具体的な取組④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標4 地域全体がつながりを持つまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|--|
| 45 | 図書館などで読み聞かせなどを1月に一回とかで開催して子供と高齢者のつながりを持たせた方がいいと思います。また納涼祭とか健民祭とかだと50歳ぐらい～70歳ぐらいの人と5歳～18歳ぐらいの人とかしか来ないから全世代が集まりそうなイベント例えばビンゴ大会とかオセロとか将棋とかのイベントなどを開催した方がいいと思います。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 46 | 3か月に一回ぐらいお祭りを開催してもいいと思う | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 47 | 繋がり度の資料を見て繋がる機会が少なくなっていることがわかったから、子供から大人まで参加できる家庭科みたいな何か作る会を作ったりしたらいいんじゃないかなと思います。（例えばミサンガとかぬいぐるみなどを作る。） ↑この会を作ることによって、街の人との繋がりも増えるし、作り方とかを知って友達にプレゼントしたりすることによって、友達との交流も増えるから、いいと思いました。 でもぬいぐるみとかだと、子供が多くなってしまいう可能性があるから、最近から寒くなってきたから、マフラーを作ったりしてもいいなと思いました。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 48 | お祭りや町内会などの頻度を増やしてみんなが話せる環境をなるべく増やしたり、今はマンションに住む人が増えてマンション内は人が多いからあんまり近所の人と交流する機会がないからマンションの人同士で交流することができるイベントを開催したりすれば少しはつながりがもてるまちに近づくと思いました。でももしかしたらどんなに工夫をしてもあんまりそう言う行事に行きたくない人がもしかしたら出て来るかもしれないからそうになったらポスターや呼びかけをして見るといいと思いました。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 49 | もっとイベント（祭りなど）を増やすのが良いと思います。 理由はイベント等をやることによって、認識がない人同士が親しくなれたり、ボランティア活動などを行うことによって、世代が違う人でも交流が出来るからです。 また、イベント等を増やすことによって、街全体に活気が溢れて、さらには西区の名物となって他の所から、いろんな人が来てさらに活気で溢れるから一石二鳥で沢山のメリットがあります。 そして、これをすることによって、関わりが増えて、目標3の「一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまち」の達成に近づける事ができます。 そのため、イベント等を増やすのが良いと思いました。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 50 | 地域のお祭りをもっと増やせばいいと思う。（納涼祭を夏だけじゃなくて冬もやるとか）そしたら、にこまちプランの2番と4番ができると思った。 | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標4 地域全体がつながりを持つまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|--|
| 51 | <p>目標3一人一人の個性を認め合い、みんなが共存する 目標4地域全体がつながりを持つ街 イベントやラジオ体操をすることで街の人と関わりを持てるのでそう言う事がいいと思います。そしたらたのしくらせるのでいいと思います。 安心するにはイベントや何かの活動を開催したりボランティア活動などをするのがいいと思います。なぜかというとなんで楽しくできるからです。しかもその上にたくさん街の人と喋れるので一石二鳥だと思います。その他は楽しく街の人たちと交流の機会を設けたら安心できる区になると思います。他の意見はお祭りなどを開催する事です。なぜならお祭りを開催することで街が盛り上がり活気に溢れるからいいと思います。</p> | ③ | <p>目標4の具体的な取組①⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。</p> |
| 52 | <p>私は、地域の行事やイベントをもっと増やしてみたら良いと思います。理由は最近インフルやコロナ、風邪の影響で地域の人たちで集まれる機会が少なくなってきて区役所の人も言っていたように、近所の人と関われる機会？が減っていることが実際にわかっているから、人がよく集まりそうなイベントや行事を地域で行えばいろんな人と関わって良いんじゃないかなと思ったからです。そのために、開いてくれたら自分から積極的に地域の行事などは参加してたくさんの人に、自分から話しかけたらいいんじゃないかなと思います。そのほかにも1の「安全が確保され安心なまち」の目標にも繋がるけど、ボランティア活動を地域の人たちとゴミ拾いとかをしたらいいんじゃないかなと思いました。理由は、地域の人たちとボランティア活動などをしたら地域の人とも沢山関われるしゴミ拾いとかしたら街も綺麗になって一石二鳥だからです。</p> | ③ | <p>目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。</p> |
| 53 | <p>もっと人と人の間を近くにする事が大切だと思ったのでお祭りやイベントなどをもっとやるべきなのではないかと思いました。 例えば宗教的なものの文化を知ってもらったりするためのイベントや、介護施設に行って高齢者の話を聞いたり、何かを手伝ったりするような会を開いたりする</p> | ③ | <p>目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。</p> |
| 54 | <p>家族以外の地域の人たちの関りが減っているといっていたから、関りが増えるように地域の人たちとたくさん話せるような遊びみたいなのをひらけば少しでも違う年齢の人などと話したりなどできると思いました。</p> | ③ | <p>目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。</p> |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標4 地域全体がつながりを持つまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|---|
| 55 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりを持つために、健民祭などのみんなが参加できて、楽しみながらたくさんの交流できる場面を作ったりするのがいいと思いました。 ・その取り組みをまだ知らない人がいたら、自分からその人に、自分から『こんなイベントやってるんだよ!』などを伝えて、みんなが参加して楽しめるようにすることが大事だと思いました。 ・誰にとっても安全で過ごしやすい街にするために、自分たち一人一人が知っている地域の取り組みなどを近くの人に伝えたりしているような人がいろんな地域の人々のための取り組みを知って、その取り組みを意識したりすることが（一人一人が）誰もが過ごしやすいまちづくりにつながるのかなと思いました。 ・いろんな人に地域の取り組みを知ってもらうためには、呼びかけだけでなく、ポスターやチラシなども必要かなと思いました。 <p>例えば西区民祭りの時などに入り口のところなどでエコバックを配ったりしてそのエコバックの中に、地域の取り組みについてのパンフレットなどを入れるのがいいと思いました。</p> | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 56 | <p>イベントや大会に出て、人との関わりや、健康を保つ地区センターでイベントをしているっていう宣伝のチラシをよく目に入るような場所には、学校帰りに、イベントの宣伝のチラシを配ると良いと思う。</p> | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 57 | <p>地域の子供でも大人でもいいから集まったの交流みたいなものをやったらいいと思いました。</p> <p>理由は、それで地域の人と交流などをすれば地域全体での交流が生まれ仲良くなったりしつながりが持てる街に近づけるようになると思うからです。</p> | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 58 | <ul style="list-style-type: none"> ・岡野二丁目で行っている餅つき大会とか良さそう ・第五地区の運動会みたいにみんなで団結できるイベント | ③ | 目標4の具体的な取組⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 59 | <p>今減っている同じ歳の人や違う歳の人とのつながりなどの割合を増やせるから街全体が知り合いになれるといいです。</p> <p>今つながりが下がっていているので2027年ぐらいには60%ぐらいにしたいです。</p> | ② | 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。 |
| 60 | <p>安心で、町の人との交流を深めるために『交流する』ということが大切だから、やっぱり交流をする場所を作り、知らせるといいんじゃないかなと思います。交流ができる活動とかをしても、知らない人が多いと思うから、チラシやポスターでお知らせをして、ケアプラザとかで交流できる場所を作るのがいいと思います。</p> | ③ | 目標4の具体的な取組③⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標5 こどもが健やかに成長できるまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|--|
| 1 | にこまちプラン策定会議の場に、有志の若年層の方々(学生等)に加わって頂くことは難しいでしょうか？ 次代の担い手不足が顕著な中、社会人の方々の多くは仕事をしながら各会に参加されているかと思えます。学生方も、アルバイトや習い事等で多忙かとも思いますが、各種イベントや街づくり等に介入してもらうことで、自分たちの住む町がどのようにして現在の姿に至ったか、日々参加しているイベントがどのように形作られているのか、行われている話し合いが、学校生活の延長線上のようにあることも、よくご理解いただけるように感じていると同時に、大人の我々が、若い感性から学ぶことも多いのではないのでしょうか。PTAやこども会・学校等を通じて、興味のある若い方々に参画されることを、ご一考頂ければと思います。 | ③ | 目標5の具体的な取組④⑤⑥に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 2 | 今年3月末で西区役所にあったキッズスペースがなくなりました。とても残念です。この辺は屋内で小さい子どもと過ごせる場所は少ないのに、これからどこに行けばいいのかとお母さん達が困っていました。スタッフ無しでスペースだけでもよいので、場所の提供をしていただけたらという思いで意見させていただきました。 | ③ | 区役所1階のキッズスペースについては、近年の利用者の減少等を踏まえ終了しました。 目標5の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 3 | 公園を使って子どもが色々体験できる行事をたくさん増やしてほしいです。 | ③ | 目標5の具体的な取組②⑥に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 4 | 西区は若い人が多いことがよくわかりました。同時に、人口動態の部分から見ても入れ替わりが激しく、単身世帯が多く集合住宅に住む人が多いということは近所づきあいが少なくなっていくたり、自治会加入者も減っていくと思えます。 小中学生の出前講座は、そんな西区の将来の若者を変える力があると思います。出前講座を聞いた生徒が西区に愛着を持ち、住み続けてくれる、地域活動に参加してくれるといいですね。 | ② | 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。 |
| 5 | 中高生がホッとできる居場所を作ってほしいです。 | ③ | 目標5の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 6 | こういうのは学校で勉強するといいと思います。社会とか。100人に一人くらいは記憶に残って、大人になってから思い出して地域のことやってくれるようになるじゃないかな。スマホなんか見るよりよっぽど勉強になります。 | ③ | 目標5の具体的な取組④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標5 こどもが健やかに成長できるまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|--|
| 7 | <p>目標の5に「こどもが健やかに成長できるまち」とありますが、これを一番に考えないといけないと思います。こどもたちの将来が心配です。このままではこどもたちが幸せを感じて生きていける世の中になっていかないと、思います。将来子どもたちが「生きててよかったな」と思える時代を、今から、わたしたち大人がつくっていかねばなりません。そのためには、豊かさの価値観を転換する必要があると思います。経済の低成長が続き、今後も成長は見込めないと思います。経済成長、お金持ちになるみたいなことを夢見て頑張るよりも、お金がなくても心豊かに暮らすことを目指すべきではないでしょうか。昔は貧乏で物を買ってもらったり、旅行へ連れて行ってもらえなくても、地域のお祭りでお菓子や景品をもらったり、子供会で遠足に行ったりしたことが幸せだったし、今でも幸せな思い出として心に残っています。ここに書いてあるように、もう一度、家族のつながり、地域のつながり、学校とのつながりなど、お金をかけなくてもできる人間同士の支え合いで感じる幸せを目指そうではありませんか。</p> | ② | <p>計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。</p> |
| 8 | <p>「子ども食堂」が注目され、そんな活動をしている方々を称賛するマスコミ報道が多いですが、そもそも「子ども食堂」が多いことがいいことなのですか？一番は、なくてもいい社会があるべき姿であり、一部に貧困家庭等が発生しているからやむ負えず実施していることなのに、NHKをはじめ各マスコミ等は「子ども食堂」がうまく運営されていますとの報道はするが、根本原因どこにあり、どのような対応をすべきかなどについては視聴者へ情報発信を全くしていません。行政も絆創膏的に対応をしますが、根本原因改善の働きかけ行動はできないのか、したくないのか分かりませんが、全くしていません。西区では行政が一般市民に「子ども食堂」活動を推進して、国の施策の不備を覆い隠そうとしていますね。そんなことでは、にこまちプランの推進も絵にかいた餅になるだけでは！</p> | ③ | <p>目標5に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。</p> |
| 9 | <p>【子どもの居場所】中央図書館のこどもフロアは飲食可能かつ子供が自由に過ごせとても助かっています。未就学児から過ごせる図書館/児童館のような学べる施設を増やしてほしいです。</p> | ③ | <p>目標5の具体的な取組②④に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。</p> |
| 10 | <p>西区の親子の居場所をもっと発信して動画等でもお知らせしてほしい</p> | ③ | <p>目標5の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。</p> |
| 11 | <p>西地区センターの開放している親子のひろばがもっとたくさんほしい。</p> | ③ | <p>目標5の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。</p> |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標5 こどもが健やかに成長できるまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|--|
| 12 | マットが敷いてあって赤ちゃんが安心して遊べる場所がほしい | ③ | 目標5の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 13 | 区役所で子ども連れての手続きはつらい。なぜ子どものスペースが無くなったのか。 | ④ | 区役所1階のキッズスペースについては、近年の利用者の減少等を踏まえ終了しました。 |
| 14 | 市か区か忘れたが、未就園児の遠足のような催し物を申し込みたかったが幼稚園の願書提出日の日だったので行けず。課が違うのかもしれないが横の連携をとって配慮をしてほしい。 | ③ | 目標5に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 15 | 小さい子供が無料で遊べる施設を作る（遊べるおもちゃをたくさん置く）親が用事で子供が1人になる時などに活用 | ③ | 目標5の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 16 | ・子ども食堂を増やす ・親と子供が協力して遊べる「クイズ」や「ポイントラリー」などのフェスを開催する | ③ | 目標5の具体的な取組②⑥に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 17 | 私は、目標4と5を共通してみんなと遊ぶ所が欲しく【小さい広場のような】、お祭りなどイベントごとがもっとあるといいと思いました。なぜなら、学校の友達と放課後に一緒に遊ぶときに岡野公園など広い公園でボール遊びなどをするとボールが転がって他の人に迷惑がかかっているような気がしたのでボール遊びなどができる小さい広場のような場所ができるといいんじゃないかなと思いました。また、夏祭りなどのお祭りの行事はあるけれど近所の人と積極的に関わるイベントがないと思いました。なので、子供と高齢者などが関わるイベントやマンションだけのイベントなどの地域行事などを開催してもいいのではないかと思います。岡野中学校や岡野公園で開催している消防の訓練では消火器などの体験だけでなく子供や時高齢者、障害の人に被害が起きた時にどのように助ければよいのか、どのような行動を取ったらいいのかなどもっと詳しく教えてもらったらいつ災害が起き被害が来てもいいように準備【心構え】ができると思います。フリーサロンなど子供たちが放課後などに遊べる施設などがあるのはとてもいいと思います。私が希望している小さい広場のような場所なのでこういうフリーサロンのような場所がもっとたくさんあってほしいと思います。 | ③ | 目標4、目標5に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 18 | 勉強会みたいなものを作る | ③ | 目標5の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 19 | 勉強を促進させるような、会みたいなものを開くことです | ③ | 目標5の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 20 | もっと遊ぶところを増やしてほしい | ③ | 目標5の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標5 こどもが健やかに成長できるまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|---|
| 21 | ・静かで勉強を教えてくれる場所（屋内）が欲しいです。 ・学校の給食を無料にして欲しいです。 | ③ | 目標5の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 22 | ・子供たちが広く自由に遊べる場所を増やしてほしい公園でもボールが使えなかったり狭かったりしてしまうから ・学校や塾だけじゃなくフリー（地域の人ボランティア）で勉強を教えてくれる場所（屋内）がほしい学校の復習や地域の人と繋がる場所になるから | ③ | 目標5の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 23 | 少子高齢化社会に対してどのようなことをするか。 子育て支援施設を強化 子育てをした経験がある人が少ない。 子育ての経験がある人から子育て経験がない人へ助言。 次の世代にさらに助言。 気軽に質問できるような場所を理想とする。 | ③ | 目標5の具体的な取組①②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 24 | 虐待やネグレクトなどを受けている子供たちが安心できるような場所。虐待やネグレクトを受けている子供は周りの人あまり相談できないと思うし、児童相談所には行きたくない、この場所を離れたくないなどいろいろな事情があってあまり相談ができないと思うから、そういう子供達同士が親には秘密で集まって食べ物や遊ぶ物を提供してもらって安心できる場所を作った方がいいと思いました。 | ③ | 目標5の具体的な取組①②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 25 | もっと子供達で遊べる施設が欲しいです。 | ③ | 目標5の具体的な取組②に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 26 | 子供が健やかに成長するためには育ててくれる人が欠かせないと思います。そのため、育てる人は体力的にも精神的にも大変だと思います。そのため、親同士の交流会や、また、実際に子育てをした人から聞いたコツなどをまとめたリーフレットを配る、子育てで困ったことの見聞箱を設置するなどをしてほしいと思いました。 | ③ | 目標5の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 27 | これは健民祭など開催する事です。健民祭は街の運動会みたいで面白いし、子供もいろんなこと喋れるし健民祭なので玉入れやリレーなどをすることで体を動かすからとても子どもにとっても運動になって良いと思います。ほかには地域全体が穏やかになることです。なぜなら子供が家に出た時に知り合いが挨拶してくれると子供も嬉しいし子供も安心して生活して健やかに成長できると思ったからです。 | ③ | 目標5の具体的な取組⑥に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 28 | 子育て支援だけではなく、その前から支援していったほうが良いと思う | ③ | 目標5の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標5 こどもが健やかに成長できるまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|---|
| 29 | こども・若者の意見聴取についてで、こどもの中で何か困っていることについての相談がよりできやすいように、何か紙を配ることや今回の出前授業など、積極的に伝える、といったことを行うといいなと思いました。 | ③ | 目標5の具体的な取組④⑤に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 30 | 子育てについても、わからなかったらネットに頼るのではなく、子育て会みたいなママ友などで、子育てのコツなどを教え合えたりなどできたら、子育てをしたことのないお母さんやお父さんでも子育てしやすいのかなと思いました。またそういう会があれば子育てをしやすくなると同時にその親たちでの関わりなども増えて良いんじゃないかなと思いました。 | ③ | 目標5の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 31 | 交流とかで高齢者向けが多いから、子供も触れ合えるような場所を増やすとよいと思います。（特に子供、大人関係なく交流できるような場所など） | ③ | 目標5の具体的な取組②⑥に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 32 | 子供の時に悩みなど、深刻な問題を抱えているまま大人になってしまって、将来的に犯罪を犯したりといったニュースをよく見るので、子供の時にその悩みなどがなくなるような場所を作る。今ではカウンセリングなどの気持ちを話せる場所もあるけれど、なかなか話せない悩みもあると思うから、気分転換ができる遊びをみんなでしたり、悩みがある子たちが集まって、みんなそれぞれの悩みを打ち明けたり、少しでも辛い思いなどを無くして健やかに育つことができる場所を作る。 | ③ | 目標5の具体的な取組①に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

目標5 こどもが健やかに成長できるまち に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|--------------------------------|
| 33 | <p>【目標5 こどもが健やかに成長できるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもが活躍できる場づくり →こども自身が活躍できると自信が持てるので続けて行ってほしいです。 ・こどもの居場所づくり →不登校や学校に馴染めない子もいると思うのでその子たちの居場所を確保することその子達の悩みなどの相談にのってあげるといいと思います。 ・子育て支援 →親御さんがこどもを育てるときに難しいなと思っていることについてサポートや相談にのっているところがいいと思います。そして、子供の広場のような子供たちの交流の場をつくり、子供たち自信が仲間作りをすることができると思うのでこれからも続けてほしいです。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加することのできるイベントなどをつくってほしいです。 →子供が中高生くらい大きくなってきたら親と離れて友達と過ごす時間も多くなると思うので家族で楽しめるようなイベントを作ってほしいなと思います。 ・西区を好きになってもらうために・・・西区のいいところを見つけてプレゼンしたりすると思います。 →西区のいいところを知ってもらえれば、やっぱり西区に住んでいてよかったなと思ったり西区が好きになってもらえると思います。 | ③ | 目標5に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの
- ②計画に賛同いただいたもの
- ③計画の推進に活かしていくもの
- ④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

計画全体に関すること、にこまちプランの策定・推進に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|---------------------------------------|
| 1 | 「西区ってどんなまち？」は計画の根拠となるようなデータが盛り込まれていて個人的には、わかりやすいと思います。どうしても内容を伝えようと思うと文字が多くなり、すべてを読んでもくれる方は少ないでしょうが写真も多く取り込まれているので伝わるとと思います。あとは、自分たちの町、未来をつくっていくということを多くの方に感じていただきたいです。 | ② | 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。 |
| 2 | 全体的にとっても充実しており、盛沢山な印象を受けました。基本的に、数年かけ経年的な状況を見ていくため、長期的な目線が必要なのであろうという印象でした。個人的には、横浜市地域福祉保健計画 西区版キャラクター「ちふくちゃん」を初めて見ました。にしまろちゃんのように、出番がもっとあり「にしまろちゃん」と「ちふくちゃん」が説明してくれるなど、親しみやすい感じがあると目を引き、若い世代にも見てもらいやすくなるのかと思いました。 | ② | 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。 |
| 3 | P.5西区ってどんなまち？ 西区の特徴がわかりやすく記載されていました。 | ② | 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。 |
| 4 | 「働くまち・学ぶまち」に加え、観光等で「訪れるまち」でもあるのではないのでしょうか。 | ③ | 計画に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 5 | 福祉保健計画という名前なのに、防災訓練とか脱炭素とか、なんで生活全般にわたることが書いてあるのかなと思って読んでいました。19ページに「西区の福祉保健計画の特徴」として「西区では、にこまちプラン（西区地域福祉保健計画）を、区の総合的な計画として位置づけ、福祉保健の分野にとどまらず、防災、防犯、まちの美化、デジタル化の推進なども対象としているのが特徴です。」と書いてあるのを見つけて謎が解けました。 | ④ | にこまちプランにご関心をお寄せいただきありがとうございます。 |
| 6 | 前半の、西区ってどんなまちのパートがいいですね。ほかでこういうのを見たことがなかったので、ずっと住んでいて好きなまちだけど、全体としてどんな傾向があるのかは知りませんでした。図書館とか行けば専門的な歴史の本とかあるのでしょうか、そんな詳しいことは求めているし、このくらい簡潔に概観できるのがいいですね。西区に住み始める人向けにもいいんじゃないでしょうか。 | ② | 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。 |
| 7 | 西区は若い人が多いまちなんですね。意外でした。未来をつくる若い力がたくさんあるということだと思うので、まちづくりへの可能性を感じました。 | ② | 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。 |
| 8 | 少子化対策のためにもどうか東京のように保育園を0歳から無償化にしてください。今すぐして欲しい政策です。 | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

計画全体に関すること、にこまちプランの策定・推進に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|---|
| 9 | 68ページのにこまちの歌は、どこで聞くことができますか？身近に手軽に聞けるといいと思います。 | ④ | にこまちのうたにご関心をお寄せいただきありがとうございます。 西区ホームページから聞くことができます。 https://www.city.yokohama.lg.jp/nishi/kenko-iryo-fukushi/fukushi_kaigo/chiikifukushi/fukushi-plan/nikomachi-uta.html |
| 10 | 西区在住77才の高齢者/男 このプランのパンフレットを見ると、地域福祉は各自治体で行うことを勧めているように見えます。更に方向性の欄を読むと、行政は手が回らないから、地域で活動してくださいと感じます。基本理念では高齢者は施設を利用せず、家庭で暮らし続けることを奨励してるように感じますが、私は行政は施設の充実に費用はかけたくないと感じてしまいます。どの世代の統計をもとにして、パンフレットを作成したのかわかりませんが、世代や設問内容が変わると統計数値は大きく変わります。うまく表現できなくてすみませんが、行政は人手を省きたいし、高齢者に金もかけたくないと感じてしまう内容です、単なる意見ですすみませんがこれで良いのでしょうか？ | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 11 | みなとみらい地区から西区役所への交通機関の充実、路線バスは1日に2便に減らされほとんど機能していない。区役所との結びつきのため。または支所の新設。 みなとみらい地区の高齢者向け社会福祉施設（ケアプラザ、コミュニティハウス）の新設、歩いて行ける施設、みなとみらい地区では、地域包括ケアシステム内での福祉部分が欠落している。健康づくりと社会参加が必要。 | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 12 | 23ページに「第4期計画を総合的に振り返り、第5期計画における重要な論点を整理しました。」というページがあります。第4期計画のところに「団体ヒアリング」「推進評価委員会」とありますが、これが何なのかわかりませんでした。注釈をつけたほうがいいと思います。 | ① | わかりづらい文章や表現について、注釈を追記しました。 |
| 13 | 今回、フクシアで区民意見募集のチラシを手にして素案を見てみました。全体の感想として、図や写真が多くカラーで掲載されているので見やすく感じた。しかし、各目標の具体的な取組ページは文字ばかりで文字が小さく読むのが辛かった。 | ① | 計画の原案作成にあたり、レイアウト等を整えました。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

計画全体に関すること、にこまちプランの策定・推進に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|---------------------------------------|
| 14 | 第5期計画を拝見して、第2章 西区ってどんなまち？が今回とても充実していると感じました。人口動態だけでなく地政学的な見地、また、区民アンケート結果から見える区民の意識まで書かれています。個々だけを抜き出し西区のマップを加えると、転入者への西区紹介資料としても活用できるのではないかと思います。どのページも図や写真がふんだんに取り入れられており、読んでみよいかという気になりました。 | ② | 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。 |
| 15 | 1枚目に「こんな街になる事を目指して」とありますが、具体的な目指す例で11項目が絵図周りに書かれています。そのうち9項目は「近所の方々と顔の見える関係」がないと成り立たない事と思えます。私は、ほとんどマンションで成り立っている町内会にありますが、年を重ねる毎に近所の人との関りが薄くなっており、「安全で安心できる生活」については、行政が保証することであると考えている健常者は、福祉活動に全く興味を持たないし、関わりたくないと判断しています。福祉活動に全く興味を持たなく、他の人と新たに関わりたくないと考えている人々を巻き込む施策がないのでは、全く意味のない活動プランになると思えます。西区の「居住期間が1年以上5年未満の人の割合は、18.9%で市内1位であり、人の入れ替わりが多い」と書いてあるのに、それに対する対応策が全くありません。市内で1位で且つ約20%であれば、それを意識した施策が必要ではないですか。私のマンションも10年で居住者の半分位は入れ替わっています。 | ③ | 計画に関連するご意見として、計画の推進に活かしていきます。 |
| 16 | 良く吟味され、良く練られた素案だと思います。区役所のご担当の方々の西区のあるべき姿への誠実な思いというか、熱い思いを感じます。あえて関連づけるなら、方向性の②、目標の③につながるかと思いますが、『共生社会』を想起させる素晴らしい内容だと思います。ご担当の皆さまに感謝申し上げます。 | ② | 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。 |
| 17 | 【交通利便性】横浜ならではの公共交通機関の充実さには大変助かっています。ただ周辺住民のために、横浜駅を経由しない施設間もバスなどの路線を充実させてほしいです。(例:相鉄沿線駅←→みなとみらいなど) | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 18 | 【駐輪場】各駅に一時駐輪場を整備して欲しい。近隣住民の利用が優先されると良い。 | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 19 | 【エレベーター】横浜駅のエレベーターを増やしてほしい。またベビーカー移動時の動線がスムーズになるようにしてほしい。 | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

計画全体に関すること、にこまちプランの策定・推進に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|---|
| 20 | 【治安・トラブル】神奈川県警は不祥事が多いと言われていますが、西区には戸部警察署もある。子供をめぐるトラブル(イジメ、放置児、虐待、誘拐など)や女性のトラブル(痴漢など性被害)は警察にも優先して対応していただきたい。特に子供に関わる事件事故は本当にゼロを目指して頂き、安全なまちを刑事事件民事事件の観点からも達成してほしい。 | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 21 | 【公会堂、スポーツセンター】イベントや定期講習などお年寄り向けの内容が多く感じるため、子供向けイベントを増やしてほしい。 | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 22 | 【エアコン】何かの資料で横浜市は公立学校の体育館のエアコン設置率が低いと見ました。暑い年が多いため、急ぎ100%にして欲しい。またログハウスなどの子供の遊び場もエアコンが稼働していないことがあるため、設置及び稼働してほしい。 | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 23 | 「にこまちの歌」を市民に広めるため、駅のインフォメーションの所でも流してほしいです。 | ③ | にこまちのうたの認知度を向上させることは重要だと認識しております。いただいたご意見につきましては、今後の計画の推進に活かしていきます。 |
| 24 | 西区内のゴミ収集車で作業時に「にこまちの歌」を流してもらえると、区民に周知できると思います。 | ③ | にこまちのうたの認知度を向上させることは重要だと認識しております。いただいたご意見につきましては、今後の計画の推進に活かしていきます。 |
| 25 | にこまちの歌、西区内の小中学校でも流してもらえたら子どもたちにも聞いてもらえて良いと思います。 | ③ | にこまちのうたの認知度を向上させることは重要だと認識しております。いただいたご意見につきましては、今後の計画の推進に活かしていきます。 |
| 26 | 地区センターや西区役所の開館時にBGM（にこまちの歌）を流してみてもはどうでしょうか。 | ③ | にこまちのうたの認知度を向上させることは重要だと認識しております。いただいたご意見につきましては、今後の計画の推進に活かしていきます。 |
| 27 | 計画の全体はとてもよいと思います。 | ② | 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。 |
| 28 | 図書館の本が借りられる施設で絵本が破られたままのものが結構ある | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

計画全体に関すること、にこまちプランの策定・推進に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|----------------------------------|
| 29 | 保育園の利用料を無料にしてほしい | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 30 | 保育園の申請を来年度の4月からの人で、2月、3月生まれの人は申請しなくても良いようにしてほしい(以前大田区に住んでいたがなかった) | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 31 | 誰でもは入れる室内の広めのスペースを増やす（軽い運動〇）雨の日などでも友達などと簡単に関わることができる施設を増やす | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 32 | スーパーとか最近はセルフレジが多くておばあちゃんやおじいちゃんに困っている人が多くなっているからそこで安心して使えるのは店員さんがレジ打ちしてくれる方が安心してスーパーを利用できるからおじいさまおばあさまからしたらやっぱりセルフレジは使い方も理解しないといけないからそこを考えた上で使うのは少し難しいんじゃないかなって思いました。安心できる街だからこのような不便なことがあったらちょっとな～って考えてしまう人もいますからそこをもう少し考えてやってもらいたいです。 | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 33 | ・消防・・・嘘の火を出して鎮火する ・救急・・・またVRで模擬の手術 ・警察・・・泥棒を捕まえるVR | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 34 | 遊ぶ時はよく地区センターなどを使用しているのですが、空いてないこともあるので、コミュニティセンターなどを増やして、常にどこかは使える状態にしてほしい。 また、どこが空いているのか、予定表を掲示板や地区センターなどに掲示してほしい。遊ぶ場所が広がり、確保できれば、街を歩いて回る機会も、今まで知らなかった西区の場所に行く機会も増えると思うからです。 | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 35 | ・アクティブ交番みたいなアクティブ病院を公園に設置して怪我した時に対応できるようにする ・公園はすなだけでなく芝生のゾーンもつくる | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

計画全体に関すること、にこまちプランの策定・推進に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|--|------|----------------------------------|
| 36 | ・信号機をもっと作る | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 37 | ・ボールがつかえておじさんやおばさんにおこられない広場が欲しいです。 ・クリニック、病院を作って欲しいです。 ・食品が安いスーパーを作って欲しいです。 ・学校の給食を無料にして欲しいです。 ・コンビニのイオン（マイバスケット）、ファミリーマート、ローソンをもっと作って欲しいです。 ・広い運動場を作って欲しいです。 | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 38 | タバコ吸っちゃダメなのに吸う人がいたから禁じられているならもうちょっと厳しくしたらいいと思うそれでも無理だったら喫煙所を作った方がいい（喫煙所もダメだけど） | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 39 | いじめをなくして平和に過ごしたほうがいいと思いました、一人ひとりの個性を認め合い、相手の意見を尊重し、周りの人との関わり方を考え、一人の人に偏った対応をせず一人ひとり同じ対応をし、相手が傷つく言葉を使わない。 そのために子供が集まる場所や色々な人との交流や友達を増やせる場に積極的に参加や行ったりして、交流を深めコミュニケーション能力を高め特定の人以外とだけ話さず、みんな平等に話せるようにする | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 40 | 目標5 作品展示（図工や書道などの作品で希望した人の飾ってもらう） 目標4 子供に限らず大人の趣味で作ったものを展示してもらう今までの西区の活動で、作品の展示や、作ったものの展示をしているところを見たことがなかったからです。 | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |
| 41 | 一人一人の個性ある絵などの作品を横浜市民ギャラリーなどに飾って、その飾られた作品を見て、見に来た人は『こんな作品の作り方や塗りかたがあるんだなあー』などの他の作品を見てるからこそ自分も、面白いなど思ったり勇気をもらえたりすると思うから、地域の人などに、『こういうところにギャラリーがあっているんな作品を見れて楽しいから今度一緒に行こう！』などの近くの知り合いや友だちからの誘いなどでいろんな新しい考えなどを知ることができると思いました。 | ④ | いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。 |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

計画全体に関すること、にこまちプランの策定・推進に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|--|
| 42 | <p>作品展示（希望者のみ） →西区役所などに、自分が図工や、趣味、書写などを展示できるみんなに見てもらいたい！という人誰でもが展示できます また、作品の感想なども付けるといいと思います 効果 目標3と結びつけると、自分以外の西区民の作品を知ったり、褒めあったりできるから誰もが個性を認め合うと結びつくと思います。 また、目標4は地域全体がつながりをもてる町というのでみんなの作品を見て感想などで、人々が繋がれると思いました。 目標5は、誰でも作品を展示できるので、子供も作品を展示できるからみんなが認め合ったり褒めあったりすれば、子供が健やかに成長できると思いました。</p> | ④ | <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p> |
| 43 | <p>いつでも西区の人が安全に暮らすためにボランティア活動に積極的に参加するようによびかける活動をしたりする様なり、みんなで協力して西区の町自体を好きになるためにみんなが関わったり自由に参加することができる今のフリーサロンのようなものを作りそこでみんなの関りが増える様にすることが大切だと思います。具体的に何を実施するのか考えたりせずに大きな問題点をきめそれに向かってどう計画してどのようにその計画を実行するのが大事だと思います。 今日の時間をとってくれてありがとうございました今日のことを踏まえて自分が住んでいる町について今の状況は少子高齢社会なのでその様なボランティア活動を増やすことが大事でそれによってみんなの関りが増えることもわかりました。なのでこれからもみんな平等に人と人とを認め合いみんなが暮らしやすいまちづくりは人を思いやるこれからの社会にもつながる様にするために大切なことだとわかりました。</p> | ② | <p>計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。</p> |
| 44 | <p>今は自分の作品にしか目をやれていないような人や、作品を作っていて誰かに努力して作った作品を観てもらいたいといった人もの絵や工作などの作品を誰でも気軽に観ることができる場所を作る。</p> | ④ | <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p> |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

第5期にこまちプラン区全体計画（素案）区民意見募集 ご意見及び対応分類一覧

計画全体に関すること、にこまちプランの策定・推進に関すること

| No | 意見 | 対応分類 | 対応の考え方 |
|----|---|------|---|
| 45 | <p>意見・提案 西区の人たちが、自分の作品（絵、書道、工作、裁縫、その他いろいろ）を希望すれば展示される場所をつくる内容 子供に限らず、大人の人たちでも、趣味や仕事などでつくったものを希望すれば展示されるようにするのがいいと思います。 そして、展示されたものは誰でも見れるようにします。 効果 うまくいった場合、つくったひとは人に見てもらえて嬉しいし、承認欲求も多少満たされて、場合によっては自分が生き続ける意味をここで見つけるかもしれないと可能性があります。また、子供が自分の作品を見てもらって、目標5の健やかに育つことができると思います。 また、展示されていたのを見た人の間や、つくった人と見た人、つくった人同士の間で「これすごいですね」「これどうやってつくったんですか？」などと会話ができて、その間で関係ができて、地域のつながりができて目標4の達成にもつながります。 他にも、さまざまな作品が集まるので、お互いの作品を尊重し合い、目標3にも繋げることができます。 この提案は、「つくる→展示する→見てもらう→会話が生まれる」が成り立つ必要があるので、誰でも気軽に展示を希望したり、見ることができるように、希望の仕方や、展示場所に多少の工夫をする必要はあると思います。</p> | ④ | <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p> |
| 46 | <p>私は3・4・5・の目標に当てはまる 「作品てんじ（希望者のみ）」がいいと思います。理由は子供だけではなく、大人も同じ場所に展示をしたらその展示を見に来た人たちが老若男女問わず、たくさん話したりすることができると思ったからです。希望制にした理由は絵があんまり好きではない子や飾られるのが恥ずかしい子がいるからです。飾らなくても見に行ければ「〇〇さんのこの絵が上手いな」など人の作品を褒めあったりするなど地域の人たちと繋がりが持てると思います。</p> | ④ | <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p> |

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの ②計画に賛同いただいたもの ③計画の推進に活かしていくもの
④質問、その他要望

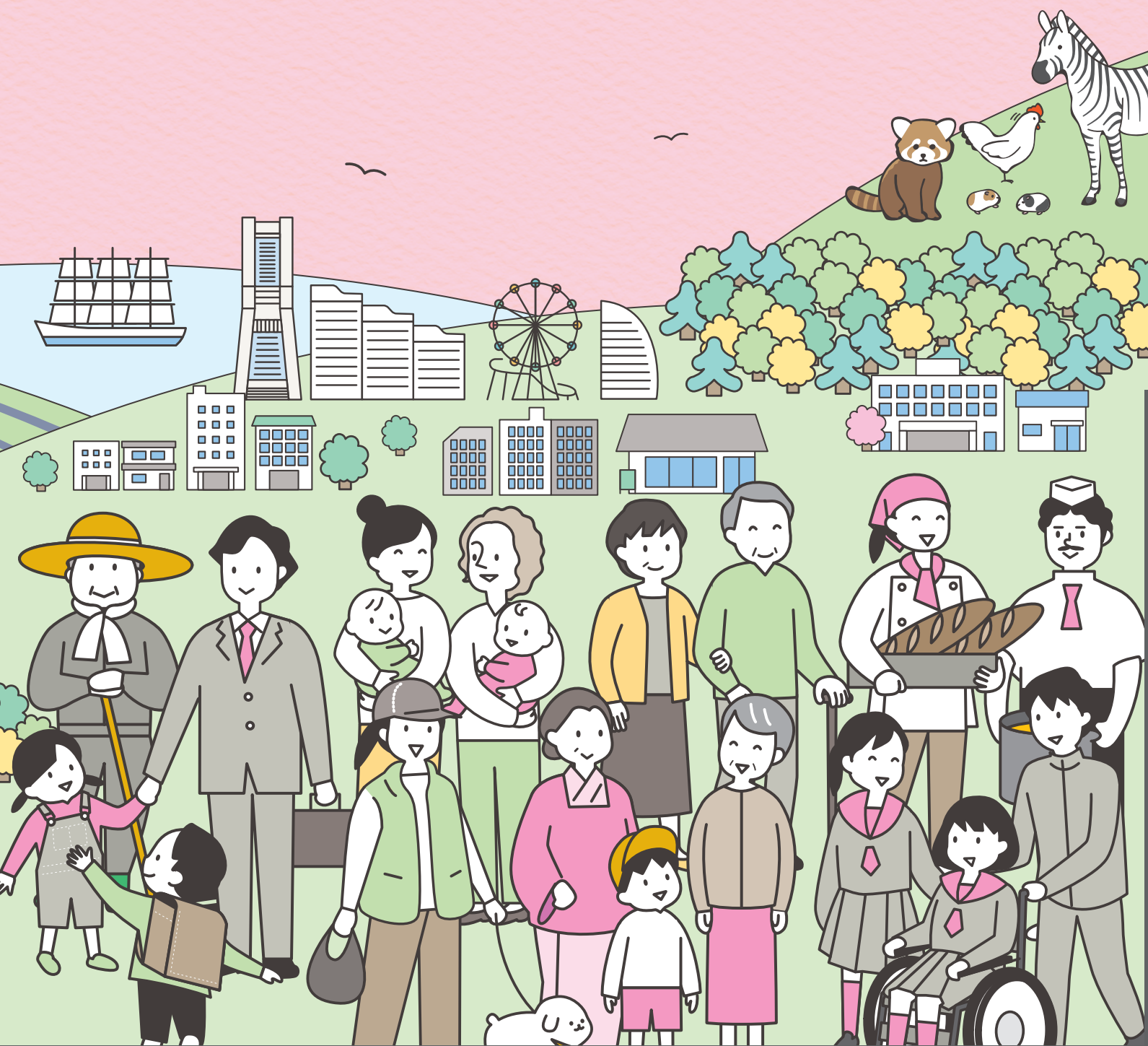
第5期

はじめよう 今日からわたしにできること

にこまちプラン

にこやしあわせくらしのまちプラン

計画期間 > 令和8-12年度(2026-2030)



目次

序章

| | |
|----------------------|---|
| にこやか しあわせ 暮らしのまちのすがた | 3 |
|----------------------|---|

第1章

| | |
|-----------|---|
| にこまちプランとは | 4 |
|-----------|---|

第2章

| | |
|------------|---|
| 西区ってどんなまち? | 5 |
|------------|---|

第3章

| | |
|------------|----|
| 第5期にこまちプラン | 19 |
|------------|----|

| | |
|---------------------------|----|
| にこまちプランの法的名称「地域福祉保健計画」とは? | 19 |
|---------------------------|----|

| | |
|------------|----|
| にこまちプランの構成 | 20 |
|------------|----|

| | |
|------------|----|
| 第4期計画の振り返り | 21 |
|------------|----|

| | |
|-----------|----|
| 第5期計画に向けて | 23 |
|-----------|----|

| | |
|-------|----|
| 区全体計画 | 24 |
|-------|----|

| | |
|-------------------|----|
| 目標1 安全が確保され、安心なまち | 25 |
|-------------------|----|

| | |
|------------------|----|
| 目標2 活気にあふれ、健康なまち | 34 |
|------------------|----|

| | |
|------------------------------|----|
| 目標3 一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまち | 42 |
|------------------------------|----|

| | |
|--------------------|----|
| 目標4 地域全体がつながりを持つまち | 49 |
|--------------------|----|

| | |
|---------------------|----|
| 目標5 こどもが健やかに成長できるまち | 59 |
|---------------------|----|

| | |
|-------|----|
| トピックス | 66 |
|-------|----|

| | |
|-------|----|
| 地区別計画 | 68 |
|-------|----|

| | |
|--------------|----|
| 区計画と地区別計画の連動 | 97 |
|--------------|----|

第4章

| | |
|---------------|----|
| にこまちプランの策定・推進 | 99 |
|---------------|----|

| | |
|-------|----|
| 策定の過程 | 99 |
|-------|----|

| | |
|----------|-----|
| 第5期計画の推進 | 100 |
|----------|-----|

| | |
|------------|-----|
| 第5期計画の振り返り | 100 |
|------------|-----|

| | |
|---------|-----|
| 他計画との関係 | 101 |
|---------|-----|

| | |
|-------------------|-----|
| 推進・評価委員会(策定検討会)名簿 | 102 |
|-------------------|-----|

| | |
|---------|-----|
| にこまちのうた | 103 |
|---------|-----|

にこやかしあわせくらしのまちのすがた



子どもたちが安心して
過ごせる居場所があります

ママ友、パパ友と
集まる機会が楽しみです

今後もずっと西区に
住み続けたいです

いつでも手軽に暮らしや
身近な地域の情報が
得られます

どこへでも安心して
出掛けて行けます

協力してくれる
仲間が増えて楽しいです

地域の防災訓練には
家族で参加しています

みんなと挨拶をすることで
まちが安全になりました

ごみ出しをお隣さんが
手伝ってくれました

地域の人々と
体操をして気持ちいいです

ちょっと困ったときに
近所の人々が助けて
くれます

いくつになっても
心と体が健康です

お気に入りの
居場所やサロンに居ると
地域の見守りの輪の中に
いると感じます

障害があってもなくても
自分らしく生活することが
できます



第1章

にこまちプランとは

前ページに描いた「にこやか しあわせ 暮らしのまちのすがた」に向けて、西区のまちやそこでの暮らしぶりを充実させていく、それが「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン* (略称: にこまちプラン)」です。

※正式名称は西区地域福祉保健計画(P.19 参照)

にこまちプランとは?

みんなが幸せになるように、
自分にできることをするためのプラン

人が人を思いやり、少しずつ助けあい、
安全で安心な生活を送ることのできる地域をみんなで作っていきます。

にこまちプランは誰が進めるの?

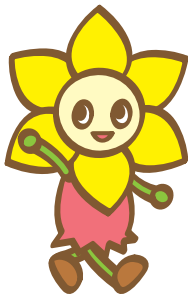
西区とつながるすべての人

西区に住む人、働く人、学ぶ人、西区にある施設、関係機関、行政など、
西区に関係するすべての人が、
それぞれの立場でできることから始め、互いに協力して実行します。

どんな西区(まち)を目指す?

誰もが にこやか しあわせ に くらすまち

こどもも高齢者も、障害があってもなくても、みんながそれぞれの個性を理解し、
それぞれの得意を生かして支え合い、活躍できるまちを目指します。



西区のマスコットキャラクター
「にしまるちゃん」



横浜市地域福祉保健計画
西区版キャラクター
「ちぶくちゃん」



西区社会福祉協議会のキャラクター
「ニン・ニコ・マッチ氏」

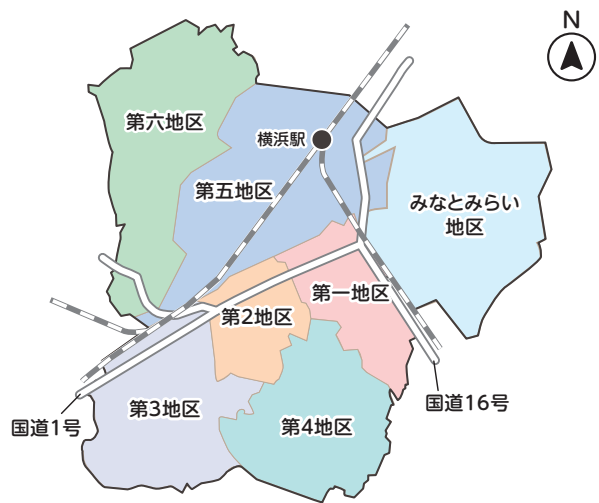
第2章

西区ってどんなまち？

横浜駅周辺及びみなとみらい地区を中心として、区の北東部は横浜の都心として発展してきました。

国道1号沿い等の区南部の丘陵地は都心を支える業務地として古くから市街化が進んできました。近年は共同住宅の立地が進んでいます。

南部の丘陵地は都心にほど近い住宅地として利便性が高い一方、古くから市街化が進み、住宅が密集している地区もあります。



人口

- 総人口は約10.5万人で市内最少
- 市内多くの区で人口減少傾向にあるが、西区は増加率が市内最大。人口増加は今後も続くと予想

▶ 人口増加が続く

世帯

- 世帯あたり人員は1.82人と少なく、市内で2番目に低い
- 単身世帯比率は53.7%と高く、中区に次いで市内で2番目に高い

▶ 単身世帯が多い

人口動態

- 区外からの転入者が転出者を上回る。特に、20代の転入者が多い
- 1年以上5年未満に転出する人の割合は、18.9%で市内で1番高い

▶ 転出入が多い

高齢者

- 高齢化率は18.9%で市内で2番目に低い
- 一人暮らしをする高齢者の割合は9.4%と市内で4番目に低い
- 一方、丘陵部の地域では、高齢化が進んでいる

▶ 丘陵部は高齢化が進む

居住形態

- 集合住宅に暮らす人の割合が7割を超える
- 持ち家の戸建てに住んでいる人の割合は20.4%で、市内で最も低い

▶ 集合住宅が多い

就業者等

- 事業所就業者数は約21万8千人で市内で最も多い
- 専修学校は区内に、12校が立地し市内で2番目に多い

▶ 働くまち・学ぶまち

交通

- 横浜駅は、1日の乗降者数約200万人の巨大交通ターミナル
- 一方、丘陵部の地域では、バスの減便など、地域交通に課題がある

▶ 交通の便利と不便が混在

外国人

- 外国人居住者の割合は5.8%で、市内で3番目に高い
- 国別では、中国、ネパール、韓国、ベトナムの順に多い

▶ 様々な国籍の人が暮らす

地理

- 第五地区、みなとみらい地区は海を埋め立てて生まれたまち
- 業務商業用地の多くが埋立地域に集中
- その他の地域は古くからの住宅市街地

▶ 業務・商業用地と住宅地が併存

(出典：R2国勢調査 ほか)

▶ 中心部はかつて海だったまち

横浜の都心を形成している横浜駅周辺(第五地区)とみなとみらい地区はともに埋め立て地です。

入海(いりうみ)を取り囲む第一地区から第3地区及び第六地区は、低地から丘陵にかけてそれぞれ戸部村(とべむら)と芝生村(しばうむら)を背景として市街地化してきた地区です。

第4地区はさらに奥の丘陵尾根部から成る地区です。

丘陵部・低地部(旧入海部)それぞれにがけ崩れや洪水など、防災上の課題があります。

芝生村の南側海沿いに旧東海道が通り、区の西側に位置する保土ヶ谷宿からは内陸丘陵部へと向かいました。

江戸時代の西区



(出典: H28 西区まちづくり方針)

西区の立体地形と地区、町丁目



▶ 巨大ターミナル駅を有する利便性と丘陵部における交通課題が混在するまち

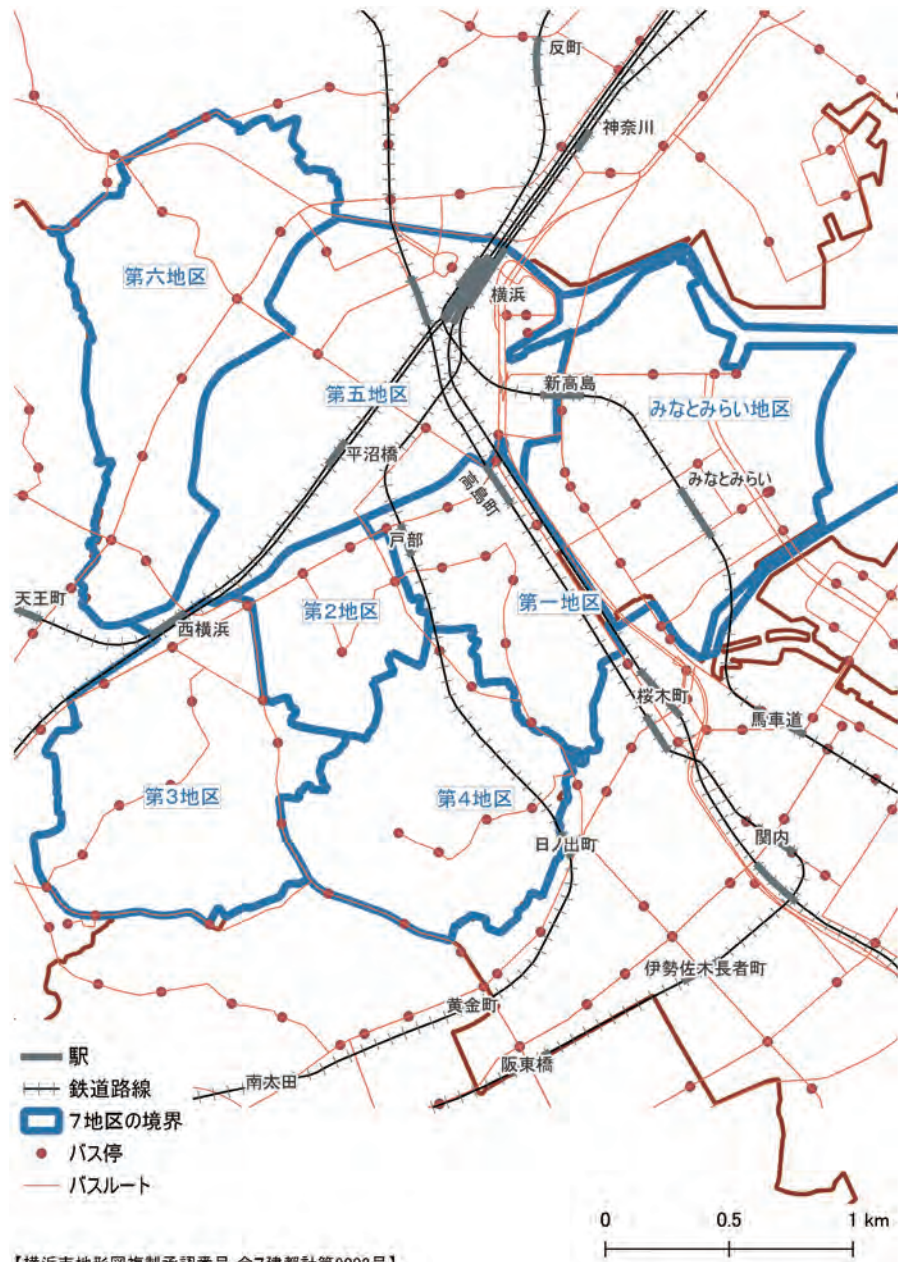
横浜駅は9路線、一日乗降者が約200万人に上る日本有数の巨大交通ターミナルです。

一方、市内各方面へ延びる鉄道、広域道路網に加え入海(いりうみ)を埋め立てて生み出された低地域を流れる複数の河川によって、地理的に分断されている地域もあります。

丘陵部は狭く坂の多い道路体系により日々の買い物など、日常生活における移動に課題を抱えている地域があります。

広域的にみると、区全体として南北を結ぶルートが弱くなっています。

鉄道とバス網



(出典:バス停・バスルートは、R4 国土交通省調査)

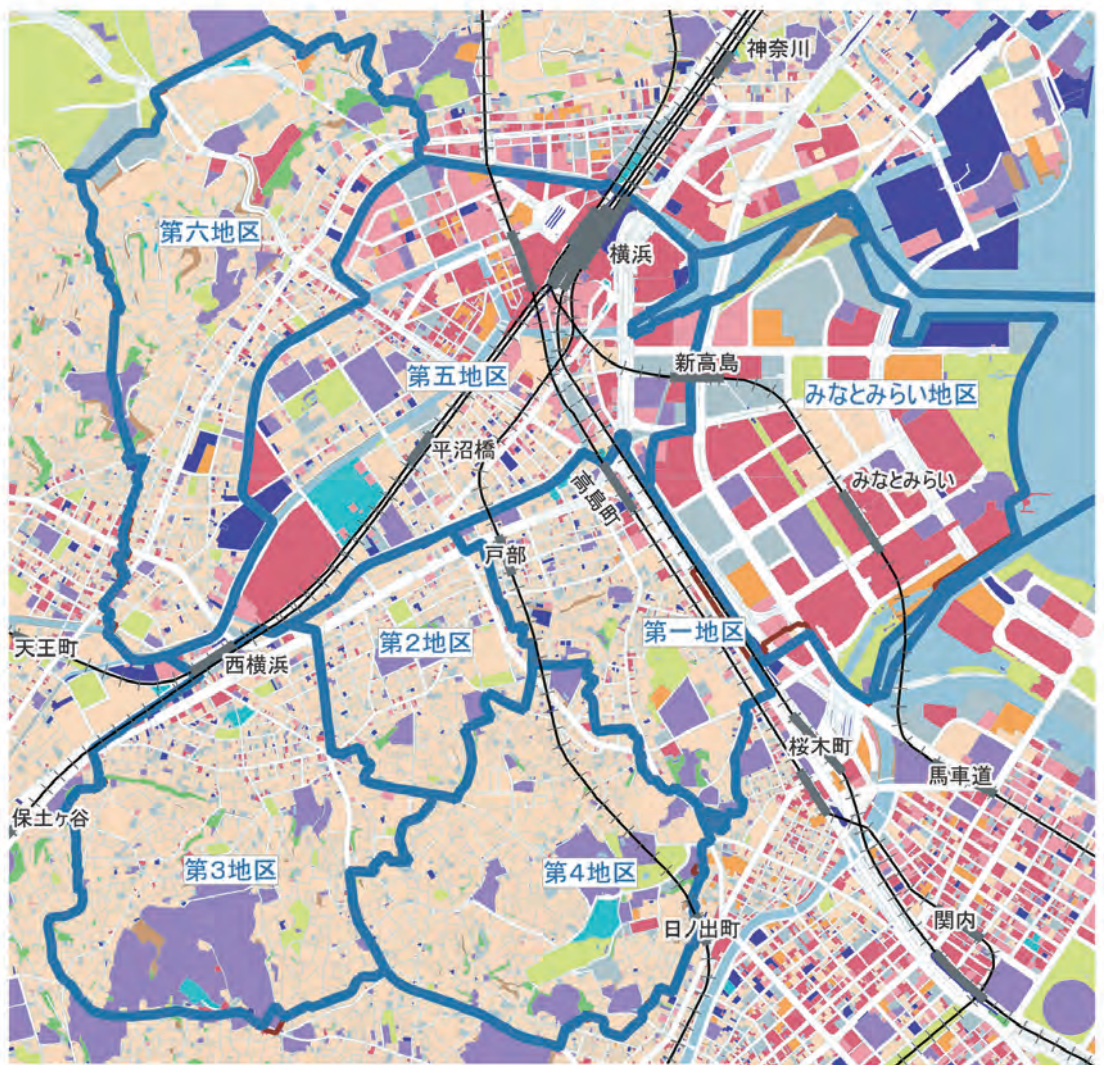


▶ 業務・商業用地が集まったまち

区域の14.5%が商業用地であり、その多くが横浜駅周辺とみなとみらい地区に集まっています。さらに、第五地区の鉄道や河川沿いにはまとまった低未利用地※や工業用地が集まっています。その他の地域は市内でも比較的古くからの低層住宅市街地が広がっています。

※低未利用地：空地・空き家など、十分に活用されていない土地等のこと

土地利用現況



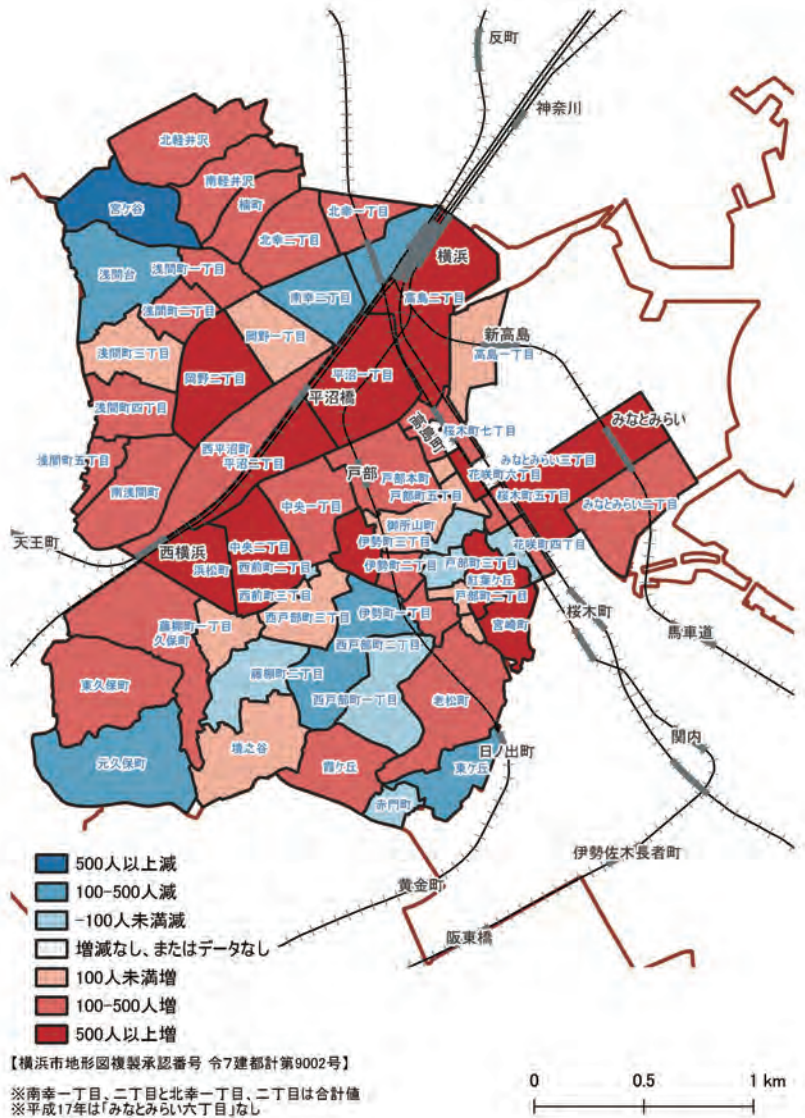
【横浜市地形図複製承認番号 令7建都計第9002号】

- | | |
|--------------------|--------------|
| R02土地利用現況調査 | 公共用地、文教厚生用地 |
| 田・畑など | 工業用地など |
| 河川、湖沼など | 供給処理施設用地 |
| 荒地、法面など | 防衛施設用地 |
| 住宅用地(店舗併用含む) | 都市公園、ゴルフ場など |
| 業務用地 | 未建設用地、駐車場など |
| 商業用地 | 自動車専用道路、道路など |
| 宿泊娯楽施設用地 | |

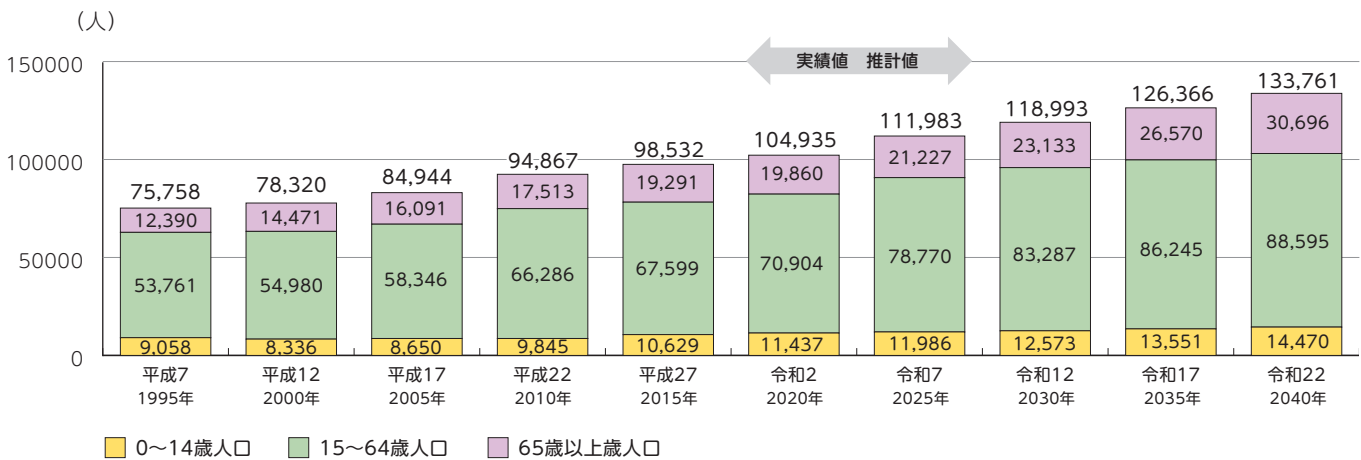
▶人口増加が続くまち

人口は、区内多くのエリアで増加傾向を示しています。一方、丘陵部の一部エリアでは人口減少がみられます。区全体としては、今後も人口増加が続く見込みです。

西区町丁目別人口増減(H27~R2)



将来人口推計



(出典:実績値=国勢調査 推計値=横浜市推計)

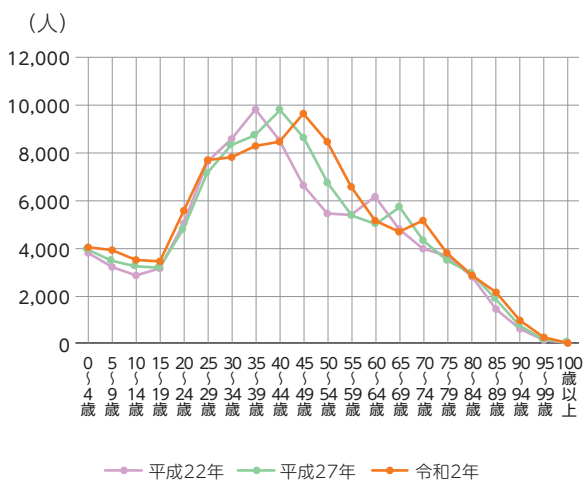
▶ 入れ替わりの大きなまち

年齢別人口割合の動向をみると、団塊ジュニアの世代にあたる50歳代をピークとして20歳代後半までの人が多いことがわかります。

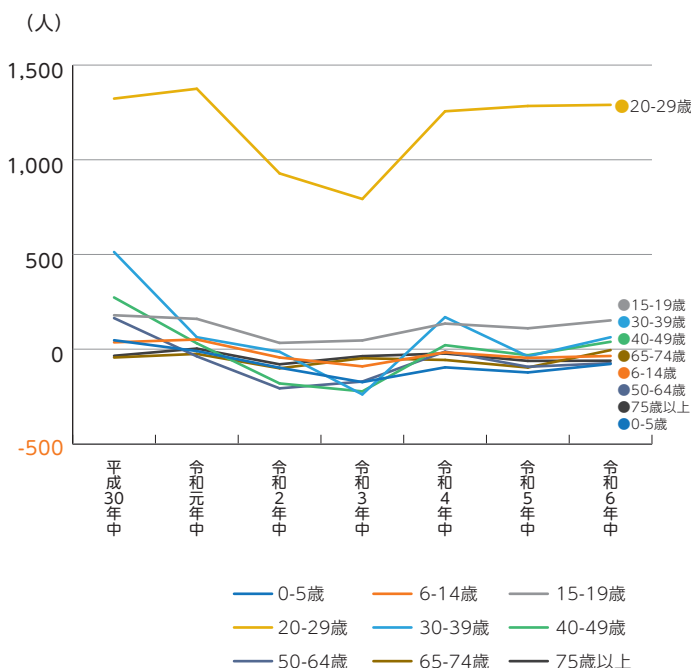
今後も現状の動向が続いた場合、20年後には著しい高齢化社会がやってくることになります。

また、居住期間が1年以上5年未満の人の割合は、18.9%で市内1位であり、人の入れ替わりが多いまちといえます。

西区年齢別人口の動向

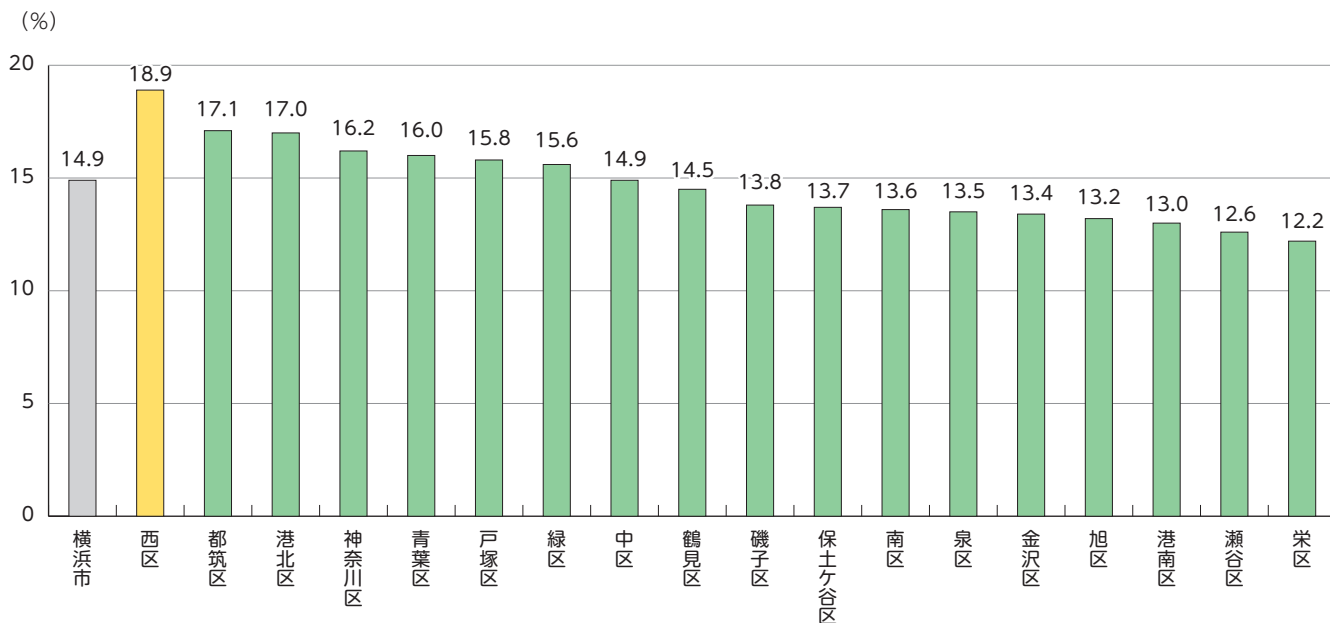


西区人口動態



(出典:国勢調査)

居住期間(1年以上5年未満の人の割合)



(出典:R2 国勢調査)

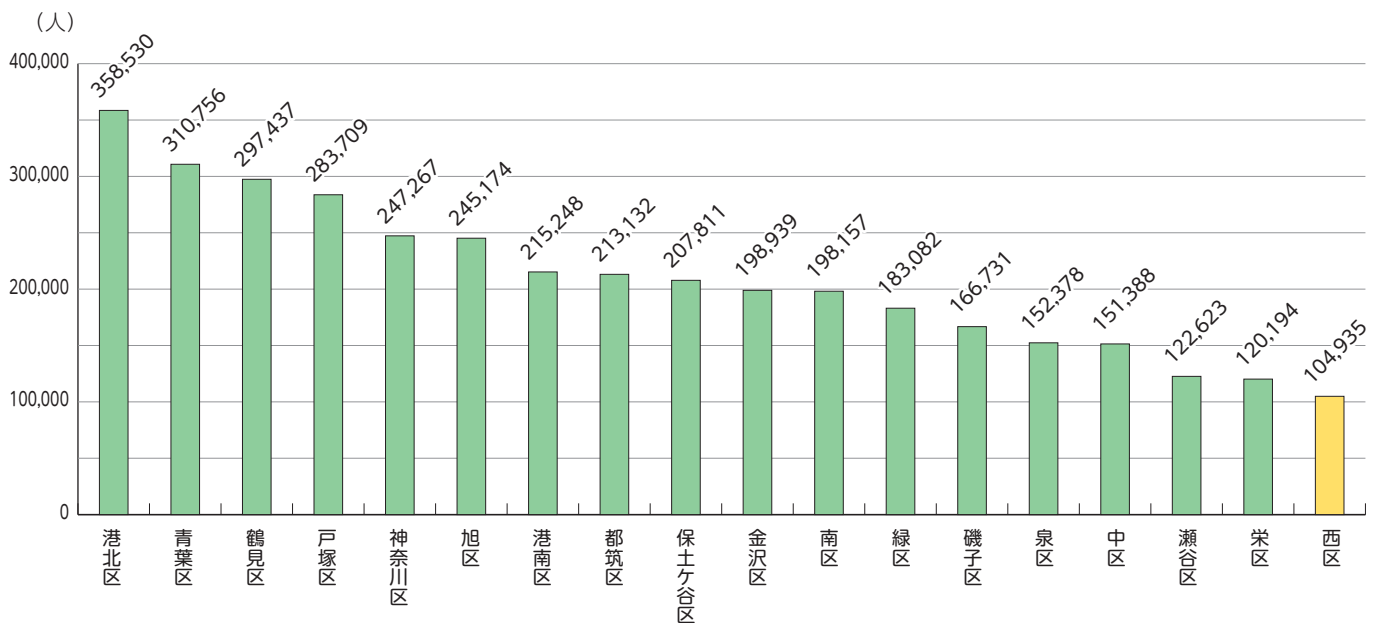
▶ 高齢化率は比較的低いまち

西区は総人口約10.5万人と、横浜市の中で最も小さな区です。

高齢化率は18.9%と、市内で都筑区に次いで2番目に低い、若い人が多いまちです。

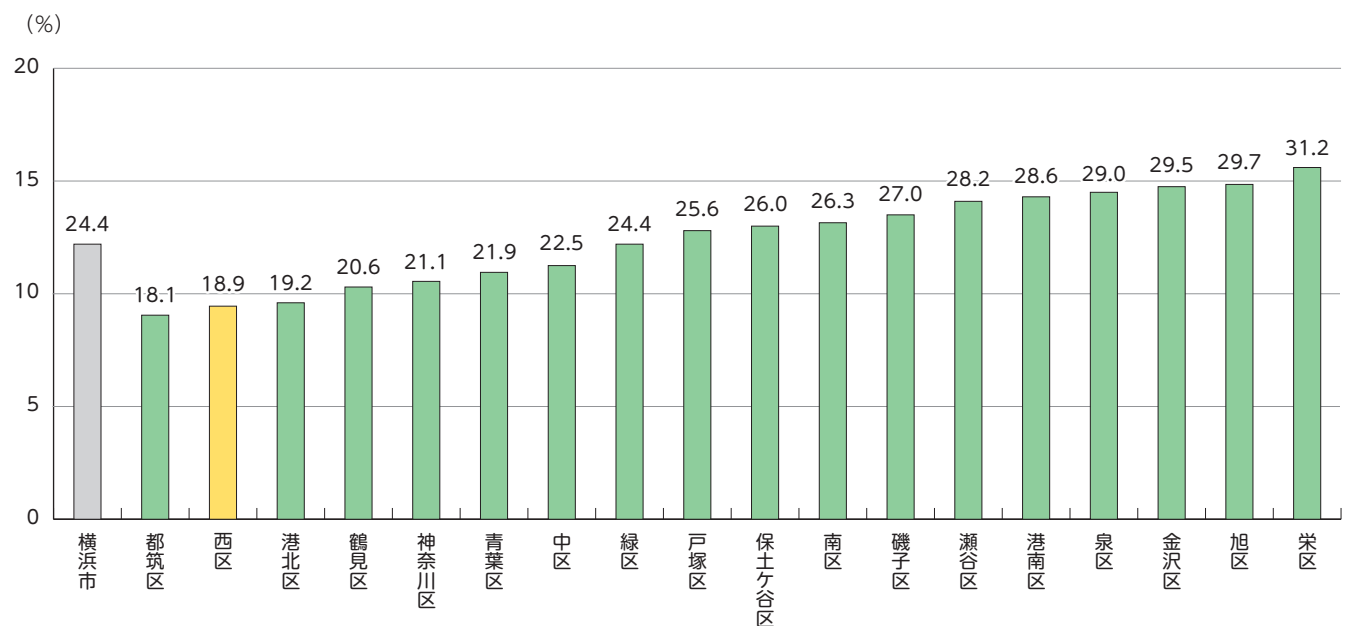
一方、丘陵部においては、高齢化が進んでいます。(P12.13参照)

区別総人口



(出典: R2 国勢調査)

区別高齢化率

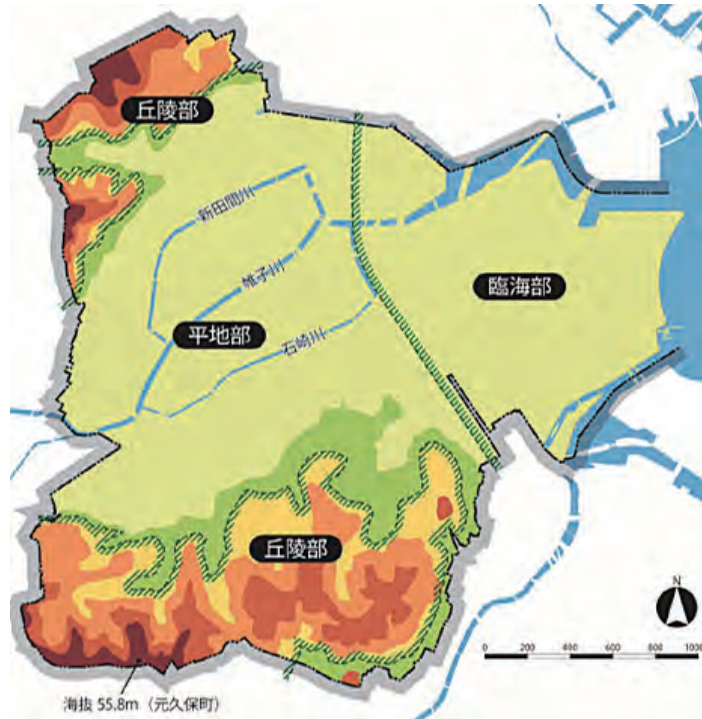


(出典: R2 国勢調査)

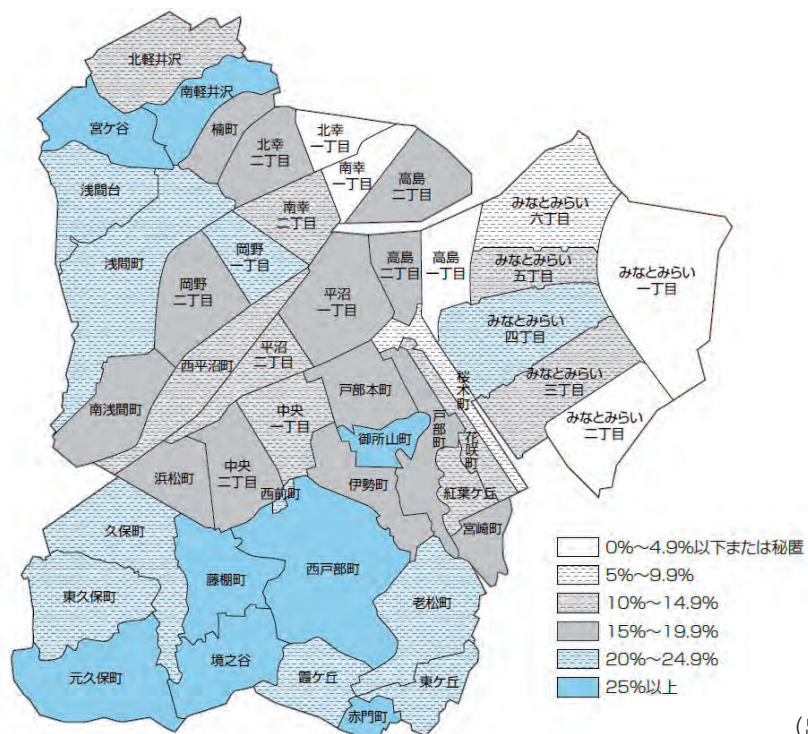


地形に
町別高齢化率を重ねると...

地形



町別高齢化率

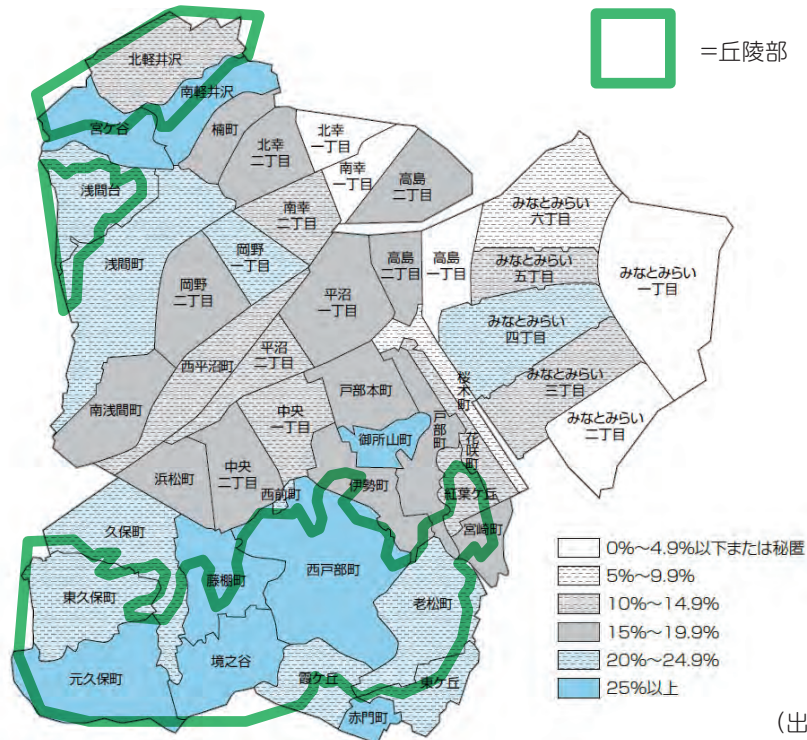


(出典: R6 住民基本台帳)

丘陵部の
高齢化率が高い……!?



町別高齢化率



(出典:R6 住民基本台帳)

南部方面(主に第3地区及び第4地区)の区境丘陵地帯は、高齢化率が高くなっています。

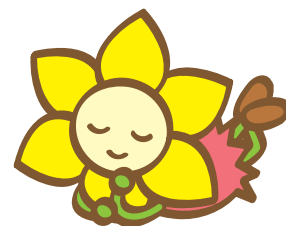
これらのエリアは、山坂や狭い道路が多く、木造住宅が密集していることから、交通環境の整備や災害に強いまちづくりが必要な地域です。



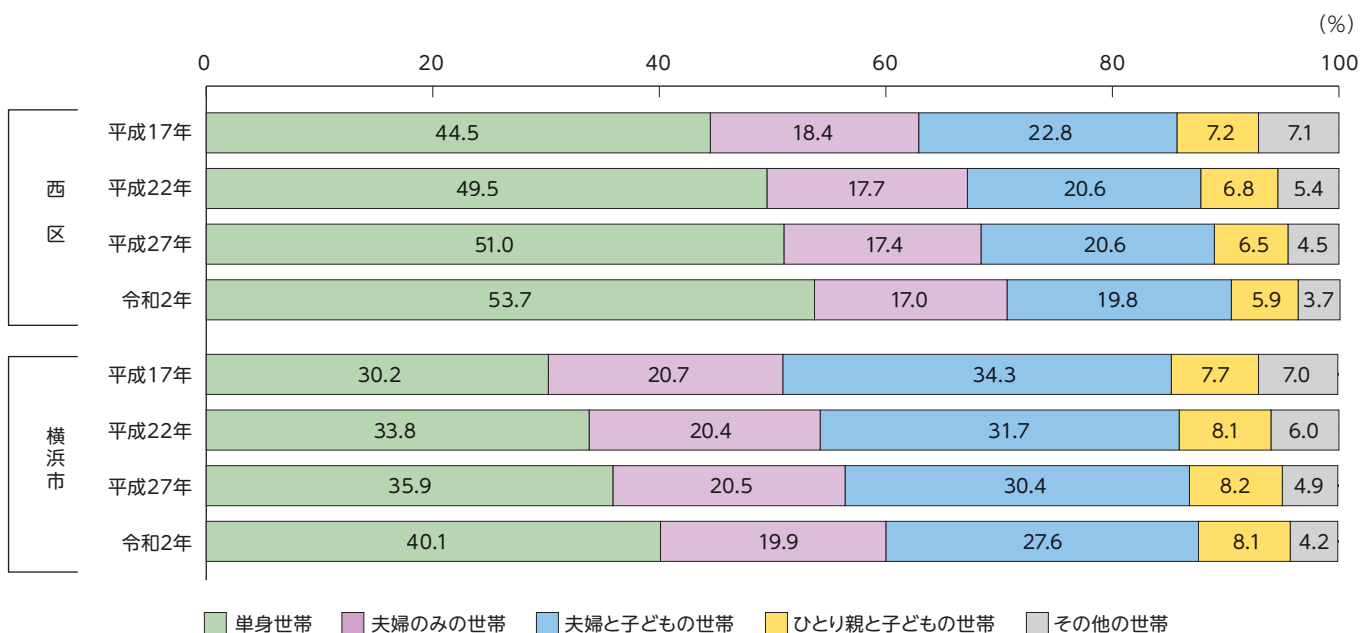
急坂と狭い道路

▶ 単身世帯が多いまち

最近の世帯構成とその変化をみると、単身世帯の比率が最も高く、年々増え続けています。
 単身世帯比率は50%を超え、市内では中区に次いで2番目の高さです。

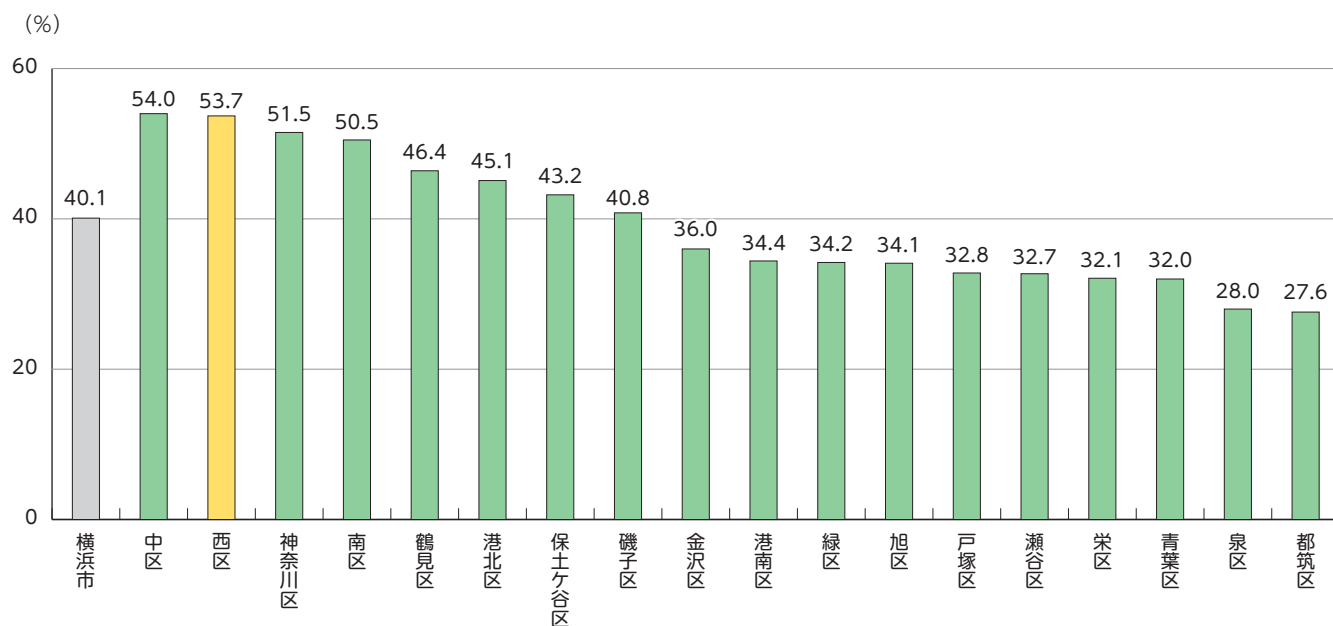


世帯構成



(出典: 国勢調査)

区別単身世帯比率



(出典: R2 国勢調査)

▶働くまち・学ぶまち

昼夜間人口比率*は190.2%と市内1位で突出して高い数字です。

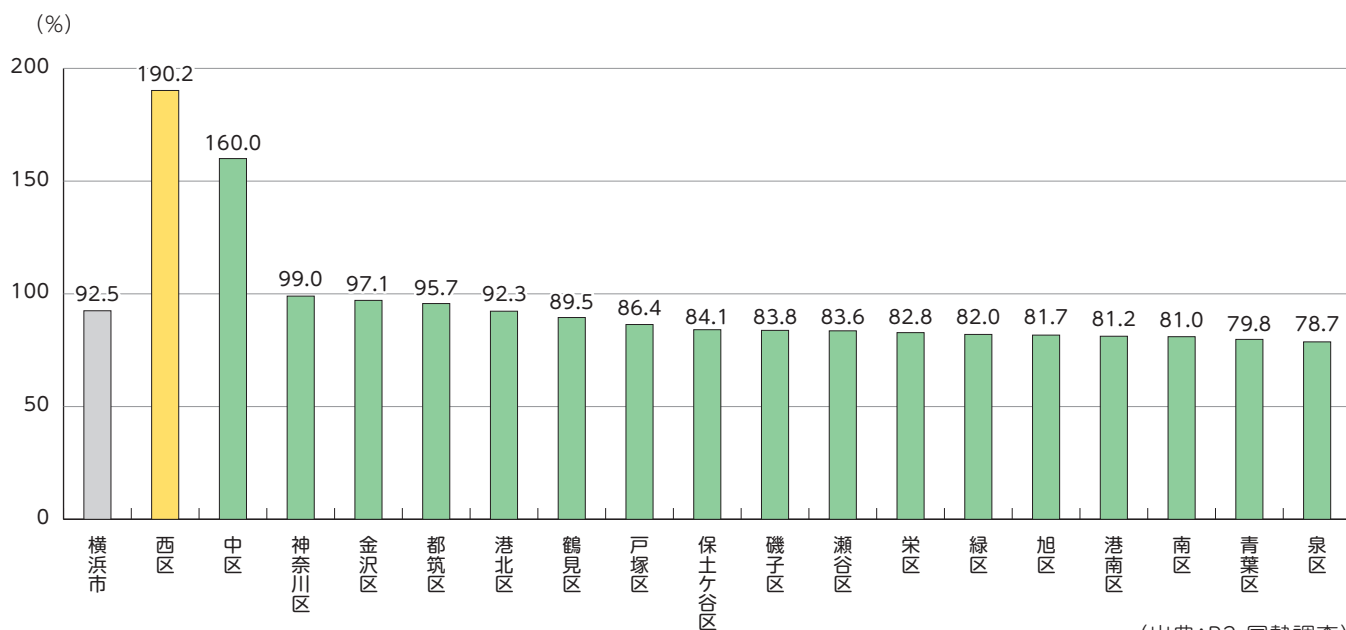
また、事業所従業員数も約21万8千人で市内1位の多さです。

*昼夜間人口比率

夜間人口は、その地域に住んでいる人口、昼間人口は、夜間人口から通勤・通学で流出流入する人口を足し引きした人口です。

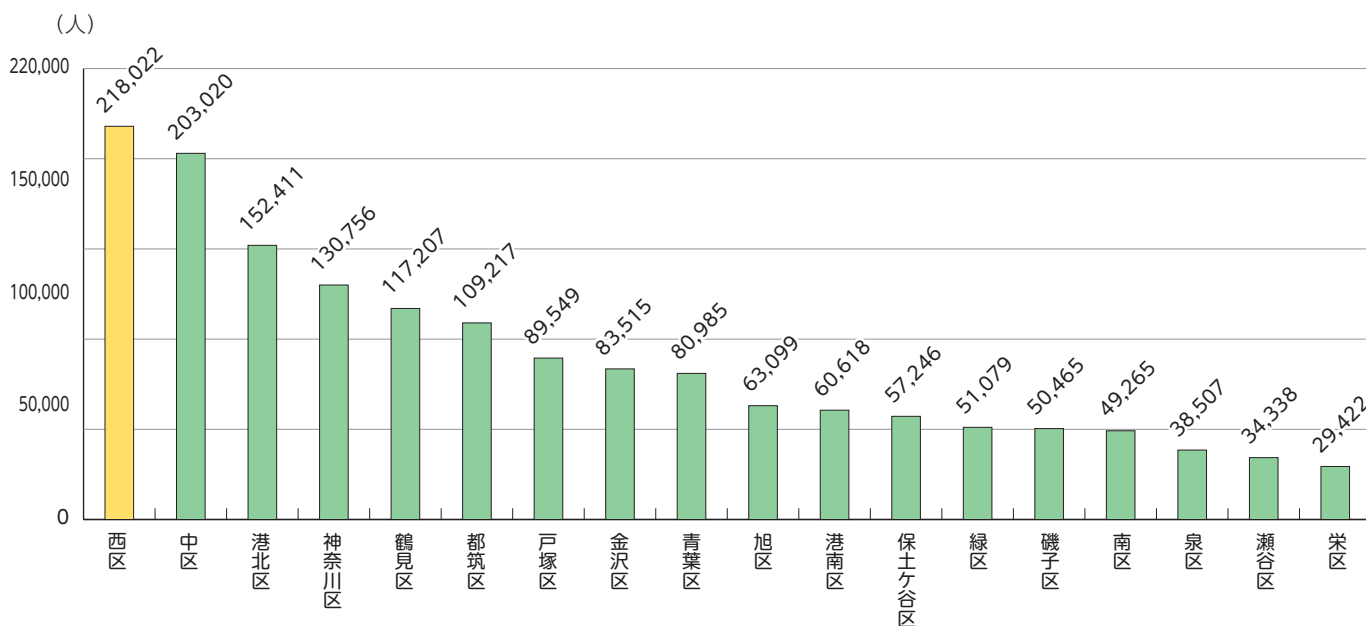
昼夜間人口比率が100を超えると、その地域に働き・学びに来る人が多いことを示しています。

昼夜間人口比率



(出典: R2 国勢調査)

事業所従業員数



(出典: R2 国勢調査)

2000年以降、3つの大学がみなとみらい地区周辺に立地しました。

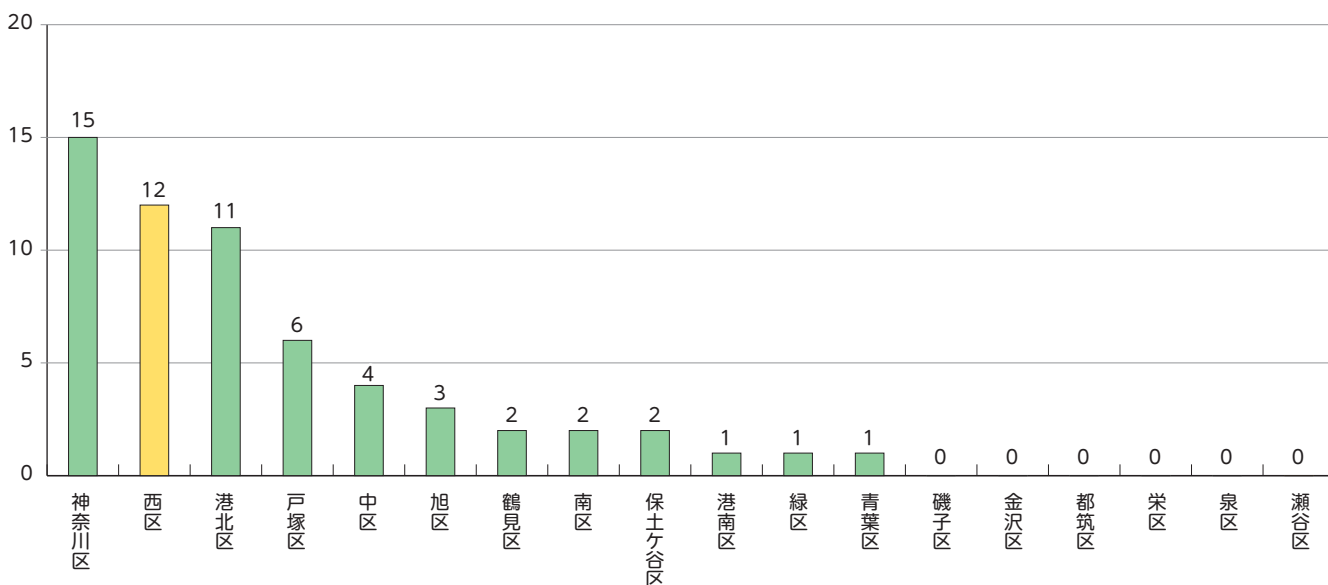
また、専修学校は区内に12校が立地しており、神奈川区に次いで市内2位の多さです。

事業所数(kmあたり)は1,500か所を超え市内はもとより県内1位を誇っています。

| 名称 | 所在地 | 開設 |
|--------------------------------|-----------|-------|
| 八洲学園大学 | 桜木町7丁目 | 2004年 |
| 横浜市立大学 みなとみらいサテライト キャンパス | みなとみらい2丁目 | 2020年 |
| 神奈川大学 みなとみらいキャンパス | みなとみらい4丁目 | 2021年 |

専修学校数

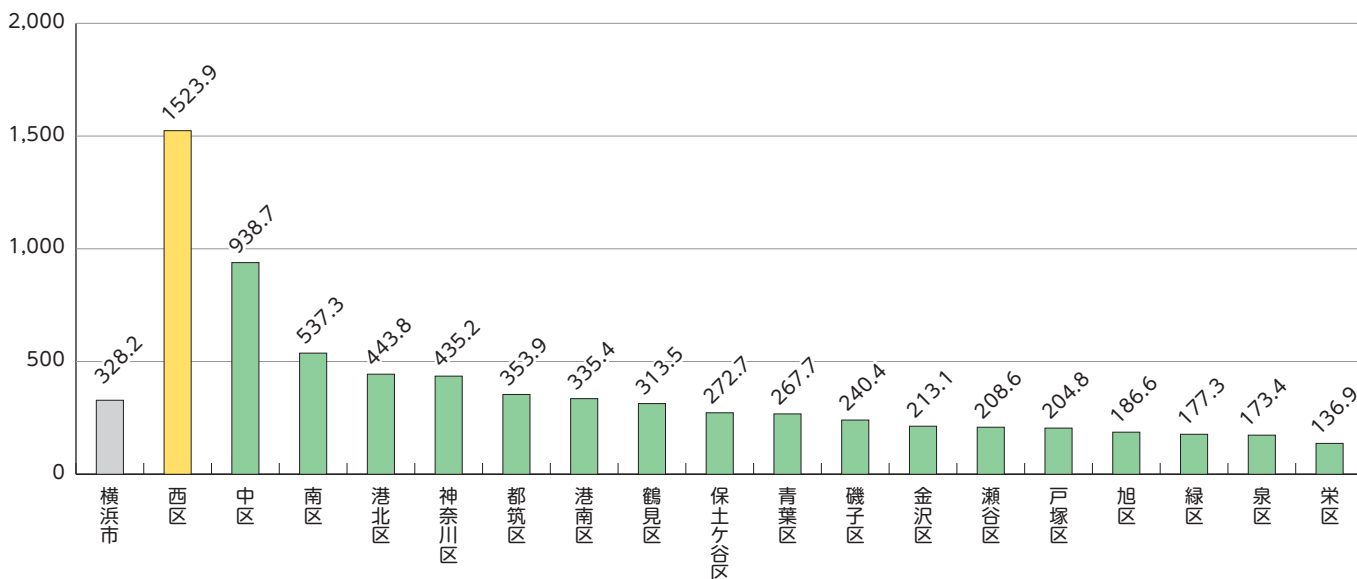
(校)



(出典: R5 学校基本調査)

事業所数 (kmあたり)

(事業所数/k)



(出典: R3 経済センサス)

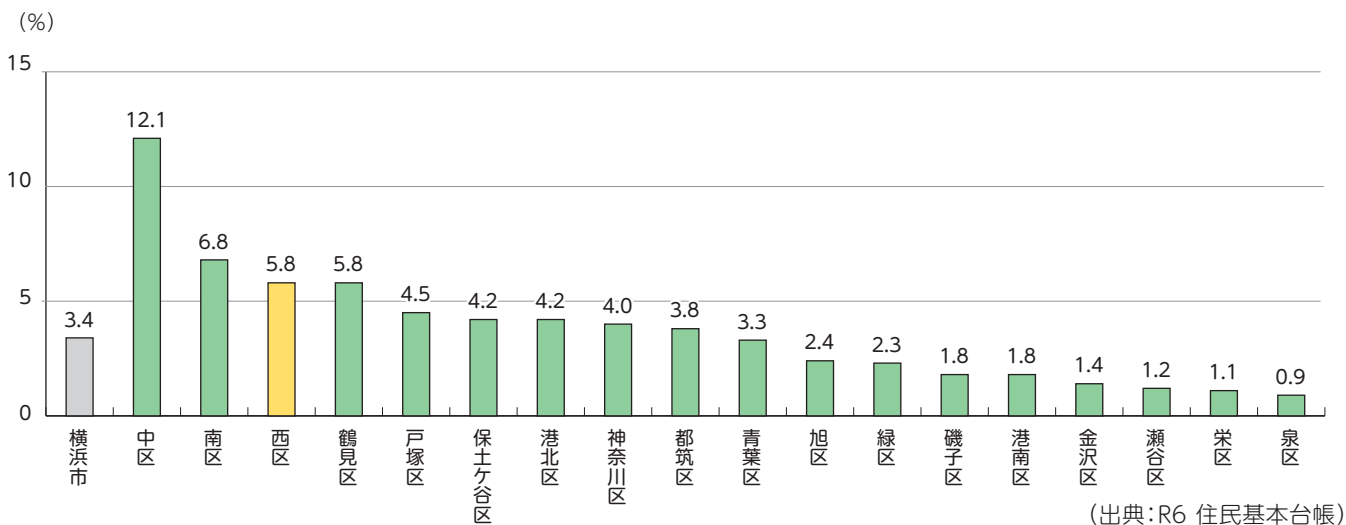
西区ってどんなまち？

外国人: 様々な国籍の人が暮らすまち

区内に住む外国人の割合は、5.8%と中区、南区について市内で3番目。

国別では1位中国、2位ネパール、3位韓国、4位ベトナムとアジア圏が多くを占めています。

外国人の居住者割合



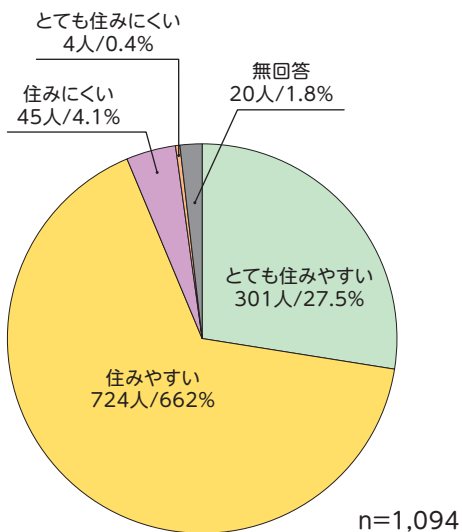
西区ってどんなまち？

区民意識: 交通の便が良く、住みやすいまち

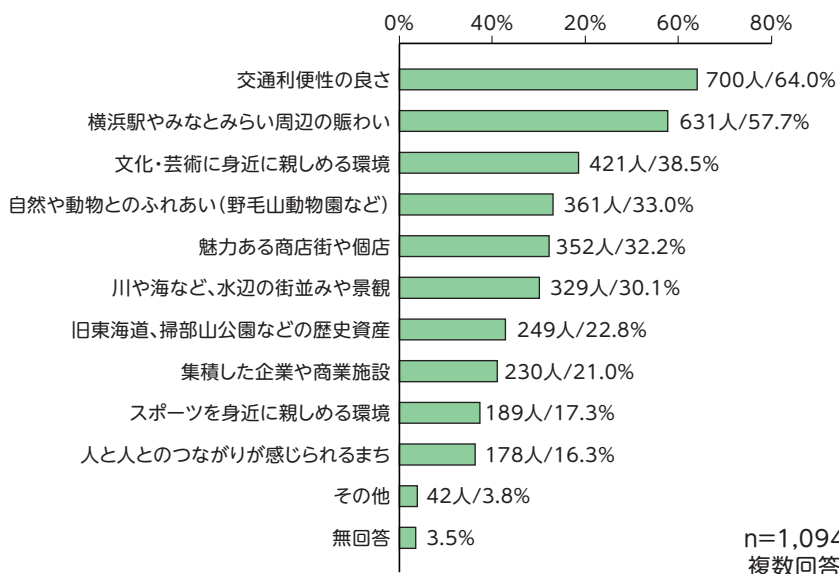
「にこまちプラン区民アンケート*」から、西区の生活環境に対する満足度等を通じての区民意識を探りました。回答者の93.7%の人が「とても住みやすい」「住みやすい」と回答しています。その理由(西区の良さや特徴について)として「交通利便性の良さ」を挙げる人が最も多い結果となりました。

*「にこまちプラン区民アンケート」=西区内在住の18歳以上の男女3,000人(無作為抽出)を対象に、郵送によるアンケート形式及び電子回答。回答数1,094通(回収率 36.5%)

▶ 西区の住み心地について、約94%の人が「住みやすい」と回答



▶ 西区の良さや特徴について、交通の利便性を上げる人が多い



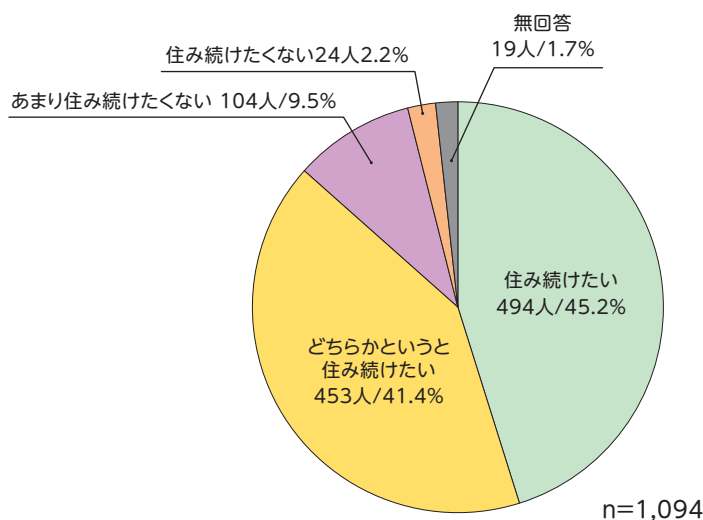
住み続けたいまち、地域の防災やつながりに課題感あり

86.6%の方が西区に「住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と回答しています。

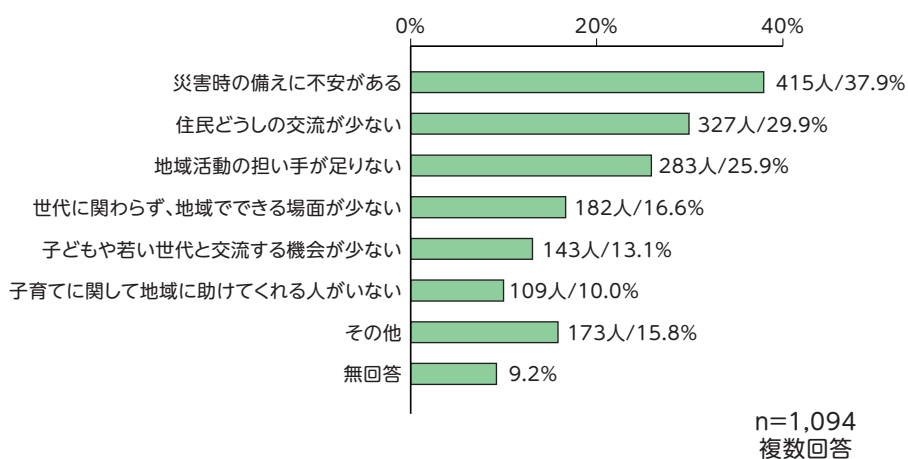
「解決すべき問題点」としては、第1位が「災害時の備えに不安がある」、第2位が「住民どうしの交流が少ない」となっています。

(出典:R6 にこまちプラン区民アンケート)

▶【定住意向】住み続けたい人が大半



▶【解決すべき問題点】災害時の備えに不安がトップ



にこまちプランの法的名称「地域福祉保健計画」とは？

1. 法的位置づけ

社会福祉法第107条に基づく「地域福祉計画」です。誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域社会の実現を目指し、地域住民、事業者、支援機関が福祉保健などの地域の課題に協働して取り組み、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進める計画です。横浜市の計画は、福祉と保健の一体的な推進を重視し「地域福祉保健計画」とした上で、市計画、18区の区計画及び地区別計画から構成されています。このうち、西区の区計画と地区別計画が「西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)」です。

また、社会福祉協議会が定める「地域福祉活動計画」と一本化して策定することにより、区役所と区社会福祉協議会の取組を一体的に推進していきます。

2. 計画期間

1期を5か年計画として策定・推進しています。第5期計画は、令和8年度から令和12年度までとなります。

3. 西区の特徴

西区では、にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)を、区の総合的な計画として位置づけ、福祉保健の分野にとどまらず、防災、防犯、まちの美化、デジタル化の推進なども対象としているのが特徴です。



横浜市地域福祉保健計画
西区版キャラクター
「ちふくちゃん」



西区のマスコットキャラクター
「にしまるちゃん」



西区社会福祉協議会のキャラクター
「ニシ・ニコ・マッチ氏」

にこまちプランの構成

「区全体計画」と「地区別計画」で構成します。

「区全体計画」は地区別計画や地域活動を支援するための取組に加え、区全体に共通する課題解決に向けた取組を進める計画です。

「地区別計画」は地区連合町内会・自治会を主たる単位として地域が課題を把握し、その解決に向けた取組を地域が主体的に進めるための計画です。

にこやか しあわせ ぐらしのまち 西区を目指します

計画の全体構成

地区のみなさんが話し合い、作りあげた「地区別計画」と
その取組を応援する「区全体計画」で構成

地区支援チームが支援

地区別計画で共通する課題
(つながり、担い手、情報など)

区全体計画

地区別計画や地域の活動を
支援するための取組

地区では把握しにくい課題
(障害、認知症、生活困窮など)

区域全体の共通課題への対応

地区別計画

住みやすいまちを目指して、
地域が主体的に進める取組

地区の特徴や課題に合わせた
身近な取組



第4期計画の振り返り

第4期計画期間(令和3年度～令和7年度)の社会情勢

1. 新型コロナウイルス感染症の影響

世界的なパンデミックが続き、社会経済活動が制限され、人と人との接触がままならず、イベントや会合などの多くが休止となりました。高齢者等の孤立、休校等による児童・生徒への影響、減収や失業等に伴う生活困窮者の増加など、新たな課題も生じました。令和5年に新型コロナウイルス感染症は5類の位置づけに移行し、休止・縮小していた地域行事も次々と再開されていきました。

2. デジタル化の進展

コロナ禍で外出自粛や接触が控えられたこともあり、社会全体のデジタル化が進みました。リモートワークやオンライン会議、オンライン授業などが普及し、生活様式や働き方が大きく変化しました。

3. 自然災害の影響

令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」や、同年8月に宮崎県で発生した震度6強の地震、これに伴い「南海トラフ地震注意」が発出されるなど、大規模地震が相次いで発生しました。また、異常気象による豪雨災害も全国各地で発生しており、自然災害に対する防災・減災の意識が高まっています。

4. 物価の高騰

世界的な政治経済の不安定要素が影響しエネルギー価格が高騰しました。これに伴い、電気代やガソリン代が高騰するとともに、食品や日用品の価格上昇が続き、家計への負担が増加しました。

5. 少子高齢化社会の進行

コロナ禍に婚姻数が大きく減少したことの影響もあり、直近の出生数、合計特殊出生率は過去最低を更新しています。一方で、高齢者人口・高齢化率は上昇を続け、いずれも過去最高を更新しています。



第4期計画の振り返りとして、区民3,000人を対象としたアンケートを行いました。
経年変化を概観すると、次の点が明らかになりました。

- 「健康」に関する視点での評価は、総じて上昇しています。
- 「情報」を受け取る仕組みについて、デジタル媒体からのものが倍増しています。
- 「安全性」に関する評価について、これまでは上昇傾向でしたが、コロナ禍を経て減少に転じました。
- 近所づきあいなどの「つながり」に関する評価は、いずれも下がっています。
- 西区への「定住意識」は、高い傾向が続いています。

にこまちプラン区民アンケート：主な回答項目の経年変化

| 基本目標 | 項目 | 26年度 | 31年度 | R6年度 | 前回比較 |
|------|-------------------------------------|------|------|------|------|
| 1 | 西区は「安全なまち」だと思う | 64.1 | 71.9 | 68.4 | ↘ |
| 2 | 自分が健康だと感じている | 77.5 | 75.9 | 79.7 | ↗ |
| 2 | 過去1年間の間に健康診断を受けた | 73.6 | 75.8 | 80.2 | ↗ |
| 2 | かかりつけの医師がいる | 57.3 | 58.8 | 63.3 | ↗ |
| 2 | かかりつけの歯科医師がいる | 62.9 | 63.3 | 70.2 | ↗ |
| 2 | かかりつけの薬剤師がいる | 27.6 | 30.0 | 31.0 | ↗ |
| 2 | 健康のために、意識して運動したり、体を動かしたりしている | 60.6 | 59.3 | 63.5 | ↗ |
| 2 | 健康のために、バランスの良い食事をとるなど、食生活に気をつけている | 73.7 | 73.8 | 79.4 | ↗ |
| 3 | 障害のある方と接する機会があった | 20.9 | 22.7 | 23.1 | ↗ |
| 3 | 障害のある方と接する機会をもちたい | 55.8 | 51.5 | 44.3 | ↘ |
| 3 | ちょっと困ったことがあった時に助けてくれる近所の人や近くの友人がいる | 61.3 | 56.4 | 51.0 | ↘ |
| 4 | 家族以外で自分とは違う世代の人と交流する機会があった | 46.3 | 45.4 | 38.9 | ↘ |
| 4 | 自分とは違う世代の人と交流する機会があれば参加したい | 54.6 | 44.4 | 38.0 | ↘ |
| 5 | 近所のこどもにあいさつなど声をかけることがある | 56.7 | 54.0 | 50.5 | ↘ |
| 5 | 近所のこどもに注意することができる | 49.1 | 44.0 | 39.5 | ↘ |
| 方向性 | 地域や区役所からのお知らせや催し物の情報をホームページ、SNSから得る | 10.1 | 12.5 | 23.0 | ↗ |
| 基本理念 | 今後も西区に住み続けたい | 86.8 | 85.0 | 86.6 | ↗ |

※「にこまちプラン区民アンケート」(令和6年7月実施)
対象者：西区内在住の18歳以上の男女3,000人(無作為抽出)
実施方法：郵送によるアンケート形式及び電子回答
回答数：1,094通(回収率36.5%)

第5期計画に向けて

第4期計画を総合的に振り返り、第5期計画における重要な論点を整理しました。

| 第4期計画の振り返り | 第5期計画における重要な論点／対応する取組・視点 |
|---|---|
| <p>社会情勢 : 地震災害、豪雨災害の頻発</p> <p>区民アンケート : 災害への危機感の上昇 防犯への危機感の上昇</p> <p>団体ヒアリング : 障害者視点の災害対策が足りない</p> <p>推進評価委員会 : 災害時に向けた日頃からの関係づくりが重要</p> | <p>論点1：防災・減災の取組と災害時に生きる「顔の見える関係づくり」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 未曾有の自然災害に備えた防災・減災の取組 ▶ 若い世代を含めた防災に関する意識の向上 ▶ 災害時要援護者を含めた、災害時に生きる「顔の見える関係づくり」 ▶ 安全・安心なまちを目指す防犯対策 |
| <p>社会情勢 : こどもまんなか社会、少子化の進行</p> <p>区民アンケート : こども・子育て世代の関わり減少</p> <p>団体ヒアリング : こども・若者・子育て世代の居場所づくり</p> <p>推進評価委員会 : 地域と学校とのつながりづくりに課題 地域と子育て世代の関係が希薄化</p> | <p>論点2：こどもや若者の声を反映した地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ こどもや若者の声を反映した政策形成・地域づくり ▶ 家庭・学校・地域・行政がつながり、社会全体でこどもを育む環境づくり ▶ こどもや若者が活躍できる機会づくり ▶ こどもや子育て世代を支える、地域の中の居場所・環境づくり |
| <p>区民アンケート : 障害者と接する機会を持ちたい人の割合の低下 障害・認知症の理解が現状維持</p> <p>第5期市計画 : 外国人、性的少数者等の多様性理解</p> <p>団体ヒアリング : 誰もが活躍できる居場所づくりが重要</p> <p>推進評価委員会 : こどもの頃からの障害理解や、当事者の声を聞く機会づくりが必要</p> | <p>論点3：地域共生社会の実現と包括的な支援体制の構築（インクルーシブな地域の実現）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 高齢者や障害者など誰もが安心して暮らせる地域づくり ▶ 認知症や障害などの理解促進と外国人や性的少数者など多様性の尊重 ▶ 誰もが自分らしさを生かして活躍する地域づくり、障害者の社会参加を促進する環境づくり ▶ 犯罪や非行からの立ち直り支援と未然に防ぐ地域づくり ▶ 地域共生社会と包括的な支援体制の構築 |
| <p>社会情勢 : 新型コロナの蔓延、デジタル化の推進</p> <p>区民アンケート : 地域のつながりの希薄化が進行 地域で交流する機会の減少</p> <p>団体ヒアリング : 担い手を育む工夫が必要</p> <p>推進評価委員会 : 地域活動と行政・関係団体の連携強化 新たな担い手の発掘と活動の活性化が必要</p> | <p>論点4：持続可能な地域づくりに向けた「地域連携」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 自治会町内会をはじめとする地域のあらゆる担い手の連携促進 ▶ 持続可能な地域づくりに向けた地域活動の支援 ▶ 新たな担い手づくり ▶ 大学や企業など、多様な主体との連携・協働 ▶ 地域の中の見守り活動の継続と気軽に立ち寄れる身近な居場所づくり |
| <p>区民アンケート : 健康感、健康意識の向上</p> <p>団体ヒアリング : 健康づくりの取組を通じて、役割をもつかたちでの社会参加</p> | <p>※その他、区民アンケートや推進評価委員会等を踏まえた重要な論点 その1</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 健康づくりの更なる推進 ▶ 健康づくりをきっかけとしたつながりづくりや居場所づくり |
| <p>区民アンケート : 区民の約9割の方がスマートフォンを持っている</p> <p>推進評価委員会 : 必要な情報が行き届いていない にこまちプラン、にこま치의うたの認知度が低い</p> | <p>※その他、区民アンケートや推進評価委員会等を踏まえた重要な論点 その2</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ デジタルの積極的な活用と世代や対象者に合わせた情報発信 ▶ 情報を届けることで生まれる新たなつながりづくり ▶ にこまちプランや区政運営方針などを区民の皆様と共有し、西区に関係するすべての皆様で計画を推進 |

※「団体ヒアリング」(令和6年6～9月実施)：「子ども」「高齢」「障害」分野の活動団体等を対象としたヒアリング(計9団体に実施)

※推進評価委員会：西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)推進・評価委員会の略(P.100参照)

区全体計画

にこまちプランが目指すまちの姿は、『誰にとっても住みやすい西区』です。基本理念に基づき、3つの方向性と5つの基本目標によって、具体的な取組を体系的に進めていきます。

基本理念

西区に住む私たちは、住み慣れたまちで、
誰もがにこやかに、しあわせに、いきいきと
くらし続けることを目指します。

そのために、自分たちでできることは自分たちで行い、
人々がつながり、みんながともに
支えあうまちをつくります。

方向性

方向性①

地域のつながり・新たな地域福祉の
担い手を広げます。

方向性②

地域みんなで支え合い、課題解決が
できる地域づくりを進めます。

方向性③

あらゆる世代や生活形態にあわせて
情報が届く取組を広げます。

目標

目標1

安全が確保され、安心なまち

目標2

活気にあふれ、健康なまち

目標3

一人ひとりの個性を認めあい、
みんなが共存するまち

目標4

地域全体がつながりを持つまち

目標5

こどもが健やかに成長できるまち

目標1 安全が確保され、安心なまち

目指す姿

自然災害や犯罪・事故等の被害、感染症予防などに対しては、一人ひとりが日頃から危機意識を高め、公助はもとより自助の備え、地域のなかで顔の見える関係を基にした共助の体制づくりが求められます。

一人ひとりが日々の備えを進め、また地域全体で声を掛け合い、助け合える関係をつくることで、誰もが安全で安心な暮らしができるまちを目指します。

現状と課題

未曾有の大災害に備え、地域で防災の取組が進められるなかで、より一層、一人ひとりの防災への理解、意識の向上や、地域におけるつながりを軸とした共助意識の促進、体制の強化が必要となります。

また、日常生活の安全・安心をおびやかす事件の発生や特殊詐欺の深刻な被害などによって市民の不安が高まっており、社会全体での防犯対策の強化が求められています。

さらには「GREEN×EXPO 2027」の開催を契機として、横浜駅周辺における環境美化の推進と、気候変動の緩和などへ向けた脱炭素化の取組が求められています。

取組の推進に向けて

区民、企業や行政などの地域社会に関わる人々が、日頃から「顔の見える関係」を築くことがより一層重要になってきています。

こうした関係性は、地域全体の社会的つながりを強化し、災害時の共助体制の構築だけでなく、平時の防犯意識の向上や脱炭素社会の実現に向けた取組にもつながります。

そのため、学校や各種事業者等の関係団体と連携し、防災訓練、防犯パトロールやイベントなどを実施することで、地域全体での意識を高めるとともに、地域の「顔の見える関係づくり」へ向けた取組を進めます。

コラム

- 子育て世帯向けの防災の取組
- 防災まちづくり協議会の取組
- 地域防災拠点訓練の実施
- 「わたしの災害対策ファイル」
(西区版災害時個別避難計画)
- 日頃からの「顔の見える関係づくり」
- 防犯関係の取組
- 「GREEN×EXPO 2027」や脱炭素社会の実現に向けた取組

目指す姿の実現に向けた指標

※にこまちプラン区民アンケートの数値。R9年度(中間値)、R11年度(最終目標)に実施予定

| 指標 | R6(現状値) | R10(中間値) | R12(最終目標) |
|-----------------------------------|---------|----------|-----------|
| 地域の防災・減災活動へ参加する人の割合 | 10.0% | 15.0% | 20.0% |
| 要援護者との顔の見える関係づくりの仕組みがある自治会町内会等の割合 | 92.0% | 97.0% | 100.0% |
| 西区は「安全なまち」だと思う人の割合* | 68.4% | 72.0% | 75.0% |

- ① 災害時に地域で支えあい適切な行動を取ることができるよう、地域の防災・減災の取組の充実に向けて支援します。**
 - (ア) 在宅避難の周知啓発とそのための個人備蓄の推進及び災害時に誰もが自主的・迅速に対応行動が取れるための平時からの情報発信や事前啓発の強化
 - (イ) 地域防災拠点運営委員会や自治会町内会、マンション管理組合等の自主防災組織による自立的かつ継続的な活動の支援
 - (ウ) 横浜駅周辺地区、みなとみらい地区の帰宅困難者対策として個人・企業による備えの促進及び事業者による一斉帰宅抑制の取組推進
 - (エ) 災害に強いまちづくりに取り組む住民主体の協議会が主催する防災訓練・イベントなどの支援、不燃化対策推進地区等の整備助成の周知
 - (オ) 災害ボランティアセンターが発災時に確実に機能できるよう、区役所・区社協・運営ボランティア等の関係団体による連携の強化
- ② 誰もが安心して避難できるよう環境の整備と災害に対する備えを促進します。**
 - (ア) こども、子育て世帯、障害者、外国人やペットの飼い主などへの避難時の対応に関する理解の促進及び災害時要援護者も含め誰もが訓練に参加しやすく、避難しやすい避難所の構築に向けた支援、普及啓発の実施
 - (イ) 自治会町内会等へ災害時要援護者名簿の提供を進めること、あんしんカードの活用促進、ふれあい会による見守り活動の支援や、災害時に避難する際に支援が必要な要援護者に対する個別避難計画の作成など、地域での災害時要援護者支援の取組充実に向けた支援の更なる推進
 - (ウ) 「わたしの災害対策ファイル」の配付を通じて、要電源医療機器使用者の災害に対する備えの促進と地域理解の促進
 - (エ) 要電源医療機器使用者が緊急時に充電が行えるよう、福祉避難所・地域防災拠点を含めた発電機などの配備
- ③ 地域の安全・安心を守るため、区民一人ひとりの意識啓発や地域活動の支援に取り組めます。**
 - (ア) 各種広報・キャンペーンによる情報発信・普及啓発を通じた区民の防犯意識や交通安全意識の向上
 - (イ) 防犯灯・防犯カメラの設置支援などを通じた地域防犯の取組支援
 - (ウ) 地域、事業者や警察などと連携した防犯パトロールの実施
 - (エ) スクールゾーン対策協議会と連携した通学路交通安全対策の推進や、学校と連携した防犯活動の実施
- ④ ポイ捨てされない清潔できれいなまちづくりを推進します。**
 - (ア) 「GREEN×EXPO 2027」の開催を契機として、横浜駅周辺をはじめとして暮らしやすく、清潔できれいなまちづくりを推進するため、地域、事業者や各種団体への清掃活動の支援や協働による実施
 - (イ) ポイ捨てや不法投棄されやすい場所へ、注意喚起看板の設置
- ⑤ こども、子育て世代から高齢者まで、誰もが安全・安心に生活できる環境づくりを進めます。**
 - (ア) 地域からの要望を踏まえ、誰もが安全・安心に生活できるよう、道路・公園設備などの整備、改修を促進
- ⑥ 適切な情報を伝え、地域の食や暮らしの安全を推進します。**
 - (ア) 事業者や地域に向けて食中毒・感染症予防に関する情報を伝えることで、食や暮らし、地域活動の衛生を推進

将来を担う子どもたちを災害から守るためには、子どもを育てる親・保護者の防災意識を高めると同時に、日頃の家庭における備えが大切です。

子育て世帯に正しい防災の知識と、必要な備えをしていただくことを目的に、3つの取組を行っています。

① 「赤ちゃん教室での防災講話」の実施

日頃の備えや避難時の行動について、わかりやすくお話ししています。被災地派遣での経験をもとにしたリアルな体験談を交えながら、災害時にどう行動すればよいか、災害へどう備えればよいかを具体的に学べる内容となっています。



赤ちゃん教室での防災講話の様子

② 「4か月健診における子育て世帯向け防災備蓄品」の配布

液体ミルクや防臭オムツ袋など、日常にも使えて備蓄にもなるものをセットにして配布しています。

③ 「もしもにそなえる防災ノート」の配布

子育て世帯向け啓発冊子「もしもにそなえる防災ノート」を作成し、母子健康手帳交付時などに配布しています。



4か月健診で配布している
子育て世帯向け備蓄品



「もしもにそなえる防災ノート」(備蓄のページ)

▶ 防災まちづくり協議会とは

災害に強いまちづくりを推進する住民主体の組織で、西区では東久保町夢まちづくり協議会と一本松まちづくり協議会が活動しています。東久保町夢まちづくり協議会は、防災倉庫整備や避難扉の設置、防災イベントの開催などを行い、ハードからソフトまで多彩な防災まちづくり活動を展開しています。

一本松まちづくり協議会は、防災授業の実施や防災公園整備など、災害時の被害を最小限に食い止めるために、具体的なプロジェクトに取り組んでいます。

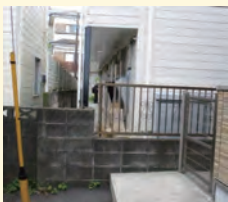
東久保町夢まちづくり協議会 「地域住民が主役となるまちづくり」を1つの目標に掲げ活動

● 防災まちづくりの経緯

平成17年：東久保町夢まちづくり協議会 設立。エリア住民を対象としたアンケート、ワークショップを実施
 平成19年：「東久保町防災まちづくり計画」策定。環境整備や防災訓練など多岐にわたる活動を展開
 令和 3年：「まちづくり功労者国土交通大臣表彰」を受賞。防災まちづくりの取組が評価される

● 主な取組 「行き止まり箇所」に避難扉を設置(令和4年12月)「イザ!カエルキャラバン! 東久保町 こどもぼうさいの日」開催(令和7年1月)

東台寺先の行き止まりに避難扉を設置し、地域の皆さんから「逃げ道が確保出来て安心」のお言葉をいただきました。



行き止まり



避難扉の設置

カエルキャラバンは、遊びから防災知識を身につけ、意識を高めてもらうことを目的としたイベントで「水消火器



防災イベントの様子

的あてゲーム]などの体験プログラムが用意されました。プログラムに参加すると、ポイントを獲得でき、そのポイントをおもちゃに交換したり、オークションに参加できる仕組みになっています。

一本松まちづくり協議会 「10年後、20年後の将来を見据えて、まちを着実に改善」を目的に活動

● 防災まちづくりの経緯

平成18年：一本松まちづくり協議会 設立。まち歩きや消防車進入体験などの実践的なまちづくり活動を行う
 平成20年：「一本松まちづくり協議会 防災まちづくり計画」作成
 令和 7年：「令和7年度まちづくりアワード(功労部門)」を受賞
 防災活動の拠点となる公園づくりを進めるなど、防災まちづくりに大きく貢献

● 主な取組 西戸部羽沢西部公園のオープン(令和6年3月)、東小学校における防災授業(令和6年9月)

防災活動の拠点となる「西戸部羽沢西部公園」は、令和6年にオープンしました。発災時に屋根・四周に TENT を張り拠点として使用する防災バーゴラと防災トイレ2基、TENT等を収納する収納縁台を整備しており「いっつき避難所」として機能します。



西戸部羽沢西部公園

東小学校において、協議会の方を中心に「身近に行われている防災まちづくり」の授業を行いました。



東小学校における防災授業

地震火災被害を抑えるための対策を考えるグループワークの実施や、地域で進めてきた防災活動を児童の皆さんにお伝えしました。

西区には、地震などの災害が起きたときに避難するための場所「地域防災拠点」が12か所あります。これらの拠点は、それぞれの地域の運営委員会によって管理されており、各拠点毎年1回以上、地域の住民も交えた訓練を行っています。

訓練内容は様々で、避難所設営訓練や炊き出し訓練など、基本的なところから、車椅子の方の受入れ訓練や、要配慮者用テントの組立て訓練、外国人受け入れ訓練など様々なニーズに対応できるよう、各拠点ごとに工夫を凝らして、訓練を実施しています。

また、訓練は様々な方が参加することから、地域の顔の見える関係の構築の機会でもあります。こうしたつながりは、災害時の助け合いだけでなく、防犯にも役立ちます。

地域防災拠点での訓練は、安心して暮らせるまちづくりに欠かせない大切な取組です。

自治会町内会で
防災訓練を行っている地域もあり、
こうした取組の促進も重要です！



車椅子受け入れ訓練
(老松中学校)



応急救命訓練
(平沼小学校)



炊き出し訓練
(軽井沢中学校)



福祉避難所連携訓練
(岡野中学校)

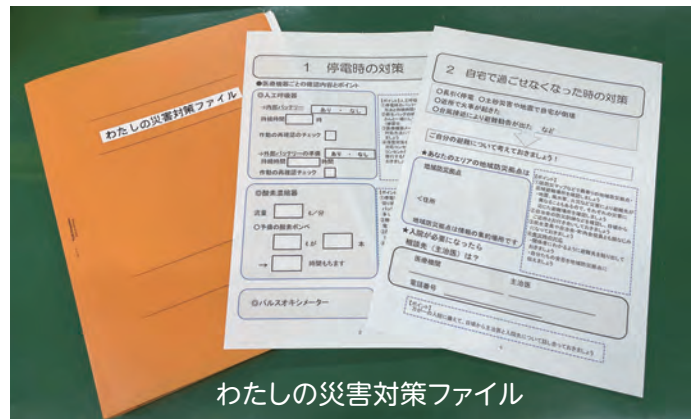


テント組み立て訓練
(西前小学校)

電源が必要な医療機器を使用している療養者や
 そのご家族のために、必要な準備や、発災時の対
 応策をまとめたファイルです。

西区では、療養者・介護者の自助力を高め、災害
 時の不安軽減につながるよう「わたしの災害対策
 ファイル」を配布し、活用していただけるよう進め
 ています。

内容:医療機器の電源対策、必要物品の備え、発災
 時の対応方法、各機関の連絡先、支援方法の確認
 など。



わたしの災害対策ファイル

西区ホームページからダウンロードできます▶



地域のイベントや隣り近所の交流などから生まれる、日頃
 からの「顔の見える関係」は、災害が発生した際にも、そのつ
 ながりが力を発揮します。

西区では、高齢者や障害のある方などを対象とした「あん
 しんカード」の配布や「ふれあい会」(P.57参照)、民生委員・
 児童委員などの活動を通じ、日頃からの「顔の見える関係」
 づくりが行われています。また、こうした方の把握について
 は、区役所が作成する災害時要援護者名簿も活用されてい
 ます。

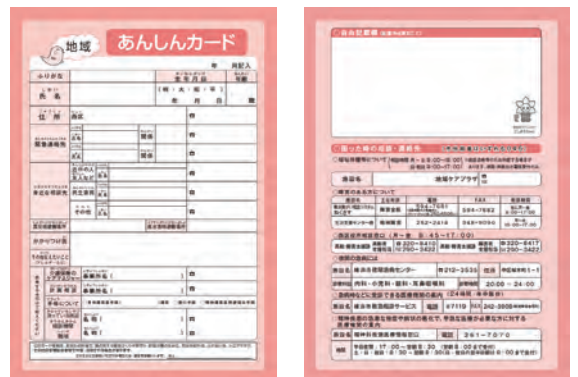
今後も、災害時にも活きる「顔の見える関係づくり」の取組を、地域の皆様とともに進めていきます。

●災害時要援護者名簿

特に自力避難が困難と想定される要介護の高齢者や障害者の名簿で、区役所が作成しています。自治会町
 内会等に提供することができ、災害時要援護者の把握や日頃からの関係づくりに活用いただいています。

●あんしんカード

氏名・住所のほか、緊急連絡先やかかりつけ医などを記載し、見える場所に貼っておくことで、緊急時に備え
 ます。災害時要援護者名簿で把握した方を訪問する際などに、一緒に確認しながら記載することで、つながり
 のツールとして活用することができます。



あんしんカード

防犯意識の普及啓発に向けた広報・情報発信

防犯意識の啓発活動を定期的に区内店頭で実施するほか、広報よこはま市営バスの車内デジタルサイネージ等を活用した広報活動の実施により、区民の犯罪対策意識を高めます。

「西区防犯メール」では、警察等から提供される情報を元に、犯罪発生状況やその対策等をメーリングリスト登録者へ配信します。

店頭啓発



サミットストア横浜岡野店での様子

迷惑電話防止機能付き
電話機の体験

市営バスデジタルサイネージ



特殊詐欺防止啓発



啓発品の配布

西区防犯メール

横浜市西区役所・戸部警察署 から
「西区防犯メール」登録のお願い



西区内で発生した犯罪情報を
どこよりも早くメールで
配信しています!



登録は無料です。(通信料のみご負担ください。)

■ メールで配信する主な内容

- ① 特殊詐欺の被害や、詐欺予兆電話が多発している地域の情報
- ② 空き巣や車上ねらい、ひったくりなどの被害発生情報

■ 登録方法 (パソコン・スマートフォン・携帯電話)

※迷惑メール受信拒否等の設定をしている方は、予め解除する必要があります。

<Webフォームから登録>

1. 西区ウェブサイトへアクセスする。
URL <https://ml.city.yokohama.lg.jp/sympa/subscribe/bouhan-nishi>
2. メールアドレスを入力し、「読者登録申込」ボタンをクリック。
3. 登録確認のメールが届きます。
届いたメールの内容に従って登録確認を行います。
4. 登録完了のメール(ようこそメール)が届けば登録終了です。

西区 防犯メール 検索

ぜひ登録
してください!



■お問合せ先 西区役所 地域振興課 電話 045-320-8393
FAX 045-322-5063
戸部警察署 電話 045-324-0110 (代表)

防犯パトロールの実施

地域、事業者、警察等と連携



北幸街の浄化パトロールの様子

放置自転車に
注意を促す札を貼付

地域の防犯効果を高めていくことを目的として、区内防犯団体等の地域住民が主体となって、横浜駅周辺の防犯パトロールを定期的実施しています。

不審者、不審車両の発見や放置自転車、たばこのポイ捨てへの注意喚起を行うことにより、地域住民の防犯意識を高め、安全な地域づくりを促進します。



交通安全対策・防犯活動の推進

スクールゾーン対策協議会や学校等と連携



はまっ子交通安全教室の様子

“おおだこポリス”
4つのやくそくを習得

交通安全意識を高め、こどもの交通事故を防ぐため、参加・体験型交通安全教育のひとつとして、はまっ子交通安全教室を区内小学校で実施しています。

同時に、誘拐や犯罪などの被害から身を守るため、スクールサポーターによる日常生活の中での危険回避方法や適切な対応方法も学びます。

これらの活動を通して、児童たちが、安全な通学、自転車利用、防犯対策の知識を身につけます。

「GREEN×EXPO 2027」や 脱炭素社会の実現に向けた取組

2027年に開催する「GREEN×EXPO 2027」は、環境と共に生きる未来を考える、“環共”をテーマとした、日本で初めての国際博覧会です。「GREEN×EXPO 2027」を脱炭素社会の実現に向けた契機ととらえ、気候変動という、私たちの暮らしに深く関わる大きな課題に向き合い、自然や技術、文化を通じて、環境と調和した未来の暮らしを区民の皆様と共に描いていきます。

「GREEN×EXPO 2027」に向け、来街者の増加が見込まれる横浜の玄関口である横浜駅周辺においては、商業施設や飲食店が数多く立地する活気のあるエリアである一方、たばこのポイ捨てや路上ごみの散乱、客引きが目立つという現状があります。横浜駅周辺が全ての方にとって安心して快適に過ごせる場となるように、地域・事業者の皆様と協働し、美化・環境向上の取組を進めています。

また、脱炭素社会の実現に向け、プラスチック問題に関心を持ってもらえるようなワークショップを開催したり、こどもたちへの出前講座を通じ、ごみの分け方・出し方や脱炭素行動の取組を紹介するなど、行動変容につながるよう進めていきます。



地元企業、商店街、自治会町内会・
区役所等の総勢356名が参加
(令和6年度実績)

横浜駅周辺での清掃活動(横浜駅をきれいに!キャンペーン)



スマートごみ箱の運営支援
(一社横浜西口エリアマネジメント設置)

IoT技術を活用した
ごみ箱



ワークショップの様子
(FOOD for ALL YOKOHAMA)

マイバック
を制作中

目指す姿

自分自身の健康について、一人ひとりが考えていくことは大切ですが、世代に合わせた健康づくり、生活習慣病・介護予防、仲間づくりなどを地域で広げていくことも大切です。

「働き・子育て世代」から「シニア世代」まで、障害の有無や性別、国籍等を問わず、それぞれのできることを大切にしながら住み慣れた地域で生き生きと、自分らしく暮らし続けられるまちを目指します。

現状と課題

健康づくりに関心が低い人、特に若い世代が関心を持てる機会を提供し、情報発信する必要があります。あわせて、幅広い世代の方々が運動や趣味などの機会を通じて、心身ともに健康づくりに関心を持てる機会を提供する必要があります。

また、シニア世代では、特に後期高齢者でフレイル状態の人が多く、外出等が難しくなることにより、地域とのつながりが希薄となる傾向があります。

取組の推進に向けて

子育て世代、働き世代が自身の健康に関心を持ち、予防接種や健康診断の受診など、健康づくりの行動につなげていくことが大切です。フレイル予防に関心が低い層へのアプローチや、身近な地域の通いの場等において、気軽に予防に取り組める環境づくり・担い手等への啓発を進めます。また、地域団体などが主催するイベントを通じてあらゆる方が生きがいを感じられる取組を推進します。

コラム

- データから見える西区民の健康づくりのヒント
- ストレスとお酒
- フレイル予防と生活支援体制整備事業の取組による地域づくり
- インクルーシブスポーツ^{※1}
- 食育推進会議
- シニアのためのスマホ相談会

※1 ボッチャやモルックなど、年齢、性別、障害の有無に関係なく、誰もが一緒に楽しめるスポーツ

目指す姿の実現に向けた指標

※にこまちプラン区民アンケートの数値。R9年度(中間値)、R11年度(最終目標)に実施予定

| 指標 | R6(現状値) | R10(中間値) | R12(最終目標) |
|----------------------------|---------------|----------|-----------|
| 自分が健康だと感じている人の割合* | 79.7% | 80.0% | 80.0% |
| フレイルあり割合(健康と暮らしの調査) | 19.9%(2022調査) | 18.0% | 17.0% |
| インクルーシブスポーツの認知度 | 5.2% | 10.0% | 12.0% |
| 楽しみながら健康づくり活動している担い手の割合(市) | 67.0% | 80.0% | 90.0% |

① 気軽に参加できる健康づくり事業や健康に関する情報を提供します。

- (ア) 働き・子育て世代も含めた誰もが情報収集しやすいよう、紙面・インターネット・SNS等、様々な媒体を活用した健康に関する情報の発信強化
- (イ) 健診や体力チェック等を通して、自分の健康を振り返り、自分事として捉えられるきっかけづくり
- (ウ) 幅広い世代が気軽に参加しやすい健康づくりに関する取組の推進
- (エ) 様々な機会を捉えフレイル予防の啓発を行うとともに、身近な居場所でフレイル予防に取り組めるきっかけづくり

② 誰もが生きがいや地域での役割を持ち、心身の健康を促進できるよう社会参加に結びつくきっかけや場を提供します。

- (ア) 多様な主体による身近な地域で気軽に参加できる居場所づくりの拡充・充実
- (イ) インクルーシブスポーツ等を通じた地域のつながりづくりの推進
- (ウ) 認知症や障害などがあっても誰もが参加できる場づくり
- (エ) 世代を問わない、ICT活用による社会参加のきっかけづくりの推進
- (オ) 地区社会福祉協議会、スポーツ推進委員、青少年指導員・シニアクラブ・こども会など地域団体が主催する健康イベント等の支援

③ 地域で健康づくりに携わる団体・グループの担い手がやりがいをもって活動できるよう支援します。

- (ア) 保健活動推進員や食生活等改善推進員(愛称：ヘルスメイト)などと協力し、地域で健康づくりを進めるような支援
- (イ) 身近な地域におけるフレイル予防を推進するため「西区げんき活動応援団」の活動支援や元気づくりステーション等、住民主体の通いの場の支援

④ 地域住民の健康と安全を守るため、感染症予防対策を実施します。

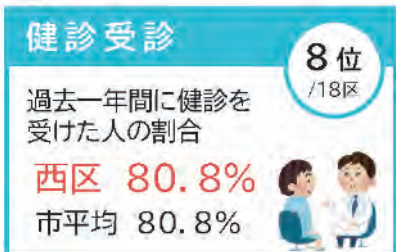
- (ア) 手洗いや咳エチケットなど、基本的な衛生習慣を広めるための普及啓発の促進
- (イ) 最新の正確な感染症情報を素早く提供することや、予防接種の推進

より健康で毎日を過ごせるためのポイントをお伝えします!

「横浜市健康に関する市民意識調査」

令和5年度の結果から

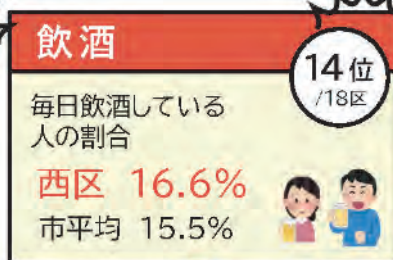
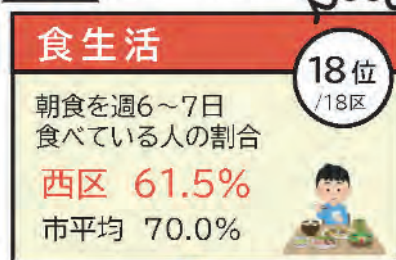
平均以上



横浜市
18区内の
西区の順位

さらに
高みを目指しましょう!

⚠️ 要注意点



より健康になるためのポイント

**朝ごはんを
しっかり食べよう!**

朝ごはんは
脳と体の
目覚まし時計!

**1週間のうちに
飲まない日を作ろう!**

**定期的に
歯科健診を
受けよう!**

かかりつけ
歯科医を持とう!

日々の「ちょっと」の取り組みで、健康寿命を延ばしましょう!

健康寿命…健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。



ハマのウォーキングフェスティバル



戸部公園でのラジオ体操



お口とからだの健康づくり応援イベント



ヘルスメイトによる食生活の啓発

ストレスとは、外部からの様々な刺激によってこころや体に負荷がかかった状態のことです。

眠れないときやつらい気持ちを紛らわすためにお酒を飲んでいませんか？

こうした飲み方は、不眠症やうつ病、依存症の一因となりやすいので、まずは、睡眠習慣やストレス軽減方法を見直し、お酒の飲み方を考えてみましょう。

「15秒で分かる!お酒との付き合い方」



西区ではお酒との付き合い方を動画にしています。



①クイズ編

病気のリスクを高める量は？



②4つのポイント編

体を守る飲み方は？



保健活動推進員による普及啓発活動



アルコールパッチテストも実施

お酒には健康リスクがあります。おいしさ、楽しさ、そのままに、飲むなら量に気を付けて。

フレイル予防の取組

高齢期に体力や気力、認知機能など、からだところの機能(はたらき)が低下し、将来介護が必要になる危険性が高くなっている状態を「フレイル」と言います。

健康と暮らしの調査(2022)の結果では、西区は横浜市平均と比較して「フレイルありの割合」や「運動機能低下者割合」「1年間の転倒あり割合」が高く、要介護のリスクが高い状況があります。

フレイル予防のためには、早い段階から、『運動・口腔・栄養・社会参加』の取組を日常生活で一体的に取り入れることが大切です。西区では、身近な通いの場でのフレイル予防の取組を推進しています。



ボッチャ同好会(フレイル予防)

生活支援体制整備事業と地域づくり

高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには「医療・介護・介護予防・住まい・生活支援」が一体的に提供される包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築が重要です。

この構築を目指し、日常生活上の支援をする生活支援、生きがいや介護予防につながる社会参加の充実等の地域づくりを進める取組が「生活支援体制整備事業」です。

西区では「西区アクションプラン」を策定し「にこまちプラン」と一体で取組を進めています。地域の方や関係機関と話し合いを重ね、多様な主体が連携・協力しながら「生活支援」「交流・居場所」「見守り・つながり」の充実に取り組んでいます。



訪問はっぴいさん
(生活支援ボランティア)

インクルーシブスポーツとは、年齢や性別、障害の有無、国籍等に関わらず、誰もがお互いの個性や人格を尊重するとともに、人々の多様性を認め合い、様々な人がともに実施できるスポーツのことです。

インクルーシブスポーツの代表例としてモルックやボッチャ、車いすバスケットボールなどがあります。

西区では、より多くの人にインクルーシブスポーツについて知ってもらうことを目的として、西区民まつりでインクルーシブスポーツ体験会の開催や、スポーツ推進委員を中心とした地域での普及活動に取り組んでいます。



スポーツ推進委員主催 西区モルック大会の様子



インクルーシブスポーツ体験会の様子
(区民まつりと同時開催)

～地域団体、保育園、幼稚園、小学校で連携して区民の食育をすすめるために～

▶ 西区食育推進会議とは

食を通じた健康づくりの推進を目的として、平成21年度から活動しています。

地域団体や教育機関、保育施設などが一体となって、連携を大切にしながら西区の健康課題について検討しています。

活動テーマは「朝ごはんから始まる元気生活!」と「正しい箸の持ち方啓発」の二本柱で、それぞれの団体の取組事例の報告やパネル展などを行っています。



西区食育推進会議の様子

朝ごはんを食べよう! 西区食育推進会議メンバーおすすめ、あったかスープ
 体を温めて一日を元気にスタートしよう

朝ごはんを食べると、寝ている間に下がった体温を上げ、日中の体温を維持してくれます。寒さに負けず、元気な一日を過ごすために、朝ごはんにおすすめのスープを紹介します。

野菜ましましコンソープ
 材料 (2人分)
 ●市販のコンソープ (液状になっているもの) ……2カップ(400mL)
 ●冷凍ミックスベジタブル ……大さじ6

作り方
 ①2つの耐熱容器にミックスベジタブルを入れ、600Wで30秒加熱します。
 ②①の耐熱容器にコンソープを1カップ(200mL)ずつ入れ、600Wで1分～1分30秒温めて出来上がり。
 ※鍋でまとめて温めてもおいしく作れます。

トマトオニオンスープ
 材料 (2人分)
 ●玉ねぎ(中サイズ) ……1/2個
 ●サラダ油 ……小さじ1
 ●水 ……250mL
 ●顆粒コンソメ ……小さじ1
 ●トマト水煮缶(缶詰) ……1/2缶
 ●卵 ……1個
 ●塩・こしょう ……少々
 ●刻みパセリ ……適宜

作り方
 ①玉ねぎは半月切りにスライスします。
 ②鍋にサラダ油をひき、玉ねぎを中火で炒めます。
 ③②の玉ねぎがしんなりしたら、水、コンソメを加えて煮込みます。
 ④沸騰したら③にトマト水煮缶を加えて、さらに強火で煮込みます。
 ⑤④に塩、こしょうして味を整え、冷たい卵を加えます。
 ⑥器に盛り付け、刻みパセリを振ったら出来上がり。

西区食育推進会議は、食を通じた健康づくりを推進する目的で平成21年から活動しており、区内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、病院、地域ボランティア団体、事業者など29団体で構成されています。今回はあそびの杜保育園、戸部小学校、西区更生保護女性会の3団体の食育活動を紹介します。ぜひご覧ください。

日時 2月7日(金)～26日(水) 場所 区役所1階区民ホール(中央1-5-10)
 問合せ 健康づくり係 ☎320-8439 ☎324-3703



西区食育推進会議 ▶



朝ごはんリーフレット

広報よこはま西区版 令和7年2月号



パネル展



地域のお祭りや区民まつりで正しい箸の持ち方啓発

豆つかみゲーム

「詳しくはこちら」[予約は2次元コードで]と生活に必要な場面でデジタル化が加速。スマホ保有率は高くなってはいるものの、操作方法がわからず周りに気軽に尋ねる人もいないというシニアからの声を聞くことが増え、シニアの“情報や社会参加の機会損失”が地域課題になっていました。そこで、西区社会福祉協議会では、スマホサポーター養成講座を企画。修了生らによる「シニアのためのスマホ相談会」が令和5年に開始しました。

講座ではなくマンツーマンの困りごとに応じた相談会としているのが売り。参加されたシニアの方からは「写真の撮り方がわかり、外出先でお花を撮るのが楽しみになった」「時刻表を検索できるようになって、外出の予定が組みやすくなった」「お友達とLINEでつながれた」などの声が寄せられています。中には「もう一度最初から」と毎月復習に来る方も。

教える側もシニア多数。シニア世代の活躍&交流の場にもなっています。



相談会の様子



毎月定例で行っている5会場の他、依頼に応じて出張相談会も行っています(写真はイメージ)。

目指す姿

地域には、国籍、年齢、性別、障害(児・者)等、それぞれ違う立場や背景を抱えた人が暮らしています。誰もが「自分らしく」暮らすには、多様性の理解を深めながらお互いを認め、尊重しあうことが大切です。日々の挨拶など日ごろからつながる機会を持ち、助け合い、一人ひとりが安心して健やかに暮らせるインクルーシブなまちを目指します。

現状と課題

西区は、集合住宅での転出入も多く、困りごとを相談する前に孤立しやすい状況があります。また、障害のある方や認知症の方と接したり、住民同士の交流の機会が知られずに、地域との新たなつながりが生まれにくい一面があります。加えて、外国人居住人数割合が市内第3位と高く、文化や習慣の違いにより困りごとが生じている可能性があります。さらに、人口減少、少子高齢化など社会構造の変化に伴い「複合的な生活課題*1」を抱える世帯や「生きづらさ」を抱える方の多さが浮き彫りになっています。

一方で、企業や学校の在勤・在学者が多く、昼夜間人口比率では神奈川県内で第1位となっており、西区内の活動への更なる参画が期待されています。

※1 80代の親がひきこもり状態にある50代の子の生活を支える「8050問題」や、親の介護と育児などが同時進行となる「ダブルケア」、本来なら大人が担うことが想定されている家族の介護やケア、家事などをこどもが日常的に行う「ヤングケアラー」の問題など、複数の分野にまたがる生活課題

取組の推進に向けて

こどもから高齢者まで様々な立場や背景、価値観の違いといった多様性を理解するために、学校等での様々な福祉教育や福祉施設等と交流を行うことで、体験や共感ができる機会を作っていくことが重要です。また、誰もが社会的に孤立せず、困ったときに、互いに支えあう関係を構築できるよう、日頃からつながりを作るとともに、困りごとを抱えている人が自分らしく暮らせるために、当事者の声を反映した必要な支援につながるよう地域住民と相談機関が協働していくことが必要です。

また、多文化共生の推進に向けた課題の整理・取組の検討を進めるとともに、日中人口が多い強みを生かし、企業・学校と連携し共生社会に向けた取組を推進します。

コラム

- チームオレンジの取組／意思決定支援
- 地域活動への参加
- 地域で再出発を支える更生保護活動
- 西区地域自立支援協議会
- 地域生活支援拠点部会と「[にも包括]」の取組(居住支援)
- 困ったときに早めに相談できる地域づくり 包括的相談支援の取組

目指す姿の実現に向けた指標

※にこまちプラン区民アンケートの数値。R9年度(中間値)、R11年度(最終目標)に実施予定。

| 指標 | R6(現状値) | R10(中間値) | R12(最終目標) |
|--|---------|----------|-----------|
| 障害や認知症を理解するための普及・啓発講座等に参加した人数 | 2,978人 | 3,078人 | 3,238人 |
| 障害のある方と接する機会があった人の割合* | 23.1% | 24.0% | 25.0% |
| 障害や認知症の当事者等も含めた多様な人同士が交流し、活躍できる場への参加人数 | 300人 | 348人 | 360人 |
| 権利擁護講演会や相談会への参加人数 | 223人 | 280人 | 330人 |
| 高齢者や障害者が困っていたら、助けたいと思う人の割合 | 55.0% | 65.0% | 75.0% |

① 多様性を理解し、お互いに尊重し合う地域づくりを進めます。

- (ア) 障害、認知症やひきこもり等に関する理解が深まるよう、住民・企業・学校と協働し広報やイベント・講演会などの普及・啓発
- (イ) 障害のある方もない方も住民同士が交流し、お互いに知り合うきっかけづくりや場の創出
- (ウ) 小・中学校における福祉や人権の教育プログラムにおける学校との連携促進、企業や法人等に向けて福祉の啓発を推進
- (エ) 文化や習慣の違いについて相互の理解を深めるための取組の検討

② 誰もが「自分らしさ」を生かして社会参加できるインクルーシブな地域づくりを進めます。

- (ア) 誰もが自分らしさを活かして活躍できる地域共生社会*の実現を目指した地域づくり
 - *「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が、世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のこと
- (イ) 障害があっても住み慣れた地域で暮らし続けるための多様な「住まいの場」の選択に向けた支援と体制づくり
- (ウ) 認知症があっても、地域住民等の理解やサポートのもと、これまでの活動等を可能な限り続けることができる取組の推進(チームオレンジの取組)
- (エ) 住み慣れた地域で暮らし、社会参加につながるための移動支援の充実

③ 障害者や認知症高齢者が安心して日常生活が送れるように権利擁護の取組を進めます。

- (ア) 高齢者や障害者が、自分らしく暮らし、生き方について考えるための意思決定に向けた普及啓発
- (イ) 成年後見制度等の権利擁護に関する制度について、関係機関と協力した普及啓発
- (ウ) 日常生活自立支援事業*や成年後見制度を利用している方への支援の充実、市民後見人の活動支援
 - *自身で金銭や大切な書類を管理することに不安のある、高齢者や障害者の方の福祉サービスの利用や金銭管理などを、各区のあんしんセンターが契約に基づいてお手伝いし、安心して生活を送れるよう支援する事業
- (エ) 障害者後見的支援制度*の周知と障害者も含めた地域の見守り体制の充実
 - *障害者が地域で安心して生活できるため、日常生活を見守る体制をつくり、定期訪問する事で、ご本人の権利擁護を図る取組

**④ 誰も社会的に孤立せず、困ったときに早めに相談することができる地域づくりを進めます。
(包括的な相談支援)**

- (ア) 複合的な生活課題を抱える世帯を適切に支援するため、分野を超えた包括的な相談支援体制構築に向けたネットワークの強化
- (イ) 生活の困り事を抱えて、社会的に孤立しやすい方に周囲がいち早く気付き、必要な支援につながるための周知・普及啓発
- (ウ) 様々な困りごとを抱える方への支援や地域で支えあう仕組みづくりを進めるための食支援の取組の充実

⑤ 犯罪や非行からの立ち直り支援と未然に防ぐ地域づくりを進めます。

- (ア) 保護司会や更生保護女性会、BBS会など、更生保護や薬物乱用防止等犯罪予防に関する活動支援と普及啓発

チームオレンジは、認知症の本人の声を大切にし、認知症の人が安心して自分らしく暮らせる地域づくりを目指した、支援する側される側の垣根のない活動です。

<目指す姿の具体例>

- 認知症の正しい理解が普及し、認知症になる前と変わらず、趣味やサークル活動などやりたいと思ったことを、できないところはサポートを受けながら、自分らしく能力を活かして参加することができています。
- 本人も家族も身近に相談できる仲間がいて、些細な困りごと等を相談したり、情報を得たりすることができています。



チームオレンジの取組

西区では、区民一人ひとりがポジティブに、自らの意思で自身の生き方を選択し、人生の最期まで自分らしく生きることができ、その意思を他者に伝える手段がある地域を目指しています。

<取組の具体例>

- エンディングノート：これまでの人生を振り返り、これからの人生をどう歩んでいきたいか、自分の思いを記していく「人生の記録」です。

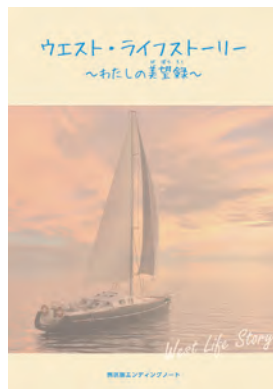
ACP(愛称:人生会議)の取組

自らが望む人生の最終段階における医療・ケアを前もって考え、話し合い、共有する取組であるACP*が大切です。

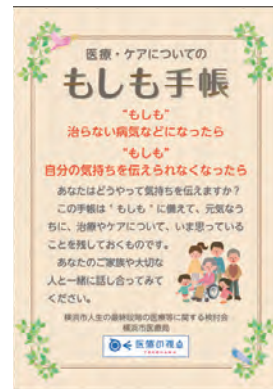
*アドバンス・ケア・プランニングの略(愛称:人生会議)

<取組の具体例>

- もしも手帳：元気なうちから「治療やケア」について考え、自分の気持ちを伝えるためのものです。



西区版エンディングノート



もしも手帳

障害福祉事業所では、複数の事業所が協力して近隣の公園清掃に取り組んでいます。また、西区社会福祉協議会のボランティアグループ「サポート西」と障害福祉事業所が連携し、植木の剪定などの活動も行っています。

自分たちが住み、働いている地域に貢献する活動は地域の方々にとって障害のある方への理解につながり、また住みよい街づくりのきっかけにもなっています。



サポート西×ガッツ・びーと西活動の様子

ボランティアグループ サポート西

お手伝いします！あなたの困りごと

庭木の剪定、草刈り

障子、網戸の張替等

住まいの小修繕等
何でもご相談ください

◆対象となる方は
次のいずれかに該当する西区在住の方です

- ①高齢者(65歳以上)のみの世帯
- ②障害のある方の世帯
- ③特に必要と認められる世帯

◆利用料
ボランティア1人に対し、1時間600円のご負担をお願いいたします
また、作業にかかる材料費、機材の持込み代など別途ご負担いただく費用については
お見積り時にお伝えします

◆申し込み先
西区ボランティアセンター(横浜市西区社会福祉協議会内)
電話: 045-450-5005

メンバーはサラリーマンのBや主婦など活躍中！
プロではありませんが、親切、丁寧に作業いたします
一緒に作業してくれる方も募集中！

サポート西は西区社会福祉協議会の助成金を受けて活動しています

第3地区のシニアクラブと、にこまちプランを進める部会が協力して、地域のおまつりでけん玉やコマなど「むかしあそび」が行われ、シニアとこどもの多世代交流の機会が広がっています。

さらに、藤棚地域ケアプラザのコーディネートにより、外国人留学生在が母国の「むかしあそび」を披露したり、日本のJ-POPの歌を合唱するなど、多文化交流・多文化共生を学べる機会となっています。

また、第4地区のみんなの食堂は、外国人留学生を含む地域の学生が、担い手として参加することで、多文化交流・地域交流の場となっています。



おまつりでの「むかしあそび」



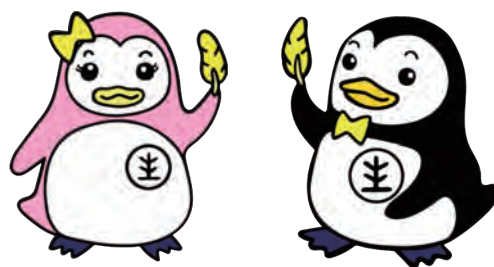
留学生による合唱

目標3 一人ひとりの個性を認めあい、
みんなが共存するまち

犯罪や非行のない明るい社会を築き
地域で再出発を支える

更生保護活動

更生保護活動は、罪を償い、再出発しようとする人たちの立ち直りを導き、助け、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐことを目的としています。安全、安心な地域社会を実現するという志のもと、保護司、更生保護女性会、BBS会などの地域のボランティアを中心に、罪を犯した人の立ち直りを支えています。西区でもそれぞれの団体が連携して取り組んでいます。



更生ペンギンのサラちゃん ホゴちゃん

保護司会

法務大臣から委嘱されたボランティアです。犯罪や非行をした人に対して面接を通じて就労支援等を行う「保護観察」、刑務所を出て地域で暮らすための「生活環境の調整」、学校や地域と連携した「犯罪予防活動」をしています。また、「保護司セミナー」を開催するなど、保護司活動に対する理解と関心を高め、地域への協力を促します。



保護司のクジラ先生

更生保護女性会

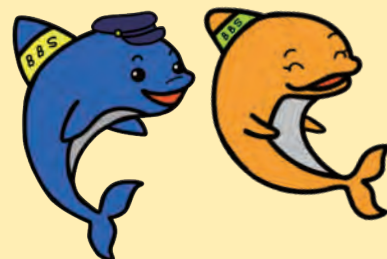
誰もが人として尊重され心豊かに生きられる明るい社会を目標に、犯罪や非行のない地域社会の実現に向けて取り組んでいます。地域での各種イベント、ミニ集会、社会を明るくする運動での周知活動や物販を軸に更生保護活動を支えています。



オコジョさん

BBS会

Big Brothers and Sistersの略。保護観察中の少年少女たちのお兄さんお姉さんのような存在となり共に悩み、学び、楽しむ活動を行うボランティア団体です。スポーツや料理などを通して交流しています。



イルカ兄さん・姉さん



法務省主唱 社会を明るくする運動

- 犯罪や非行のない明るい社会を築きます
- 再犯防止は更生保護の使命です
- 地域の子カラで立ち直りを支えます
- おかえりの心で仕事と居場所をつくります
- 幸福(しあわせ)の黄色い羽根で理解の輪を広げます

『「社会を明るくする運動 五つの誓い」より』

7月は強調月間です



総理大臣メッセージ伝達式

目標3 一人ひとりの個性を認めあい、
みんなが共存するまち

西区地域自立支援協議会

自立支援協議会は、障害のある方が安心して暮らせる地域づくりを行うために障害当事者とその支援者、地域住民が一体となって情報の共有、具体的な協働、ネットワークの構築などを皆で考える組織です。西区では7つの部会を有し、地域の会議体等と連動をさせ、抽出された個別課題を地域課題ととらえて、それぞれで共有をし、一丸となって取組を推進しています。一人、もしくは一事業所ではできないことも、皆で知恵を出し合い、協力し合うことで可能性は広がります。今後も、横のつながりや、当事者の思いを大切に「何が必要」で「何ができる」のかを検討しながら、障害のある方が地域で『自分らしい暮らし』ができるよう進めていきます。

目標3 一人ひとりの個性を認めあい、
みんなが共存するまち

地域生活支援拠点部会と「にも包括」の取組 (居住支援)

地域生活支援拠点部会は、障害のある方の親亡き後の生活を考え備えていくことを含め、誰もが地域で自らの意思で生活していくための体制を構築する取組です。西区では、精神障害がある方が病院を退院して地域で安心して生活できることを目的とした「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(にも包括)」の構築と合わせて、三機関(区役所・基幹相談支援センター・精神障害者生活支援センター)で取り組んでいます。

具体的な取組としては、グループホームが少ないという西区の現状を踏まえて、マンスリーマンションでの年2回の生活体験事業、ねくさす生活支援室での年間通しての生活体験、ガッツ・びーと西のショートステイ(暮らしの体験3層構造)を実施してきました。生活体験事業では、ピア活動*も大切にし、経験者の体験談を聞くことで、初めの一歩が踏み出せるように後押しをしています。

また、不動産会社との関係づくりにも力を入れており、地域の不動産会社との連絡会を開催し、障害がある方の地域生活について考える機会を設け、多くの方にご参加いただきました。

今後も、障害のある方が地域で自分らしい暮らしをするために「何が必要」で「何ができる」のかを検討しながら、西区での支援体制を構築していきます。



リーフレット「じぶんらしく、にしく」



地域生活支援拠点部会(不動産会社との連絡会)の様子

* ピア活動…同じ立場や経験を持つ人同士が支え合う活動のこと

人口減少、少子高齢化などによる社会構造の変化に伴い、困りごとを抱えていても、誰にも相談することができずに孤立し、問題が深刻化してしまう方々がいます。問題が深刻化する前に、地域の中で身近な人に悩みや困りごとを話すことができ、必要に応じて早目に相談機関につながる地域づくりを目指しています。

<区役所の取組>

区役所では、経済的な困りごとや生活上の悩みを抱えている方に気付いた際、必要な相談や支援につなげられるよう、仕組みづくりを進めています。

複合的な生活課題によって困難を抱える方を受け止め、社会的孤立を防ぐため、福祉分野に加え、就労や住宅など、多様な関係機関が連携できる場として「セーフティネット会議」を開催しています。この会議は生活支援課が事務局となり、西区内の支援ネットワークを構築することを目的としています。

また、日本語を母語としない方が円滑に手続きを行えるよう、タブレット翻訳機の活用など、多言語対応の環境整備にも取り組んでいます。



セーフティネット会議

<みんなの相談窓口の取組>

西区では、誰もが住みやすい西区を目指して、区内の相談支援機関等によるネットワークとして「地域センター会議」を実施しています。高齢、障害、こども、生活困窮、教育、警察など各分野の相談窓口となっている16の機関が参画しています。困りごとをどの機関に相談しても、参画機関へつなげられるように「西区みんなの相談窓口」を掲げ、PRのクリアファイルとリーフレットの配布、連携事例集の発行、地域での勉強会への出前講座、参画機関の相談員のスキルアップ研修などを行っています。

今後も、各分野の相談機関が異なる分野の相談でもまずは受け止め、つなげていき、誰もが自分らしく暮らせる地域共生社会の実現を目指して取組を進めていきます。



<みんなの相談窓口の取組>リーフレット・クリアファイル

目指す姿

西区が目指す、誰もがにこやか・しあわせに暮らせるまちを実現するためには、自らの地域に愛着を持ち、お互いにつながり、支えあう地域づくりが必要です。そのため、自治会町内会や地区社会福祉協議会など各種団体が今後も継続して活動していけるよう取組を進めるとともに、既存の枠組みに捉われない地域の新たな担い手の発掘、地域における様々な主体がつながることができる仕組みづくりなどに取り組みます。

現状と課題

防災・防犯、交通安全、環境美化、高齢者やこどもの見守り、居場所づくりなど、地域における課題は多様化・複雑化しており、地域の暮らしを守るための「共助」の取組がより一層求められています。

一方、少子高齢化、ライフスタイルの多様化や時間的制約、地域活動の認知度不足などにより、地域活動の中心的な存在である自治会町内会や各種団体の担い手不足、集合住宅をはじめとした自治会町内会への加入率低下など、地域のかつがりの希薄化への危機感が高まっています。

取組の推進に向けて

地域活動の負担を軽減するため、SNSによる情報発信やデジタルツールの活用促進、事務手続きの簡素化に取り組みます。また、地域を支える仕組みとして、区役所、区社協、ケアプラザによる地区支援チームを通じて、地域活動のサポートを一層推進するとともに、にしとも広場との連携のもと様々な主体がつながるきっかけづくりを進めます。

さらに、各種事業の実施にあたり、世代間の交流が図れるよう取り組むとともに、若い世代の地域活動等への参加を促進することで、地域への愛着を育み、次世代の担い手を育成します。

コラム

- 地区社会福祉協議会
- 将来の担い手を育成 ジュニアボランティア
- デジタルの活用を通じたつながりの強化
- 西区ボランティアセンター
- にしとも広場
- 地域の見守り活動(ふれあい会、民生委員・児童委員)
- みみより広場

目指す姿の実現に向けた指標

※にこまちプラン区民アンケートの数値。R9年度(中間値)、R11年度(最終目標)に実施予定

| 指標 | R6(現状値) | R10(中間値) | R12(最終目標) |
|-----------------------------------|-----------|----------|-----------|
| 自治会町内会等の行事やサークル等に参加している人の割合* | 56.3% | 60.0% | 65.0% |
| ボランティアセンターの登録人数(累計) | 185人 | 220人 | 250人 |
| 困ったときに助けてくれる地域の人がいる割合* | 51.0% | 52.0% | 53.0% |
| 商店街を利用したいと思う人が増える(イベント参加者向けアンケート) | R7イベントで調査 | 80.0% | 85.0% |
| にこまちプランを知っている人の割合* | — | 27.0% | 30.0% |

① 持続可能な地域づくりに向けて、自治会町内会や地区社会福祉協議会をはじめとする地域の連携を強化します。

- (ア) 自治会町内会や地区社会福祉協議会等による「つながりづくり」に向けた活動支援
- (イ) 多様化・複雑化した地域課題への包括的(伴走)支援
- (ウ) デジタルツール等を活用した自治会町内会活動の負担軽減支援
- (エ) 地区社会福祉協議会を核とした、活動団体の横のネットワークの強化
- (オ) 地域活動の継続に向けた助成金などの活動支援
- (カ) 居場所やサロンなど施設・環境整備に向けた助成金などの活動支援
- (キ) 仲間づくりなど、ボランティア団体の活動継続に向けた支援

② 新たな地域コミュニティの形成に向けた課題やニーズの把握と支援の在り方を検討・構築します。

- (ア) 地域・行政・企業の連携による地域コミュニティの形成
- (イ) 多様な世代が地域活動に参加しやすい内容及び仕組みの構築
- (ウ) 集合住宅における課題の把握及び支援策の検討
- (エ) 西区の課題に応じた活動支援策の検討

③ 若い世代を含めた新たな担い手づくりを進めます。

- (ア) 働き・子育て世代や活動的なシニア層など、世代別の興味や関心に応じた講座や事業を開催し、参加者の中から地域活動の担い手を発掘・育成
- (イ) WEBやSNS等を活用した、若い世代が地域活動に親しみを持てるような機会づくり
- (ウ) 公共施設の貸室など、地域活動のための場の提供を積極的に行い、新たな団体の立ち上げや活動の継続を支援
- (エ) 大学や企業、福祉施設など、多様な主体との連携・協働

④ 地域と結びついた取組を通じ、商店街の活性化を推進します。

- (ア) 西区商店街組合連合会と連携した活性化イベントの開催
- (イ) WEBやSNS等を活用した、商店街及びイベントのPR、情報発信
- (ウ) 経済局と連携した商店街の支援

⑤ イベントへの参加を契機とした「つながり」のあるまちづくりを進めます。

- (ア) 団体や企業など、あらゆる分野の方々が参加・交流できるイベントの開催
- (イ) 区内小・中学校と連携した、児童・生徒の教育活動の支援及び地域活動への興味・関心度の向上
- (ウ) WEBやSNS等を活用したイベントの周知及び集客

⑥ 高齢者をはじめとした支援が必要な人に対する見守りを継続できるよう、活動を支援します。

- (ア) ふれあい会や民生委員・児童委員など見守り活動の継続に向けた支援
- (イ) 横浜市認知症高齢者等SOSネットワークの運用など認知症高齢者を地域で見守る仕組みの推進
- (ウ) マンション等集合住宅における高齢者を、多様な主体と連携して支援
- (エ) 地域ケア会議を活用した地域課題の共有、課題解決に向けた取組とネットワークの構築

⑦ 世代や対象者に合わせた「伝わる」情報発信を推進します。

- (ア) 幅広い世代へのアプローチを意識した、デジタルメディアの積極的な活用等による重層的な情報発信
- (イ) 多言語、やさしい日本語など、あらゆる人の使いやすさに配慮した情報発信
- (ウ) 窓口での手続き等、区民とのあらゆる接点を活用した効果的な情報発信
- (エ) 区役所・区社協・ケアプラザ等が連携した、にこまちプランの認知度向上

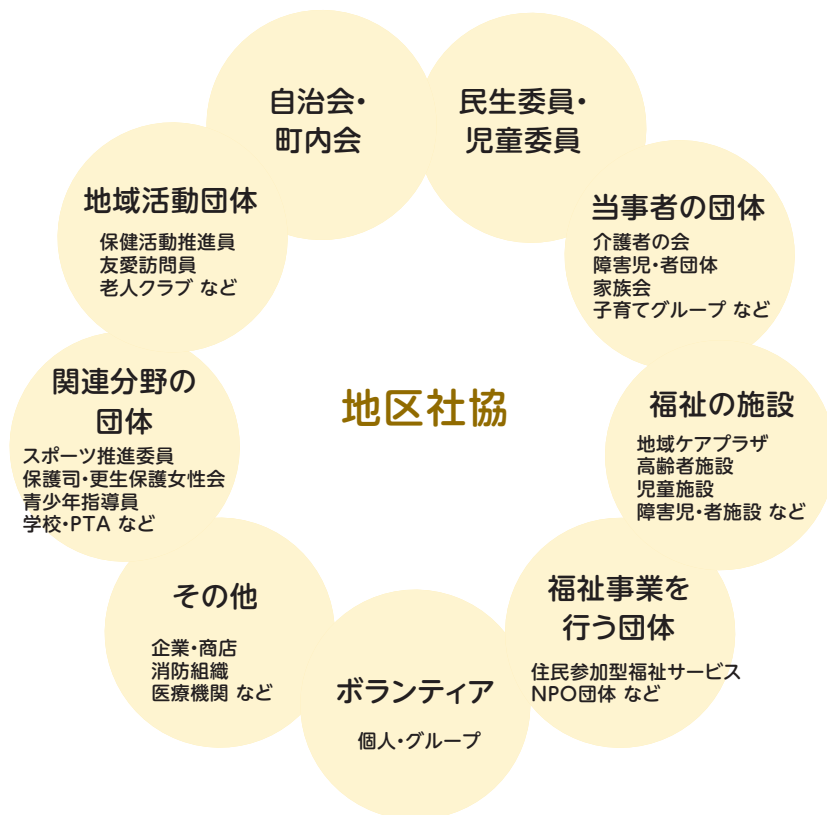
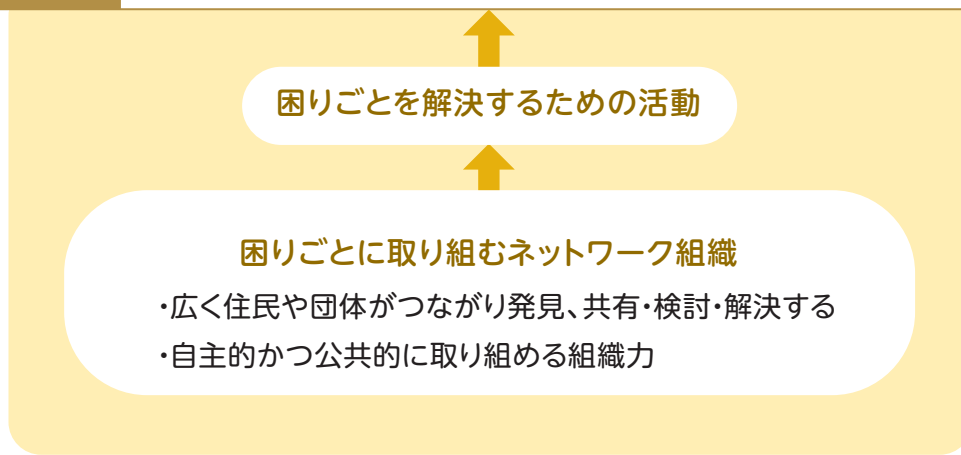
地区社協は「自分たちの地域は自分たちで良くしていこう」という気持ちで組織された地域住民による任意団体です。「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を目的とし、西区では、連合町内会自治会のエリアごとに、そのエリア内にある様々な団体や施設が会員となって構成されたネットワーク組織として活動しています。

困りごとを発見し解決に向けた活動を住民同士で話し合い、取り組む民間組織としての「自主性」と、共同募金をはじめとする福祉のためのお金を有効に地域で活用できる組織としての「公共性」という2つの大きな特徴があります。

西区は第一地区社協から第六地区社協の6つの地区社協が、“一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり”を目指して高齢者やこどもの居場所づくり、見守り活動などに取り組んでいます。

地域福祉の理念 誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす

地区社協の目的 一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり



第五地区ジュニアボランティア5(ファイブ)

小・中学生が、地域で開催される様々なイベントや福祉事業でボランティア活動をするもので、第五地区独自の取組として2018年度から継続しています。毎年70～80名がジュニアボランティアとして地区自治会連合会長から任命され、水色のビブス(ゼッケン)を着けて活躍しています。



第3地区小・中学生ボランティア活動

地域、学校、福祉施設の連携で、小・中学生のボランティア活動を推進しています。春の一大イベントである「第3地区ふれあい春まつり」や、生活創造空間にして開催される「福祉フェスタ」などで、毎年会場運営をお手伝いしていただきます。青い法被や藤色のビブス(ゼッケン)が目印です。



こうした取組から、こどもたちは、福祉やボランティアへの理解を深め、感謝や思いやりの気持ちを育むなど、普段の授業だけでは学ぶことのできない経験をたくさん積んでいます。将来は、地域の担い手となる子が一人でも増えることが期待されます。

自治会町内会向けデジタルツール紹介冊子

横浜市では、自治会町内会の回覧板や防災訓練などのお知らせ、会費集めなど、情報共有や運営の効率化が図れるよう、デジタルツールやサービス等の紹介冊子を提供しています。

区役所も、自治会町内会における課題の解決や、役員のみならずの負担軽減に向け、デジタル化にチャレンジする自治会町内会に伴走支援をしています。



地域と区役所の情報共有

(令和6年度より試行実施)

自治会町内会と区役所の間で、アプリ等を活用した情報共有を積極的に進めています。

情報共有アプリでは、申請手続きなどのお知らせやイベント情報などをタイムリーに発信しています。

また、メールやトーク機能を活用し、地域と区役所が気軽にコミュニケーションできる手段を増やすことで、地域の負担軽減も図ります。

これまでのやり方や慣習も大切にしながら、デジタル技術を取り入れた「新しい情報共有の仕組みづくり」や「つながり強化」を目指します。



デジタルを楽しみながら活用中

西区社会福祉協議会が運営する西区ボランティアセンターは、ボランティアを必要としている人とボランティア活動をしたい人をつなげたり、ボランティアに関するさまざまな相談受付や情報提供を行っています。また、ボランティアを始めたい人に対して講座やイベント等を開催しています。

「ボランティアに興味がある」「何かやってみたいけれど、自分に合う活動って何だろう?」「ボランティアグループに入って活動したい」という方や「ボランティアさんに来てもらいたい」という施設・個人の方、お気軽にボランティアセンター(西区社会福祉協議会内)までご相談ください。



生活支援ボランティア団体「サポート西」



気軽に参加できる清掃ボランティア「ゆるボラ」

**ボランティア
募集情報はこちら**



にしと市民活動支援センター“にしとも広場”は、地域での活動やつながりづくりを応援する場です。

地域人材ボランティア「西区街の名人・達人」の活動支援を始め、地域で特技を生かした活動やボランティアを始めたい人の相談・支援、地域のニーズとのコーディネートや活動の場の紹介を行っています。また、施設内にあるスペースでは、登録団体・ボランティアによるさまざまな活動やイベントが実施されており、誰でも参加できます。利用予約のない時間帯は、登録がなくても、ちょっとした打ち合わせや休憩に利用することもできます。

地域で活動を始めてみたい人、地域の中で知り合いや気軽に話せる仲間が欲しい人、“にしとも広場”を訪れてみませんか。“にしとも広場”の取組や登録団体・ボランティアの活動は、毎月発行のイベントカレンダーや、情報紙「にしとも広場」に取りまとめているほか、ホームページ、各種SNSでも発信していますので、ぜひご覧ください。



「西区今昔かるた伝道師」を地域のかるたイベントへ派遣



地域施設・活動団体との連携事業「みんなで!みちあそび」



情報紙「にしとも広場」

「ふれあい会」は、地域の皆さんが、ひとり暮らし高齢者等を日常生活の中で、さりげなく見守り、訪問するなど、ご近所同士のあたたかな支え合いを行う西区独自の見守り活動です。自治会町内会単位で活動しており、絵手紙や季節にあわせたちょっとしたプレゼントをお渡しするなど、ふれあい会ごとに工夫して取り組んでいます。

また、西区では現在、約120名の民生委員・児童委員及び主任児童委員が、地域の身近な福祉の相談相手として活動しています。担当区域の住民の見守り・訪問や、区役所や関係機関への「つなぎ役」として重要な役割を担っています。そのほかにも、地区社会福祉協議会や自治会町内会と協力しながら、高齢者向け食事会や子育てサロンなど、地域の交流活動のサポート等もしています。



高齢者への訪問の様子



民生委員等地域活動団体による見守り・つながりづくりの活動

みみより広場は、ひとり暮らし高齢者世帯等へ「みみより」な福祉保健情報を提供するとともに、ふれあい会 (P.57参照)や民生委員がひとり暮らし高齢者世帯等へ訪問する際のきっかけとして活用されています。3月、6月、9月、12月の年4回発行し、約2,500世帯の方々へお届けしています。

紙面構成

- まちのお元気さん ▶ 生き生きと暮らす西区の高齢者のインタビュー
- いきいき健康レシピ ▶ 高齢者の食生活向上に向け、簡単に調理できるレシピを紹介
- 特集 ▶ 季節ごとのニーズ等に合わせて作成

西福祉保健センター 令和7年6月12日 第89号
発行・問い合わせ 福祉保健情報ニュース編集委員会 (西福祉保健センター・福祉保健課) 電話: 320-8437 FAX: 324-3703

「みみより広場」は高齢者の皆様身近な福祉保健の情報をお届けするため平成19年7月から年4回発行しています。縁がまぶしい季節となりました。急に暑くなる日がありますので、こまめな水分補給を心がけましょう。

まちのお元気さん

今回ご紹介する「まちのお元気さん」は、浅間町にお住まいの三橋和子さん、取材時91歳です。三橋さんは、袴のレンタルや着付けをする会社に勤務していました。ある日、電車での出勤時に、ブレーキがかかったのをきっかけに横転し、救急搬送。背骨の圧迫骨折で入院し、手術をしました。手術後すぐにリハビリを開始し、18日間で退院。歩行できるまで回復し、4か月後には車にも復帰し、その後、施設まで勤務しました。現在は、西区ヘルスメイト浅間台グループで活動中。昨年5月に名誉会員で表彰されました。月に2回グラウンドゴルフを行い、大会にも出場予定。サークルでは、月に2回、カラオケに参加し、年に2回、旅行にも参加。一人カラオケもしています。自宅内では、1日3回、ストレッチや柔軟体操、寝ながらできる運動やラジオ体操などをこなしています。折り紙や鑑賞品などの趣味もあり、丁寧な仕立りで手先も器用です。室内外共に積極的に活動しています。

「周りの方に迷惑をかけ、たくさんお世話になりながらも、活動を続けていられる事に感謝しています。」とお話されました。今回の取材について「ワクワクした気持ちになった」とチャームングな事を言っていました。これからも、お身体に気をつけて、お元気でお過ごしください。取材・記事: 浅間台地域ケアプラザ

いきいき健康レシピ

★サラダそうめん

のど越しの良い麺に、夏野菜とたんぱく質を合わせて、暑い夏も元気に乗り切りましょう!

作り方

- 1 そうめんは茹でて水にさらし、水気を切る。
- 2 レタスは洗って水気を切り、食べやすい大きさにちぎる。
- 3 きゅうりは千切りにし、プチトマトは食べやすい大きさにカットする。
- 4 玉ねぎはスライスして水にさらし、水気を切る。
- 5 大きめの深皿にレタス、そうめん、きゅうり、玉ねぎ、シーチキン、プチトマトの順に盛り付け、きざみ海苔を飾り、種つゆをかける。

★レシピ紹介者
食生活等改善推進員(ヘルスメイト) 浅間台グループ

材料(1人分)
そうめん(乾) 2束(100g)
きゅうり 1/2本
玉ねぎ 1/4個
レタス 2枚
プチトマト 2個
シーチキン缶 1缶
種つゆ
きざみ海苔 適量
お好みの量

おもて面は
「まちのお元気さん」「健康レシピ」
*記事は令和7年6月号

あんしん救急 - 知って予防! 救急車 -

~救急車の適正利用にご協力をお願いします~

救急車の出動件数が増加し、救急車の現場平均到着時間が長くなっています。※1

ポイント1

ケガの予防や
感染症予防など
体調をしっかり
管理しましょう

ポイント2

救急か迷ったら
#7119
または、
045-232-7119
045-523-7119
に相談しましょう

もし、呼吸苦、激痛などで
周囲に人がいない場合は、
迷わず119番通報しましょう

詳しくは、
横浜市消防局
Webサイトで

※1 横浜市の令和5年中の救急出動件数は、254,636件で過去最多を記録し、救急隊が出発してから救急現場に到着するまでの時間が10年前と比べて、2分延びています。

【担当】
西消防署予防担当
045-313-0119

うら面は季節ごとのニーズ等に合わせた
「特集記事」
*記事は令和7年3月号

西区WEBサイトで
過去の記事を公開しています
のでご覧ください。



目指す姿

こどもやその保護者が、暮らしている地域の中で様々な人と出会い、交流できる環境があること、また、誰もが地域のこどもや子育て世代に関心や関わりを持つことは、子育ての充実だけでなく、こどもがその地域に愛着を持つことにつながり、こどもの人生がより豊かなものとなります。

身近な地域でこどもや子育て世代が集える居場所の充実・拡充や、家庭・学校・地域などが一体となってこどもや保護者を見守る土壌をつくり、こどもが心豊かで健やかに成長できるまちを目指します。さらに、こども・若者の意見を表明する機会や、多様な社会活動に参画する機会を積極的に作っていきます。

現状と課題

西区は転入者・転出者の割合が高く、共働き世帯が増えています。地域の中で安心してこどもを産み育てられるよう、様々な世代や立場の方が関わりながら子育て支援に取り組んできました。

一方で、貧困、いじめ、不登校、ひきこもりなどの複合的な課題を抱えるこども・若者とその家族が認知されにくく、社会的に孤立している状況があります。様々な地域の人材とも連携し、適切な支援につなげる必要があります。

近年はこども食堂やこどもの居場所等、学齢期以降のこどもを対象にした活動が増えています。これらの活動とこども・若者とのつながりづくりを支援するとともに、こども・若者の意見を聞き、地域とつながり続けられる仕組みの検討が必要です。

取組の推進に向けて

妊娠・出産から乳幼児期にかけて、子育て世帯が育児に関する正しい知識を得て、地域の中で孤独な育児に陥らないようにするための仲間づくりや環境づくりを引き続き進めます。

学齢期のこどもが地域から孤立せず、幼少の頃から切れ目なく地域とつながることのできる環境をつくるため「家庭・学校・地域」と、より一層の連携した取組を進めます。

また、こども・若者に意見を聴き、その意見を反映する取組を区全体で推進していきます。

コラム

- こども・若者の成長を支える居場所
 - ・「乳幼児期」
 - ・「学齢期～思春期」
 - ・「こども食堂」
- にこまちプランの小・中学校出前講座
- こども・若者の声がまちの力に

目指す姿の実現に向けた指標

※にこまちプラン区民アンケートの数値。R9年度(中間値)、R11年度(最終目標)に実施予定

| 指標 | R6(現状値) | R10(中間値) | R12(最終目標) |
|----------------------------------|---------|----------|-----------|
| 近所のこども(中学生以下)に、あいさつなど声をかける人の割合* | 50.5% | 52.7% | 55.0% |
| 近所にいる気がかりな子育て中の親に声をかける人の割合* | 21.7% | 22.3% | 23.0% |
| 親子の居場所を利用している人の割合 | 53.8% | 55.4% | 57.0% |
| こども・若者(乳幼児の場合は保護者を含む)に意見を聴取した取組数 | 6 | 10 | 15 |

① 妊娠期から乳幼児期、学齢期まで、切れ目のない子育て支援を推進します。

- (ア) ホームページ、子育て応援アプリ「パマトコ」、SNS、子育てマップ等を活用した地域の子育て関連情報の発信
- (イ) 地域の中で行われている様々な子育て支援の取組を通じた、地域ぐるみでこどもとその保護者を見守る環境づくりの推進
- (ウ) 区役所・地域子育て支援拠点・保育園等が連携して進める、育児について学べる場所や相談できる場所の充実
- (エ) こども本人からの相談や、妊娠期から学齢期までの子育てに関する相談の実施

② 身近な地域で気軽に参加できる子育て支援の場やこどもの居場所を充実させます。

- (ア) 地域の方々が中心となって行っている子育て支援活動、親子の交流・つどいの場等を運営する団体、学齢期のこどもの居場所等の充実に向けた活動への支援
- (イ) 生活に困窮する世帯への生活及び学習支援の場の充実

③ 切れ目のない子育て支援に向けて、地域における支援者や関連機関等のネットワークを強化します。

- (ア) 地域で子育て支援に携わる方や保育所・幼稚園等の子育て関連施設・関係機関等の連携強化、学校との連携会議の充実、支援者向けの研修会等の開催
- (イ) 学齢期のこどもたちの居場所の充実に向けた活動団体のネットワークづくり

④ こどもが、地域の中でのつながりをきっかけに、自分自身ができることを学ぶ機会を作ります。

- (ア) 小・中学生向けに「にこまちプラン」出前講座を実施し、地域への愛着を育むことやつながりの大切さを共有・共感
- (イ) 小・中学校における福祉教育の充実
- (ウ) こども・若者が自分にできることを考え、地域の一員として課題に取り組む場の創出やコーディネート
- (エ) こどもの学習や活躍から、親世代(現役世代)の参加意識を醸成
- (オ) 中央図書館等と連携し、乳幼児期から学齢期まで、様々な場面で読書に親しめる機会の充実

⑤ 様々な場面で、こども・若者の意見を聴く機会を作ります。

- (ア) 乳幼児(=ママ・パパ)、小学生、中学生、高校生など、成長段階別にアンケートフォームをつくり、様々な場面で意見を聴取
- (イ) こども・若者の意見を家庭・学校・地域・行政間で共有し、反映できる場や方法について検討

⑥ こども・若者が、地域の中で活躍できる場づくりを推進します。

- (ア) こどもが役割を持って地域活動や福祉、ボランティア活動の中で活躍できる場の創出
- (イ) こども・若者が幅広い年齢層とふれあうことができる地域イベント*に参加できるように支援

*自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、主任児童委員、青少年指導員、スポーツ推進委員、子ども会、PTAなどが主催するイベント

「乳幼児期」の親子の居場所

乳幼児期の親子にとって、日常の中で気軽に立ち寄れる「居場所」が身近にあることは、とても大切です。

こどもは、他のこどもとの関わりや遊びを通して、成長のきっかけを得ることができます。また、保護者も、同じように子育てをしている仲間と出会い、情報交換や悩みを共有することで、孤立感がやわらぎ、子育ての大きな支えになります。さらに、こうした居場所では、支援者による情報提供も行われており、必要に応じて専門的な支援につながることもあります。子育てに関する不安や困りごとを、早い段階で相談できる環境が整っていることは、保護者にとって大きな安心です。

西区では、これからも親子が気軽に利用できる居場所づくりを支援していきます。また、活動団体同士のネットワークづくりにも積極的に取り組み、地域全体で豊かな子育て環境づくりを進めていきます。



親と子のつどいの広場「ぐらんまのいえ」



親と子のつどいの広場「シャーロックBABY」



地域子育て支援拠点「スマイル・ポート」

「学齡期～思春期」のこどもの居場所

こどもの居場所として思い浮かぶのは「自宅」「学校」ですが、学齡期から思春期にかけての心身ともに成長著しい時期の「第三の居場所(サード・プレイス)」が注目されています。

自分がしたいと思うことを試せること、楽しいと思えること、何もせずにボーっとすること…こうした「遊び(余暇)」は、どれも自己肯定感や生き抜く力を育むために必要な経験です。

しかしながら、このような時間や機会を確保することが容易ではないことも現実です。

このような状況を受けて、こどもにとって身近な場所で安心して過ごせる場所を提供しようという取組があります。家庭や学校以外の場でも、信頼できるおとなや多世代の友人に出会える可能性がある「居場所」。こどもの視点に立ち、こどもの声を聴きながら、あたたかな受容の場を築いていくことが期待されています。



ふり～サロン5(ファイブ)

「こども食堂」ってなに？

「こども食堂」は『こどもがひとりで来てもよい』『誰かと一緒に』『無料または安価』で食事ができる場所、とされています。

こどもなら誰でも参加でき、その保護者や地域の高齢者も一緒に食事をしていることも多く、名称も地域食堂、みんなの食堂、コミュニティ食堂など様々です。

平成24年ごろから広まり始めたこの活動は、担い手、開催場所、開催頻度が様々で各地で特色ある取組が行われています。

どうして「こども食堂」が注目されているの？

こどもにとって身近な地域で開催されるため、安心して通える居場所です。

誰かと一緒に食事ができるので、こどもの健康的な心身の育ちを地域で支えることができます。また、無料または安価で食事が提供されるので、こどもが利用しやすくなっています。日ごろからの見守りを通じてこどもや家庭が抱える悩みに気づくこともあり、必要に応じて専門機関につなぐなど、様々な立場の人たちと地域の中で見守ることができます。



にこにこはうす



こども食堂ハレの日ケの日
夏のお楽しみ 流しそうめん

にこまちプランの啓発事業の一環として、総合的な学習の時間等を活用した小・中学校への出前講座を行っています。

講座の内容は、クラスの興味・関心事にあわせながら「地域のつながりの大切さ」「地域を知って好きになること」など、にこまちプランの中で特に伝えたいポイントをわかりやすくシンプルに伝えています。地域の課題について考えるきっかけをつくり、こどもたちが自分なりにできることを考え、にこまちプランの合言葉である「はじめよう、きょうから わたしに できること」を実感してもらいながら、取り組むことを継続的に支援していきます。

また、こどもたちが総合学習の中で、地域にアプローチする企画を考えた場合は、区役所が地域と学校とをつなぐ調整役を担い、こどもたちの取組がうまく進むよう、個別のサポートを行っています。さらに、授業やその後の探求活動を、こども達が自宅等に持ち帰り、共有してもらうことで、親世代（現役世代）を地域活動の参加へつなげていきます。

このほか、中学生の区役所職場体験の中でのミニ講座や「オリジナル啓発ノート」「にこまちプランこども版」を作成・配布し、こどもを対象とした啓発を進めています。



出前講座の様子



オリジナル啓発ノート



にこまちプランこども版



出前講座を行ったクラスによる発表(にこまちフォーラムでのミュージカル公演)

こども基本法では、こども・若者から意見を聴き、その声を大切にして、こども・若者が関わる幅広い分野の取組に反映することが求められています。また、横浜市こども・子育て基本条例においても「全てのこどもについては、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が考慮されるとともに、意見を表明する機会及び多様な社会活動に参画する機会が～確保されるものとする」と定められています。

こども・若者は地域の一員であり、日々の暮らしの中で感じていることや「こうなったらいいな」という願いは、こどもが健やかに成長できるまちづくりを進めるうえでの貴重なヒントになります。西区では、事業の参加者アンケートなどを通じて、こども・若者の声を集める取組を進めています。



区民まつりでのこどもアンケート



絵本コーナーの色をシールで投票

みんなが暮らしやすい地域を目指して ～にこまちプランと「インクルーシブ」な地域づくり～

インクルーシブ(inclusive)とは「包括的であること」「排除せず、すべての人を受け入れること」を意味します。

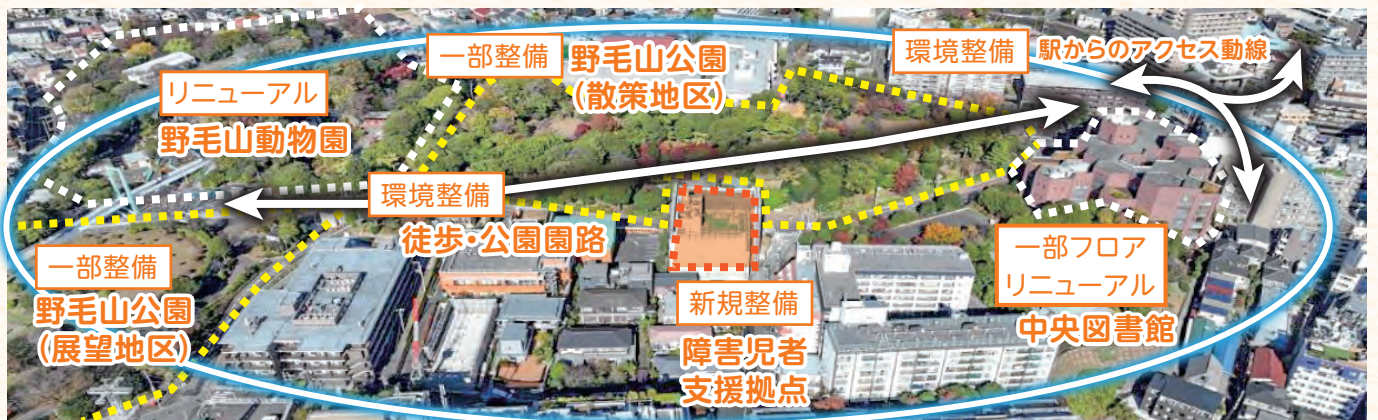
インクルーシブな地域とは、お互いに思いやり、楽しく交流できる社会のことです。そのためには、一人ひとりの個性を尊重することが大切です。

地域には、こどもから高齢者、障害のある人、外国籍の人、LGBTQ+*など、様々な人が暮らしています。にこまちプランは、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域をつくる計画であるため、インクルーシブの考え方が重なります。

第5期計画では、一人ひとりが自分にできることを活かして活躍できる場を広げていきます。それによって、みんなが生きがいを持つことにつながり、にこやか しあわせに くらせるまちづくりを目指していきます。

西区では、野毛山地区で「のげやまインクルーシブ構想」が進められており、これにあわせて地域においてもインクルーシブな考え方を取り入れていこうとしています。(第4地区)

*LGBTQ+: レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングの頭文字をとった言葉に「+ (プラスアルファ)」を付けた言葉で、性的少数者の総称として使われている言葉の一つ。



▲のげやまインクルーシブ構想エリアイメージ

永く市民の皆様から愛されてきた歴史ある動物園・公園、中央図書館が集積する野毛山地区が、これまで以上に、誰もが分け隔てなく、学び、楽しみ、やすらげる場所となるよう、エリアコンセプトに基づき、各施設が連携しながらエリア全体でまちづくりを進めています。

にこまちフォーラム

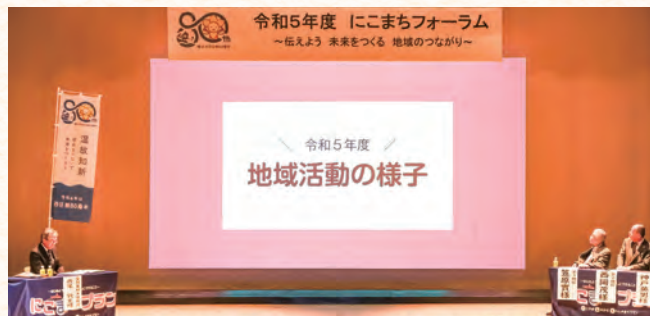
～はじめよう 今日からわたしにできること～

にこまちフォーラムは、にこまちプランや、地域の人が取り組む地域活動を、広くお知らせする発表会です。年に1度、西公会堂で、地域の様々な関係者や関係団体と協力して開催しています。

フォーラムへの来場をきっかけに、地域活動に関心を持つ人が増え、つながりの輪が広がっていくことを目指しています。



模擬店や展示で賑わうロビー



ステージでは、地域活動の発表を実施



子どもたちの発表や講演会、パネルディスカッションなど様々なプログラム



フィナーレでは、みんなで「にこまちのうた」を合唱

地区別計画

地区別計画は、主に地区連合町内会をエリアとして地域の皆様が主体的に地域の課題を考え、その解決に向けた取組を進めるための計画です。

令和6年度から、地区懇談会や地区社会福祉協議会等の場で、第4期計画の振り返り、第5期計画の策定を進めました。

地区の目標の実現に向けて、地域の皆様で話し合い、具体的に取り組んでいきます。



なお、地区での話し合いの中で把握された各地区に共通する課題については、区全体計画でその対応を検討し、計画に盛り込んでいます。

地区別計画のリーフレット×7

後日反映

第1地区の 最初

みなとみらい地区の
最後

区全体計画と地区別計画の連動

区全体計画と地区別計画は、お互いに関連し合い、つながり合っています。地域でも、区全体計画につながる取組がたくさん行われています。

ここでは例示として、区全体計画の目標と連動している、各地区の取組や今後の目標をご紹介します。

目標1 | 安全が確保され安心なまち

●防災・減災の強化

- ・地域防災拠点での訓練(各地区)
- ・防災まちづくり協議会の取組(第3地区・第4地区)
- ・防災・減災の体験会、勉強会の実施(第五地区)
- ・自治会・町内会の枠を超えた防災訓練(第六地区)
- ・子育て連絡会の防災イベント(第六地区)
- ・災害時要援護者支援の取組(各地区)



●防犯の取組の推進

- ・横浜駅周辺の防犯パトロールの取組(第五地区)
- ・登下校時の見守り活動(各地区)

●清潔できれいなまちづくりの推進

- ・戸部公園一斉清掃(第2地区) ・横浜駅周辺の美化活動(第五地区)
- ・ゴミ拾いウォーク(みなとみらい地区)



目標2 | 活気にあふれ、健康なまち

●フレイルを予防し、健康寿命を延ばす取組

- ・ラジオ体操「仲よし早起き体操会」(第一地区)
- ・戸部公園でのラジオ体操(第2地区)
- ・夏休みラジオ体操(みなとみらい地区)
- ・元気づくりステーションでの介護予防、健康づくりの取組(各地区)
- ・ウォーキング活動(各地区) ・みんなのサロン(第4地区)



●歌唱活動を通じたオーラルフレイル予防の取組

- ・とべのお茶の間でのカラオケ(第一地区)
- ・モーニングコーラス(第2地区) ・ちくせん歌ひろば(第五地区)
- ・パークサイドカフェでのカラオケ(第五地区)



●誰もが参加できる場づくりや地域のつながりづくりの推進

- ・三者交流会によるインクルーシブスポーツ等の推進(第4地区)
- ・スポーツ推進委員によるモルック大会(各地区)



目標3 | 一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまち

●障害のあるなしに関わらず、様々な人がふれあい、支え合う地域づくり

- ・障害のある方との「ふれあい交流会」(第2地区)
- ・地域と福祉施設とのイベント「福祉フェスタ」(第3地区)
- ・「みんなのまつり」への障害者支援事業所の参加(第4地区)



●多様性を理解し、お互いを尊重し合う地域づくり

- ・ボランティア団体「チームにしまる」と協働した障害理解の取組(各地区)
- ・認知症キャラバンメイトと協働した認知症理解の取組(各地区)
- ・昔あそびを通じた国際交流(第3地区)



目標4 | 地域全体がつながりを持つまち

●お祭りやこどもの参加を通じた、つながりづくりや担い手の発掘

- ・かもん山納涼の夕べ(第一地区)
- ・合同盆踊り大会(第2地区)
- ・ふれあい春まつり(第3地区)
- ・みんなのまつり(第4地区)
- ・納涼まつり(第五地区)
- ・各自治会・町内会での盆踊り(第六地区)
- ・みなとみらい秋まつり(みなとみらい地区)



●若い世代を含めた新たな担い手づくり

- ・ジュニアボランティア5(第五地区)
- ・小・中学生のボランティア活動(各地区)



●高齢者をはじめとした支援が必要な人に対する見守り

- ・民生委員による見守り活動(各地区)
- ・地域の見守り活動「ふれあい会」(各地区)
- ・元気か〜い(第一地区)
- ・さわやか・なごみ会(第2地区)
- ・ほほえみ会(第五地区)



●サロンや居場所等での地域でのつながりづくりや、ゆるやかな見守り

- ・紅梅気楽カフェ(第一地区)
- ・藤棚らいぶステーション(第2地区)
- ・わいわい広場(第3地区)
- ・アフタヌーンカフェ(第4地区)
- ・ちくせんカフェ(第五地区)
- ・西・ともしび(第六地区)
- ・各マンションでのサロン(みなとみらい地区)



●世代や対象者に合わせた「伝わる」情報発信の推進

- ・デジタルを活用した、地域のイベントや行事の周知や申し込み等(各地区)



二次元コードを活用

目標5 | こどもが健やかに成長できるまち

●こどもを大切にして、地域ぐるみで子育て支援

- ・子育てサロンやこども食堂(各地区)
- ・めんこやベーゴマなど、むかしあそびの体験(第3地区)
- ・こども企画部による外遊び(第4地区)
- ・子育て連絡会によるネットワーク構築(第六地区)



●こどもたちが活躍する場づくり

- ・役割を持って地域のイベントに参加(各地区)
- ・ジュニアボランティア5(第五地区)【再掲】
- ・小・中学生のボランティア活動(各地区)【再掲】



●こどもたちが安全・安心に暮らせる地域づくり

- ・登下校時の見守り活動(各地区)【再掲】
- ・地域の防災訓練への参加(各地区)



策定の過程

令和6年度から、第4期計画の振り返りや区民アンケート、ボランティア団体や障害当事者団体へのヒアリングの結果等を踏まえ、第5期計画の内容を検討してきました。検討にあたっては、自治会町内会や地区社会福祉協議会をはじめ、地域で活動する団体や関係機関の代表者で構成される西区地域福祉保健計画推進・評価委員会(P.100参照)や第5期計画策定検討会のご意見を踏まえながら進めました。また、地区別計画については、令和6年度から各地区において、地区懇談会や地区社会福祉協議会等の場で、継続的に検討を行い策定されました。

| 年月 | 主な経過 |
|---------|--|
| 令和6年 7月 | 区民アンケート／ボランティア団体等ヒアリング 第4期地区別計画の振り返りを各地区に依頼 →以後、各地区で地区懇談会等を開催 |
| 12月 | 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会 (第4期区全体計画の振り返り) |
| 令和7年 1月 | 第5期西区地域福祉保健計画策定検討会 (第5期区全体計画の骨子、重要なポイント) |
| 2月 | 令和6年度にこまちフォーラム (第4期地区別計画の振り返りの発表) |
| 4月 | 第5期地区別計画の策定を各地区に依頼 →以後、各地区で地区懇談会等を開催 |
| 7月 | 第5期西区地域福祉保健計画策定検討会 (第5期区全体計画の各目標の目指す姿、具体的な取組) |
| 9月 | 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会 (第5期区全体計画の素案) |
| 10月 | 第5期区全体計画素案 区民意見募集(10月1日～11月10日) |
| 令和8年 1月 | 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会 (第5期区全体計画の策定) |
| 2月 | 令和7年度にこまちフォーラム (第5期区全体計画・地区別計画の発表) |

▶ 地区別計画

地域で活動する様々な団体が連携して、目標達成に向けた取組の進捗状況の確認や課題の検討などを定期的に行いながら、取組を進めていきます。計画の推進にあたっては、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザによる地区支援チームが地域の取組を支援します。区社会福祉協議会が実施する「にこまち助成金」による活動支援や、地域活動に必要な情報収集・提供などを行うほか、個人と団体、団体同士の活動をコーディネートすることで担い手を増やし、活動の継続や幅を広げていけるよう支援します。

▶ 区全体計画

主に、区、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等において、基本目標ごとに定めた具体的な取組を進めます。年度ごとに、取組状況を振り返り、課題やその対応策、次年度の進め方などについて検討します。

▶ 西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)推進・評価委員会

本委員会において、年度ごとに取組を振り返り、取組内容の効果や課題、次年度の進め方などを報告し、共有します。

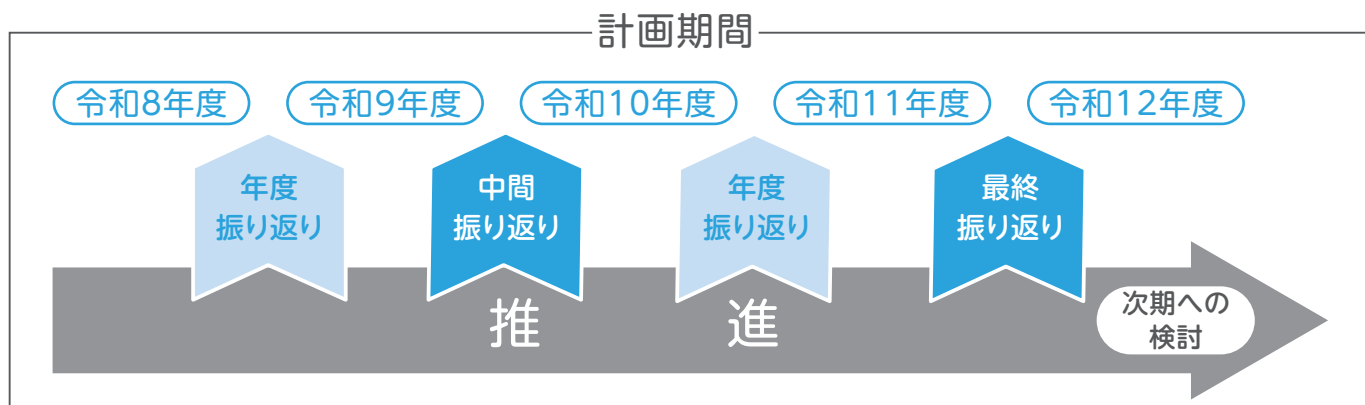
委員からの意見を参考に、さらに取組の推進と充実を図ります。

西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)推進・評価委員会で年度ごとの振り返りを行います。

また、令和9～10年度には、中間振り返りを行い、計画4・5年目の効果的な計画推進を目指します。

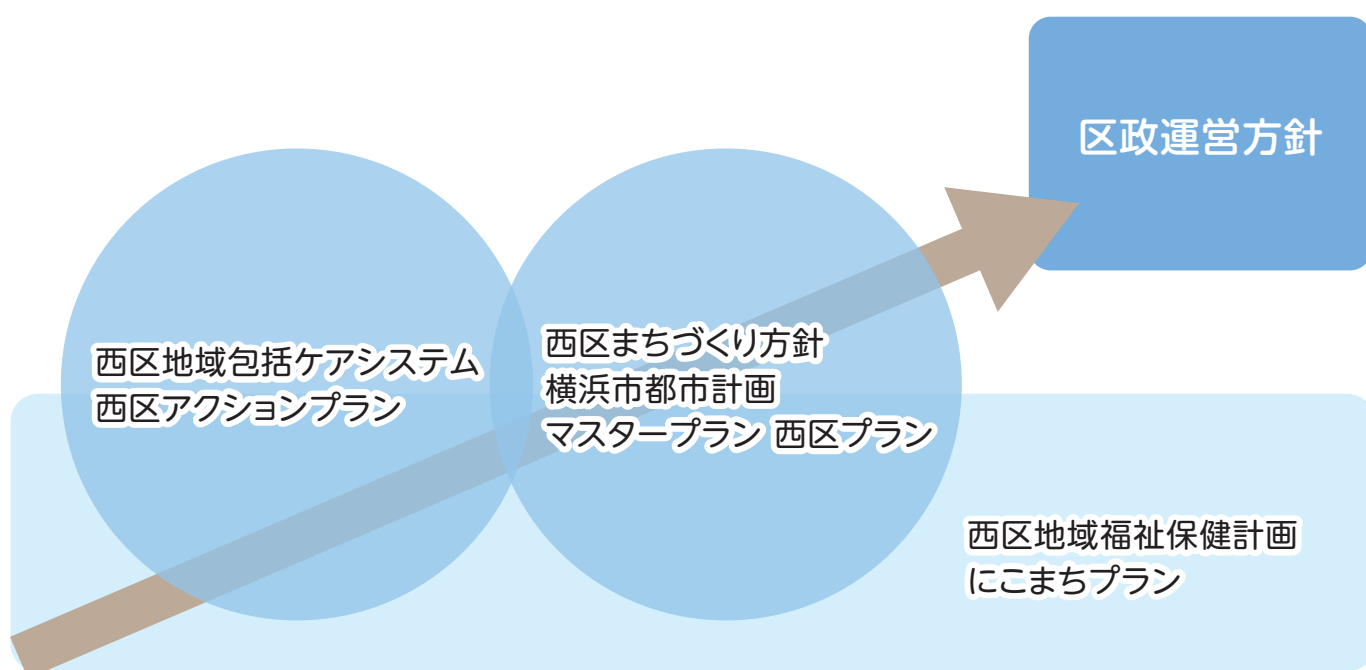
さらに、計画の効果検証及び次期計画の策定に向けた検討を目的として、令和11～12年度には、最終振り返りを行います。

中間・最終振り返りでは、区民意識等の変化を把握するため「区民アンケート」や「ボランティア団体ヒアリング」などを行います。



にこまちプランは地域の身近な生活課題全般の解決に向けて、様々な取組を推進していくための計画です。西区にはこのほか、西区のまちづくりの方針を定めた「西区まちづくり方針」や西区の高齢者が住み慣れたまちで暮らし続けるための支援体制の方向性を定めた「地域包括ケアシステムの構築に向けた西区アクションプラン」など、それぞれの趣旨を達成するための計画が設定されています。これら計画のテーマは独立しているものではなく、互いに関連する分野領域があります。共通する理念や考え方は共有し、にこまちプランとともに一体的に推進していきます。

また、区政運営方針は、区役所が中心となって推進する事業について、分野横断的に毎年度ごとの目標達成のために取組の具体的な内容や方向性を示すものです。



| | |
|--|--|
| <p>西区地域包括ケアシステム 西区アクションプラン</p> | <p>高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるために、介護・医療・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される、地域包括ケアシステムについて、支援者がどのように構築していくかを示したプランです。</p> |
| <p>西区まちづくり方針 (横浜市都市計画マスタープラン西区プラン)</p> | <p>市域全体の都市計画に関する長期的な基本方針を示す「横浜市都市計画マスタープラン」の「地域別構想」の一つで、西区の将来像を示し、区民と協働でまちづくりを進めていく上での基本方針を示したものです。</p> |
| <p>西区区政運営方針</p> | <p>西区政の1年間の基本目標と、その目標達成に向けた施策や組織運営の方向性を明確にして、組織一丸となって取り組むための方針を定めたものです。</p> |

| 分類 | 団体・役職 | 氏名 | 推進・評価委員会 | 第5期計画策定検討会 |
|-----------------|---------------------------|---------|----------|------------|
| 地域 | 西区連合町内会・自治会連絡協議会会長 | 平野 周二 | ○ | ○ |
| | 西区商店街組合連合会会長 | 大塚 眞司 | ○ | |
| | 西区スポーツ推進委員連絡協議会会長 | 中村 由幸 | ○ | ○ |
| | 西区青少年指導員協議会会長 | 澁谷 正道 | ○ | |
| | 西区シニアクラブ連合会会長 | 大倉 富男 | ○ | ○ |
| 福祉 | 西区社会福祉協議会会長 | 西岡 茂 | ○ | ○ |
| | 西区民生委員・児童委員協議会会長 | 神戸 英男 | ○ | ○ |
| | 西区主任児童委員代表 | 伊藤 美紀 | ○ | ○ |
| | 西保護司会会長 | 並木 弘 | ○ | |
| | 西区更生保護女性会会長 | 武田 容子 | ○ | ○ |
| | 西区社会福祉協議会地区社協分科会会長 | 米岡 美智枝 | ○ | ○ |
| | 西区社会福祉協議会障害福祉関係分科会会長 | 深野 博子 | ○ | ○ |
| | 西区社会福祉協議会ボランティア・市民活動分科会会長 | 東 恵子 | ○ | |
| | 西区社会福祉協議会高齢者福祉関係分科会会長 | 竹下 淳子 | ○ | ○ |
| | 西区地域ケア施設代表 | 中野 茂樹 | ○ | ○ |
| | 西区地域自立支援協議会代表 | 小菅 敏朗 | ○ | |
| | 西区地域子育て支援拠点 スマイル・ポート施設長 | 鳴神 美穂子 | ○ | ○ |
| | 保健・衛生 | 西区医師会会長 | 増田 英明 | ○ |
| 西区歯科医師会会長 | | 吉田 大輔 | ○ | |
| 西区薬剤師会代表理事 | | 北井 康一 | ○ | ○ |
| 西区獣医師会会長 | | 塩瀬 将之 | ○ | |
| 西区保健活動推進委員会会長 | | 渡辺 正枝 | ○ | ○ |
| 西区食生活等改善推進委員会会長 | | 石渡 和子 | ○ | ○ |
| 西区食品衛生協会会長 | | 井上 恒次 | ○ | |
| 西区生活衛生協議会会長 | | 岡本 不二夫 | ○ | |
| こども | 横浜市幼稚園協会西区支部長 | 奈良 昌人 | ○ | |
| | 西区小学校長会会長 | 寺岡 徹 | ○ | |
| | 西区中学校長会理事 | 遠山 満 | ○ | |
| | 西区PTA連絡協議会会長 | 浦崎 麻実 | ○ | ○ |
| | 西区内認可保育園長会会長 | 渡辺 紀子 | ○ | |
| | 西区子ども会育成連絡協議会会長 | 福永 浩世 | ○ | |
| 行政 | 戸部警察署長 | 重岡 康二 | ○ | |
| | 西消防署長 | 石黒 靖雄 | ○ | |
| | 西区長 | 菊地 健次 | ○ | |

にこまちのうた

～にこまちプランのイメージソング～

作曲・編曲 神山純一 作詞 にしの未来

歌詞

水仙の花が咲いたら 春はもうすぐやってくる 新しいこと何かしたいな
そんな気持ちになってくる はじめよう 今日からわたしにできること
声をかけたら 今日からあなたとお友達

夏祭り 花火の下で 大きく広がる踊りの輪 知らない人でも
一緒に踊っていると楽しいね はじめよう 今日からわたしにできること
あいさつをして みんながつくる地域の輪

モクセイの花が香って 秋の気配が漂うと みんなのことが気になる
そんな気持ちになってくる はじめよう 今日からわたしにできること
あなたとわたしの心で作る支えあい

よく晴れた空に 大きく高くかかった虹の橋 虹より高い西区を目指して
しようできること はじめよう 今日からわたしにできること
にこやかしあわせ くらせるまちをつくっていこう



西区WEBサイトで公開して
いますのでお聞きください。



にこまちのうた(にこやかしあわせ ぐらしのうた)は、にこまちプランのイメージソングです。歌詞には、にこまちプランのキャッチフレーズがちりばめられ、明るく元気になれる、親しみやすい曲調になっています。

この曲は、西区民まつりやにこまちフォーラム、西区自治会町内会長感謝会の会場などで聞いたり歌ったりされています。西区ホームページに音源や歌詞を公開していますので、ぜひ色々な場面で歌ってください。

横浜市西区役所 福祉保健課

〒220-0051 横浜市西区中央 1-5-10

TEL 045-320-8437 FAX 045-324-3703

Mail ni-nikomachi@city.yokohama.lg.jp

横浜市西区社会福祉協議会

〒220-0011 横浜市西区高島 2-7-1

ファーストプレイス横浜 3階

TEL 045-450-5005 FAX 045-451-3131

Mail info-nishi@yokohamashakyo.jp

